

WT600J

取扱説明書

本機を安全にお使いいただくために
ご使用の前に必ずお読みください。



- | | | |
|-----------------------|---|---|
| 1. 添付品や名称を
確認する | ● | 1 |
| 2. 設置と接続 | ● | 2 |
| 3. 映像を投写する
(基本操作) | ● | 3 |
| 4. 便利な機能 | ● | 4 |
| 5. ビューワを使う | ● | 5 |
| 6. オンスクリーン
メニュー | ● | 6 |
| 7. ランプの交換/
本体のお手入れ | ● | 7 |
| 8. 付録 | ● | 8 |

はじめに

このたびは、NEC ミラー投写型プロジェクタWT600J（以降「WT600J本体」を「本機」と呼びます）をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

本製品は、NEC PC98-NXシリーズやDOS/V対応機（IBM PC/AT互換機）、Apple Macintoshなどに接続して、文字や図形をスクリーンに鮮明に投写するプロジェクタです。

本機を安全に正しく使用していただくため、ご使用の前に、この取扱説明書（本書）をよくお読みください。取扱説明書は、いつでも見られる所に大切に保存してください。万一ご使用中にわからないことや不具合が生じたときにお読みください。

本製品には「保証書」を添付しています。保証書は、お買い上げの販売店から必ずお受け取りのうえ、取扱説明書とともに、大切に保存してください。

本機は、日本国内向けモデルです。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。

この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

- ・ AccuBlendは、NECビューテクノロジー株式会社の登録商標です。
- ・ IBM、PC/ATは、米国International Business Machines Corporationの登録商標です。
- ・ Macintosh、PowerBookは、米国Apple Computer, Inc.の商標です。
- ・ Microsoft、Windows、PowerPointは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・ DLP (Digital Light Processing) は米国テキサスインスツルメンツ社の商標です。
- ・ その他取扱説明書に記載のメーカー名および商品名は、各社の登録商標または商標です。

ご注意

- （１）本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- （２）本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- （３）本書は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気付きのことがありましたらご連絡ください。
- （４）本機の使用を理由とする損害、逸失利益等の請求につきましては、当社では（３）項にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- （５）乱丁、落丁はお取り替えいたします。

本機を安全にお使いいただくために、ご使用前に必ずお読みください

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡や大けがをするなど人身事故の原因となります。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり周囲の家財に損害をあたえたりすることがあります。

絵表示の例



△記号は注意（警告を含む）をうながすことを表しています。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。



⊘記号はしてはいけないことを表しています。
図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号はしなければならないことを表しています。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

警告

本機は日本国内専用です



交流100ボルト以外使用禁止

- 日本国内で使用する場合は交流100ボルトで使用してください。
添付の電源コードは国内使用専用です。
日本国外で本機を使用する場合は、電源コードの仕様を確認してください。使用する国の規格・電源電圧に適合した電源コードを使用すれば、海外でも使用可能です。電源コードは必ず使用する国の規格・電源電圧に適合したものを使ってください。
詳細に関してはNECプロジェクタ・カスタマサポートセンターまでお問い合わせください。

電源コードの取り扱いには大切に



- 電源コードは大切に取扱ってください。コードが破損すると、火災・感電の原因となります。
 - ・ 添付されているもの以外の電源コードは使用しない。
 - ・ コードの上に重い物をのせない。
 - ・ コードをプロジェクタの下敷きにしない。
 - ・ コードの上を敷物などで覆わない。
 - ・ コードを傷つけない、加工しない。
 - ・ コードを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない。
 - ・ コードを加熱しない。
- 電源コードが傷んだら（芯線の露出・断線など）販売店に交換をご依頼ください。

故障したときは電源プラグを抜く



電源プラグをコンセントから抜く

- 煙が出ている、変なにおいや音がある場合やプロジェクタを落したり、キャビネットを破損した場合は、本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。火災・感電の原因となります。販売店へ修理をご依頼ください。

水場や水にぬれるような所には置かない



水ぬれ禁止

- 次のような水にぬれるようなおそれがある所では使用しないでください。またプロジェクタの上に水の入った容器を置かないでください。火災・感電の原因となります。
 - ・ 雨天や降雪中、海岸や水辺で使用しない
 - ・ 風呂やシャワー室で使用しない
 - ・ プロジェクタの上に花瓶、植木鉢を置かない
 - ・ プロジェクタの上にコップ、化粧品、薬品を置かない
- 万一プロジェクタの内部に水などが入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

次のような所では使用しない



- 次のような所では使用しないでください。火災・感電の原因となります。
 - ・ ぐらついた台の上、傾いた所など、不安定な場所
 - ・ 暖房の近くや振動の多い所
 - ・ 湿気やほこりの多い場所
 - ・ 油煙や湯気の当たるような場所
 - ・ 調理台や加湿器のそば

警告

内部に物を入れない



異物挿入禁止

- プロジェクタの通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落し込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいる家庭ではご注意ください。万一異物がプロジェクタ内部に入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

キャビネットは絶対にあけない



分解禁止

- プロジェクタのキャビネットを外したり、あけたりしないでください。また改造しないでください。火災・感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご相談ください。

雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない



- 雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れないでください。感電の原因となります。

プロジェクタのミラーをのぞかない



ミラーをのぞかない

- プロジェクタのミラーをのぞかないでください。動作中は強い光が投写されていますので、目を痛める原因となります。特にお子様にはご注意ください。

投写中にミラー部分に手を入れない



- 投写中はミラー部分に手や異物を入れないでください。投写中、ミラー部分（光線の通り道）は高温になる箇所があり、やけどや火災の原因となります。

ランプ交換は電源を切ってから



電源プラグをコンセントから抜く

- ランプの交換は、電源を切り約90秒間待って、冷却ファン停止後、電源プラグをコンセントから抜き、約60分おいてから行ってください。動作中や停止直後にランプを交換すると高温のため、やけどの原因となります。詳細は122～124ページをご覧ください。

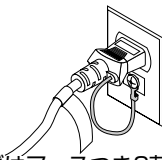
天吊りの設置について



- 天吊りなどの特別な工事が必要な設置につきましては販売店にご相談ください。お客様による設置は絶対におやめください。落下してけがの原因となります。
- 天吊り設置したときは、本機にぶらさがらないでください。落下してけがの原因となります。

注意

機器のアースは確実にしてください



- 本機の電源プラグはアースつき2芯プラグです。機器の安全確保のため、機器のアースは確実にしてご使用ください。詳細は32ページをご覧ください。

ぬれた手で電源プラグに触れない



ぬれた手は危険

- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

通風孔をふさがない



- プロジェクタの通風孔をふさがないでください。またプロジェクタの下に紙や布などの柔らかい物を置かないでください。火災の原因となることがあります。プロジェクタを設置する場所は周囲から適当な空間（目安として10cm以上）あけてください。

動作中にミラーを覆わない



- 動作中にミラーを覆わないでください。覆ったものが高温になり、火災の原因となることがあります。
- 動作中にミラーの前に金魚鉢、凸レンズ（虫眼鏡）などを置かないでください。火災の原因となることがあります。

移動するときは電源コードを抜く



電源プラグをコンセントから抜く

- 移動させる場合は、電源を切り必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続ケーブルを外したことを確認のうえ、行ってください。

持ち運ぶときはミラー部分に手をかけない



- プロジェクタを持ち運ぶとき、ミラー部分に手をかけないでください。落としてけがをするおそれがあります。

長期間使用しないときは、電源プラグを抜く



電源プラグをコンセントから抜く

- 長期間、プロジェクタをご使用にならないときは安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

お手入れの際は電源コードを抜く



電源プラグをコンセントから抜く

- お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

⚠ 注意

投写中は排気口に触らない



- 投写中および投写終了直後は、排気口付近を触らないでください。排気口付近が高温になる場合があります、やけどの原因となることがあります。

電池の取り扱いについて



- 電池の取り扱いには注意してください。火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
 - ・ 電池をショート、分解、火に入れたりしない。
 - ・ 指定以外の電池は使用しない。
 - ・ 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。
 - ・ 電池を入れるときは、極性(+と-の向き)に注意し、表示どおりに入れる。

レーザーポインタのレーザー光源をのぞかない



レーザー光源をのぞかない

- レーザーポインタのレーザー光源をのぞき込まないでください。また、レーザー光を人に向けしないでください。レーザー光が目にあたると目を痛める原因となることがあります。お子様には使用させないでください。

点検・工事について



内部の掃除を販売店で

- 1年に一度くらいは内部の掃除を販売店などにご相談ください。プロジェクタの内部にほこりがたまったら、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部の掃除費用につきましては販売店などにご相談ください。

お願い

● 性能確保のため、次の点にご留意ください。

- 振動や衝撃が加わる場所への設置は避けてください。
動力源などの振動が伝わる所に設置したり、車両、船舶などに搭載すると、本機に振動や衝撃が加わって内部の部品がいたみ、故障の原因となります。
振動や衝撃の加わらない場所に設置してください。
- 高圧電線や動力源の近くに設置しないでください。
高圧電線、動力源の近くに設置すると、妨害を受ける場合があります。
- たばこの煙の多い場所で使用・長時間の使用
たばこの煙・ほこりの多い場所で使用する場合、または長時間連続して（5時間／日かつ260日／年を超えて）使用する場合は、あらかじめ当社にご相談ください。
- 本機を長時間連続して使用される場合
本機を長時間にわたり連続して使用される場合は、「ファン高速モード」を「オン（チェックマークを付ける）」にしてください（104ページ）。
- スクリーンへの外光対策をしてください。
スクリーンには、照明など本機以外からの光が入らないようにしてください。
外光が入らないほど、ハイコントラストで美しい映像が見られます。
- スクリーンについて
高ゲインタイプのスクリーンは、本機には適していません。本機では、スクリーンゲインが低いほど、より美しい映像が投写できます。
また、ご使用のスクリーンに汚れ、傷、変色などが発生すると、きれいな映像が見られません。スクリーンに揮発性のものをかけたり、傷や汚れが付かないよう取り扱いにご注意ください。
- 持ち運びについて
本体のキャリングハンドルを両手で持って運んでください。
その際、ミラーに傷が付かないように必ずミラーを閉じてください。また、振り回したりして、プロジェクタ本体に強い衝撃を与えないでください。
- ミラーは素手でさわらないでください。
ミラーに指紋や汚れが付くと、拡大されてスクリーンに映りますので、ミラーには手をふれないでください。
ミラーを清掃する場合は、添付のミラー用クリーニングクロス(布)を使用してください。その際、ミラーを傷つけないように十分注意してください。
また、本機を使用されないときは、ミラーを閉じておいてください。さらに、本体内にほこりなどが入らないように添付の本体カバーをかぶせてください。
- 廃棄について
本体廃棄の際は、お買い上げの販売店、または自治体にお問い合わせください。



- はじめて本機を設置する場合は、添付の『設置ガイド』の手順に従ってください。

● ランプ取り扱い上の注意

- プロジェクタの光源には、内部圧力の高い水銀ランプを使用しています。
ランプは、衝撃やキズ、使用時間の経過による劣化などにより、大きな音をともな
って破裂したり、不点灯状態となることがあります。また、ランプが破裂や不点灯
に至るまでの時間、条件には、ランプの個体差や使用条件によって差があり、本
書に記載している指定の使用時間内であっても、破裂または不点灯状態に至ることが
あります。
なお、指定の使用時間を超えてお使いになった場合は、ランプが破裂する可能性が
高くなりますので、ランプ交換の指示が出た場合には、すみやかに新しいランプに
交換してください。
- ランプ破裂時には、ランプハウス内にガラスの破片が飛び散ったり、ランプ内部に
含まれるガスがプロジェクタの通風孔から排出されることがあります。ランプ内部
に使用されているガスには水銀が含まれていますので、破裂した場合は窓や扉をあ
けるなど十分に換気を行ってください。ガスを吸い込んだり、目に入ったりした場
合には、すみやかに医師にご相談ください。
- ランプが破裂した場合には、プロジェクタ内部にガラスの破片が散乱している可
能性があります。プロジェクタ内部の清掃、ランプの交換その他の修理について、必
ず当社指定のサービス拠点、または販売店に依頼し、お客様ご自身でプロジェクタ
内部の清掃、ランプ交換を行わないでください。

● 電源プラグを抜く際の注意

以下のような場合は電源プラグをコンセントから絶対に抜かないでください。
機器が故障するおそれがあります。

- 砂時計アイコンが表示されている。
- 「しばらくお待ちください」というメッセージが表示されているとき（電源を切る
とこのメッセージが表示されます）。
- 電源を切ったあとのファンの回転中（ファンは約90秒間回転します）。
- PCカードアクセスインジケータが点灯しているとき（ビューワ使用中）またはLAN
使用中。
フラッシュメモリカードやLAN使用時はカードが壊れるおそれがあります。

目次

はじめに	表紙裏
本機を安全にお使いいただくために、ご使用の前に必ずお読みください。...	1
お願い	6
目次	8
本書の表記について	10

1. 添付品や名称を確認する 11

1-1. 特長	12
1-2. 添付品の確認	13
1-3. 本体各部の名称／ミラーの開閉	14
1-4. リモコン各部の名称	19

2. 設置と接続 23

2-1. 設置と接続の流れ	24
2-2. スクリーンとプロジェクタを設置する	25
2-3. パソコンと接続する	26
2-4. RGBモニタと接続する	28
2-5. DVDプレーヤなどのAV機器と接続する	29
2-6. 書画カメラと接続する	31
2-7. 電源コードを接続する	32

3. 映像を投写する(基本操作) 33

3-1. 映像を投写する流れ	34
3-2. 本機の電源を入れる	35
3-3. 入力信号を選択する	37
3-4. 投写画面の位置と大きさを調整する	38
3-5. 映像を自動調整する	42
3-6. 本機の音量を調整する	42
3-7. レーザーポインタを使う	43
3-8. 本機の電源を切る	44
3-9. あとかたづけ	45

4. 便利な機能 47

4-1. 「プロジェクタモード」と「パソコンモード」の切り替え	48
4-2. 映像と音声を消去する	49
4-3. 動画を静止画にする	49
4-4. ポインタを表示／非表示／移動する	50
4-5. 映像を拡大する	51
4-6. 本機の操作説明を投写する	52
4-7. 市販のUSBマウスを使って操作する	53
4-8. 本機のリモコンでパソコンのマウス操作を行う	54
4-9. 投写画面に文字や図形を描く(チョークボード)	55
4-10. USBメモリ、およびUSBメモリカードリーダーを使用する	58

5. ビューワを使う	59
5-1. ビューワでできること	60
5-2. フラッシュメモリカードへデータを保存する	60
5-3. フラッシュメモリカードを本機にセットする	61
5-4. フラッシュメモリカードのデータを映す(ビューワ)	62
5-5. 本機で投写している画像を保存する(キャプチャ)	66
5-6. ファイル一覧画面で選択する(ファイル選択)	70
6. オンスクリーンメニュー	75
6-1. オンスクリーンメニューの基本操作	76
6-2. オンスクリーンメニュー一覧	81
6-3. 信号選択	83
6-4. 映像調整	86
6-5. 音量調整	87
6-6. 画像設定	87
6-7. ピクチャーマネージメント	92
6-8. 機器設定	94
6-9. ツール	117
6-10. ヘルプ	118
6-11. データリセット	120
7. ランプの交換／本体のお手入れ	121
7-1. ランプの交換	122
7-2. キャビネットの清掃	125
7-3. ミラーの清掃	126
8. 付録	127
HTTPを使用したブラウザによる操作	128
故障かな?と思ったら	130
インジケータ表示一覧	133
投写距離とスクリーンサイズ	135
対応解像度一覧	136
外観図	137
関連商品一覧	138
RGB INPUT端子のピン配列と信号名	138
仕様	139
保証と修理サービス(必ずお読みください)	140
索引	141

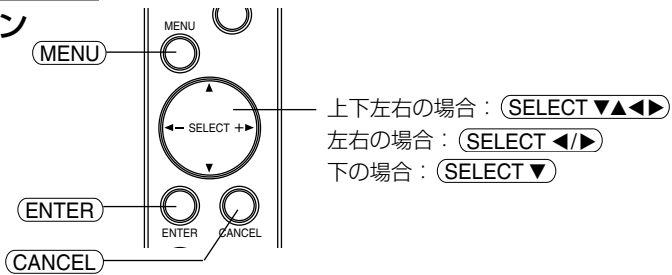
本書の表記について

マークの意味

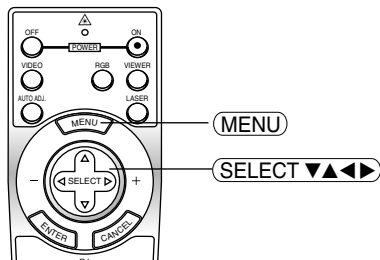
	データが消えたり、もとに戻せない操作など、十分に注意していただきたいことを表しています。
	注意や制限事項を表しています。
	補足説明や役立つ情報を表しています。
	本書内の参照ページを表しています。

操作ボタンの表記例

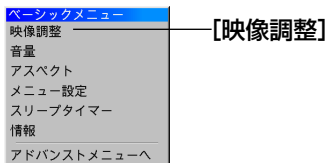
●本体の操作ボタン



●リモコンの操作ボタン



メニュー項目の表記例



●本書に載せている表示画面は、実際と多少異なる場合があります。

第1章

添付品や名称を確認する

.....

1-1. 特長	12
1-2. 添付品の確認	13
1-3. 本体各部の名称／ミラーの開閉	14
1-4. リモコン各部の名称	19

1-1. 特長

● DLP™方式の小型高輝度プロジェクタ

DLP™方式を採用し、小型で、高輝度を実現しました。

● 新開発非球面ミラーの採用により、短焦点投写を実現

当社独自の光学設計技術による非球面ミラーを搭載し、投写距離約66cmで100型のスクリーンサイズに投写でき、従来のレンズ投写型プロジェクタでは困難な短焦点投写を実現しました。

● DVI-I入力端子を装備し、デジタルRGB信号、アナログRGB信号を投写可能

DVI-I入力端子(DVI-I 29ピン)を装備しており、デジタルRGB信号を投写することができます。また、添付のDVI-I↔アナログRGB変換ケーブルを使用すると、本機のDVI-I入力端子とパソコンのアナログRGB出力端子を接続することができます。

● アドバンスド・アキュブレンド機能によりU-XGAまでの解像度に対応

XGA(1024×768ドット)にフル対応、NEC独自のアドバンスド・アキュブレンド機能によりU-XGA(1600×1200ドット)の入力信号までカバーします。

● 主電源スイッチとスタンバイ状態1W以下の省エネ設計

主電源スイッチにより、本体を使用していないときの電源を完全に遮断することができます。また、スタンバイ状態にすると、待機時の消費電力を1ワット以下にできます。

● 特定色を調整&記憶できる、ピクチャーマネージメント機能

プレゼンテーションや映画など、映像ソースに応じた映像補正機能を搭載。5つの映像モードから選択できます。また、お客様が調整した状態を本体内のメモリに4つまで記憶できます。

● セキュリティやパスワードを設定して、他人の無断使用を防止

フラッシュメモリカードをプロテクトキーにして、無断で本機を使用できないようにすることができます。また、パスワードを設定することにより、他人が勝手に本機の設定内容を変更できないようにします。

● 無線LAN対応 (注1)

別売の無線LANカードを本体のPCカードスロットにセットすると、無線LANに対応したパソコンの画面を信号ケーブルを接続することなしに投写することができます。

(注1) Macintoshでは、HTTPサーバ機能とメール通知機能のみLAN環境で使用できます。

● プロジェクタだけでプレゼンテーションができるビューワ搭載

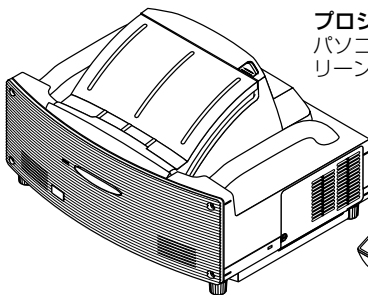
フラッシュメモリカード(注2)に記録したプレゼンテーション資料(パソコンで作成)、デジタルカメラで撮影した画像のメモリカード再生(注3)など、その場にパソコンがなくてもプレゼンテーションが行えます。

(注2) 市販のPCMCIA-Type 2(ATA仕様)のフラッシュメモリカードを使用してください。

(注3) 再生できないフラッシュメモリカードもあります。

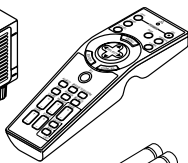
1-2. 添付品の確認

添付品の内容をご確認ください。



プロジェクタ (本機)

パソコンやDVDプレーヤなどを接続して、画面や映像を大きなスクリーンに映す機器です。



リモコン (07N900362)

本機の電源の入／切や、投写する映像信号の切り替え操作などができます。ご購入後はじめて使用するとき、添付の単3乾電池2本をセットしてください (● 21ページ)。

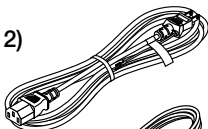
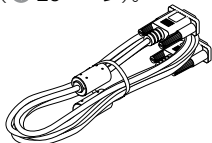


単3乾電池 (リモコン用) 2本

添付のリモコンにセットします。

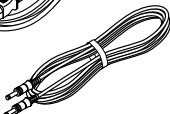
RGB信号ケーブル (ミニD-Sub 15ピン) (07N520012)

パソコンの画面をスクリーンに投写する場合に使用します (● 26ページ)。



電源コード (アース付き) (07N080108)

AC100V (アース付き) と本機に接続します (● 32ページ)。



リモコンケーブル (07N520019)

本機とリモコンをリモコンケーブルで接続すると、リモコンを本機に向けずにリモコン操作が行えます (● 22ページ)。

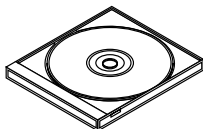
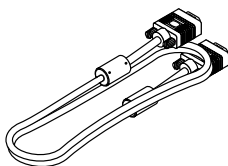


USBケーブル (07N520013)

本機とパソコンをUSBケーブルで接続すると、本機のリモコンでパソコンのマウス操作が行えます (● 54ページ)。

DVI-D信号ケーブル (07N520007)

DVI出力端子を持ったパソコンなどと接続する場合に使用します (● 26ページ)。



CD-ROM (07N950108)

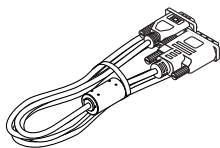
ユーティリティソフトを収録しています。内容については、添付のアプリケーションガイドをご覧ください。

ミラー用クリーニングクロス (布) (024BS7251)

ミラーを清掃する際に使用します (● 126ページ)。

DVI-I↔アナログRGB変換ケーブル (07N520011)

本機のDVI-I入力端子 (DVI-I IN) とパソコンのアナログRGB出力端子 (ミニD-Sub15ピン) を接続する場合に使用します (● 27ページ)。



本体カバー (024BS7271)

本機を使用していないときは、本体内にほこりなどが入らないようにこのカバーをかぶせてください。

印刷物

- ・取扱説明書 (本書)
- ・設置ガイド
- ・アプリケーションガイド
- ・NECフィールディング株式会社 支店・営業所所在地一覧表
- ・保証書
- ・注意ステッカー (必要に応じて貼ってください。)

参考

- 万一添付品などが不足していたり破損している場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。
- 添付品の外観が本書のイラストと多少異なる場合がありますが、実用上の支障はありません。

1-3. 本体各部の名称／ミラーの開閉

● 本体前面

前面インジケータ

電源が入っているとき、およびアイドル状態のときに青く光ります。

リモコン受光部

リモコンの信号を受ける部分です(● 21ページ)。本体の前面と背面の2箇所にあります。

スピーカ (ステレオ)

音声入力端子から入力された音声を出します(● 42ページ)。

フット (底面に4本)

回すと高さの微調整ができます。本体ががたつかないように調整してください。フットは最大約30mmまで伸ばすことができます。

ミラー

映像を投写するときにこの部分を開きます(● 15ページ)。ミラーの開け閉めはゆっくりと行ってください。

ミラー用ロック

ミラーを開く際は、指でロックをずらして解除します。また、ミラーを閉じたときは、ロックしてください。

排気口

ランプの熱を排気します。

ランプカバー

ランプ交換のときカバーを外します(● 122ページ)。

ランプカバーネジ

盗難防止用ロック

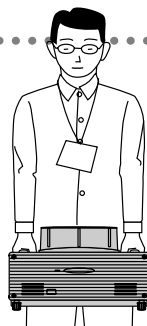
盗難防止のためワイヤーケーブルを付ける際に使用します(● 参考)。



- キャリングハンドルについて
本機を移動するときは、図のようにキャリングハンドルを両手で持って運んでください。



- 運ぶときは、ミラーを保護するため、ミラーを閉じてください。



- 盗難防止用ロックについて

盗難防止用ロックは、キーケーブルロック等のセキュリティワイヤーに対応しています。製品についてのお問い合わせ先は、以下の通りです。

日本ポラデジタル株式会社 第3営業部

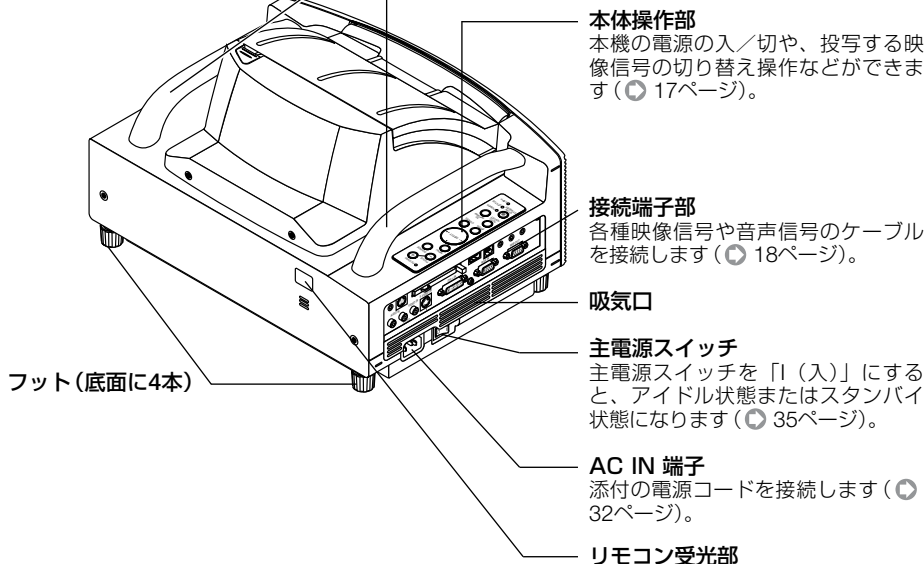
〒104-0032 東京都中央区八丁堀1丁目5番2号 はごろもビル

Tel : 03-3537-1070 Fax : 03-3537-1071

● 本体背面

キャリングハンドル

本機を移動するときに両手で持ちます。



● ミラーを開く／閉じる

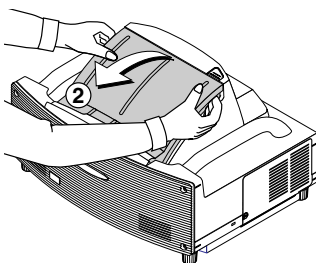
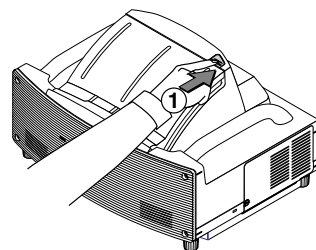
● ミラーを開く

1 ミラー用ロックを指ですらして解除する。

2 ミラーの端を持ってゆっくり開く。



- ミラーが完全に開くまで、ミラーから手を放さないでください。
ミラーを開く際にミラーに強い衝撃を与えないでください。
- ミラーの表面は触らないでください。
ミラーの表面に指紋などが付くと、画質低下の原因になります。

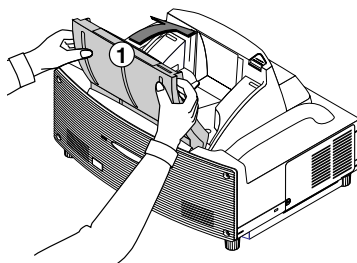


●ミラーを閉じる

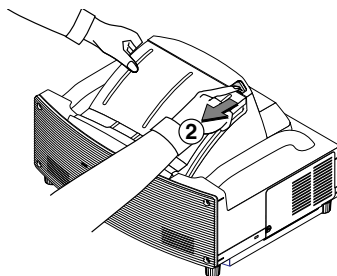
1 ミラーの端を持ってゆっくり閉じる。

注意

- ミラーが完全に閉じるまで、ミラーから手を放さないでください。
ミラーを閉じる際にミラーに強い衝撃を与えないでください。
- ミラーの表面は触らないでください。
ミラーの表面に指紋などが付くと、画質低下の原因になります。



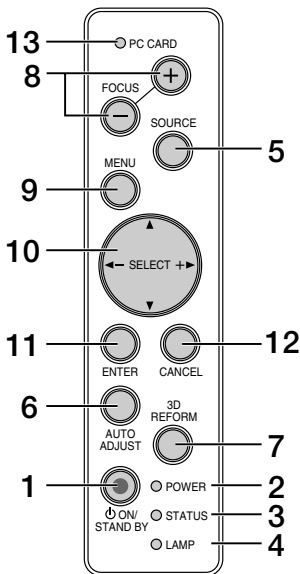
2 ミラー用ロックを指でずらしてロックする。



注意

- ミラーが閉じているときは電源が入りません。
- 投写中、ミラー部分（光線の通り道）は高温になるため、ミラー部分に異物が入らないように注意してください。異物が入った場合は、ミラーを傷つけないように十分注意して、異物を取り除いてください。
- ミラー部分（光線の通り道）には異物を感知するセンサーがあり、センサーが異物を感知すると、本機の電源が入りません。また、投写中にセンサーが異物を感知すると、映像が消えます。これらのとき、STATUSインジケータが赤色で点灯します。
- ミラー部分（光線の通り道）の底には温度センサーがあり、センサーが高温を感知すると、本機の電源が入りません。また、投写中にセンサーが高温を感知すると、ランプが消灯し、アイドル状態になります。これらのとき、STATUSインジケータが赤色で点滅します。

● 本体操作部



1 POWER (ON/STAND BY) ボタン

本機の電源を入/切 (アイドル状態またはスタンバイ状態) します。
電源を入/切 (アイドル状態またはスタンバイ状態) するときは、2秒以上押してください。

2 POWERインジケータ

電源が入っているときは緑色に点灯します (● 35ページ)。
電源が切れている (アイドル状態またはスタンバイ状態) とときはオレンジ色に点灯します。

3 STATUSインジケータ

本体キーロック中に操作ボタンを押したときや、本機に異常が発生したときに、点灯/点滅します。
詳しくは「インジケータ表示一覧」(● 133ページ) をご覧ください。

4 LAMPインジケータ

ランプの交換時期がきたことやランプモードの状態 (エコモード) をお知らせします (● 134ページ)。

5 (SOURCE) ボタン

RGB、ビデオ、Sビデオ、ビューワの入力を切り替えます。
短く押すと「信号選択画面」を表示します。また、1秒以上押し続けると次のように切り替わります。
→RGB→DVI (デジタル) →DVI (アナログ) →ビデオ→Sビデオ→ビューワ・・・
入力されていない信号は飛び越します (● 37ページ)。

6 (AUTO ADJUST) ボタン

RGB信号の画像を投写している場合に、最適な状態に自動調整します (● 42ページ)。

7 (3D REFORM) ボタン

上下左右方向の歪みを調整します (● 94ページ)。
(3D REFORM) ボタンを押すごとに、ピンクッション補正→4点補正→台形補正 と調整画面が切り替わります (未調整時)。

8 (FOCUS +/-) ボタン

投写画面のピントを合わせます (● 40ページ)。

9 (MENU) ボタン

各種設定・調整のメニューを表示します (● 76ページ)。

10 (SELECT ▼▲▶▶) ボタン (音量調整ボタンを兼用)

- メニューを表示しているときに (SELECT ▼▲▶▶) ボタンを押すと、設定・調整したい項目を選択できます (● 76ページ)。
- ポインタを表示しているときは、ポインタの移動や画面拡大の表示位置の調整に使用できます (● 50, 51ページ)。
- メニューやポインタなどを表示していないときは、(SELECT ▼▲▶▶) ボタンで音量の調整ができます (● 42ページ)。
- ビューワ表示中は、(SELECT ◀▶) ボタンでスライドの切り替えなどができます (● 65ページ)。

11 (ENTER) ボタン

メニューを表示しているときに (ENTER) ボタンを押すと、項目を決定します (● 76ページ)。
各種調整・設定画面を表示しているときは、調整・設定値を確定してメニュー表示に戻ります。

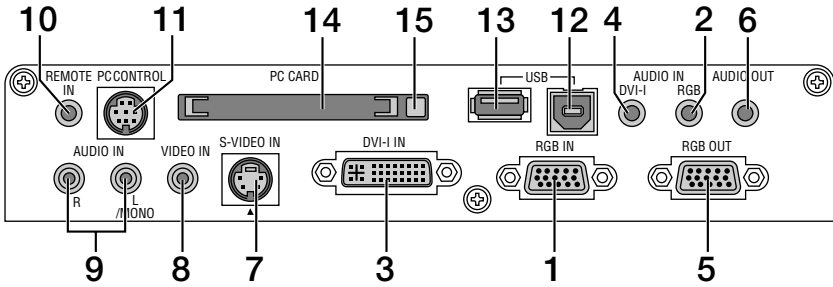
12 (CANCEL) ボタン

メニューを表示しているときに (CANCEL) ボタンを押すと、メニューを閉じます。
各種調整・設定画面を表示しているときは、調整・設定値を調整・設定前の状態に戻してメニュー表示に戻ります。

13 PCカードアクセスインジケータ

PCカードへのアクセス (データの読み込み/書き込み) 中に点灯します (● 62ページ)。

接続端子部



1 RGB入力端子 (RGB IN) (ミニD-Sub 15ピン)

パソコンのアナログRGB出力端子や、DVDプレーヤなどのコンポーネント出力端子と接続します (● 26,29ページ)。

2 RGB音声入力端子 (AUDIO IN RGB) (ステレオ・ミニ)

本機のRGB入力端子に接続したパソコンの音声出力端子と接続します (● 26ページ)。

3 DVI-I入力端子 (DVI-I IN) (DVI-I 29ピン)

パソコンのDVI出力端子と接続します (● 26ページ)。

4 DVI-I音声入力端子 (AUDIO IN DVI-I) (ステレオ・ミニ)

本機のDVI-I入力端子に接続したパソコンの音声出力端子と接続します (● 26ページ)。

5 RGBモニタ出力端子 (RGB OUT) (ミニD-Sub 15ピン)

RGB入力端子 (RGB IN) に入力されている映像信号を出力します (● 28ページ)。

6 音声出力端子 (AUDIO OUT) (ステレオ・ミニ)

本機から投写されている映像の音声信号を出力します。

7 S-ビデオ映像入力端子 (S-VIDEO IN) (ミニDIN-4ピン)

ビデオデッキやDVDプレーヤなどのS映像出力端子と接続します (● 30ページ)。

8 ビデオ映像入力端子 (VIDEO IN) (RCA-フォノ)

ビデオデッキやDVDプレーヤなどの映像出力端子と接続します (● 30ページ)。

9 ビデオ音声入力端子 (AUDIO IN) (RCA-フォノ)

ビデオデッキやDVDプレーヤなどの音声出力端子と接続します (● 30ページ)。

10 リモコン端子 (REMOTE IN) (ステレオ・ミニ)

添付のリモコンケーブルを使って本機のリモコンと接続すると、有線でのリモコン操作が行えます。リモコンの赤外線送信ができない場合に使用します (● 22ページ)。

11 PCコントロール端子 (PC CONTROL) (ミニDIN-8ピン)

添付のCD-ROMに収録しているDynamic Image Utilityを使用すると、パソコンから本機を操作することができます。

別売のシリアルケーブル (形名CA03D) を使って、パソコンのシリアルポート (DIN-8P) と接続してください。

12 USBポート (タイプB)

添付のUSBケーブルを使ってパソコンのUSBポート (タイプA) と接続すると、本機のリモコンでパソコンのマウス操作が行えます (● 54ページ)。

13 USBポート (タイプA)

- 市販のUSBマウスを使って、本機メニュー操作をするときに接続します (● 53ページ)。

- USBメモリやUSBメモリーカードリーダーを接続できます (● 58ページ)。

14 PCカードスロット (PC CARD)

市販のフラッシュメモリカードやLANカードなどを挿入します (● 61ページ)。

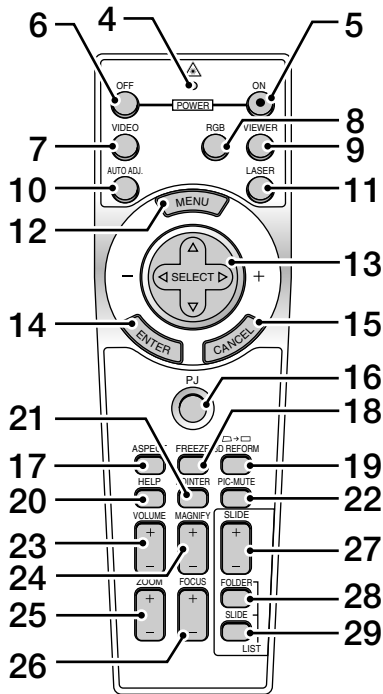
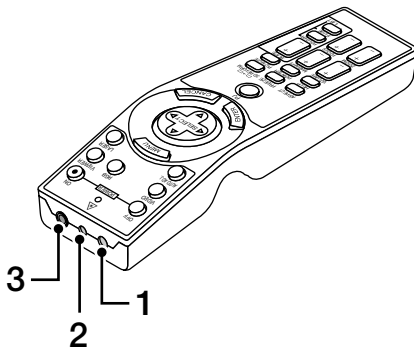
注意

● 本機の工場出荷時は、PCカードスロットにダミーカードがセットされています。本機をご購入後、はじめてフラッシュメモリカードやLANカードをセットする際は、まずダミーカードを取り出してください。

15 PCカード取り出しボタン

フラッシュメモリカードやLANカードをPCカードスロットから取り出すときに押します。

1-4. リモコン各部の名称



1

添付品や名称を確認する

1 リモコン送信部

赤外線によるリモコン信号が送信されます。
本体のリモコン受光部に向けて操作してください。

2 レーザー発光部

レーザーポインタの光を発射します。



警告

レーザー光は人に向けないでください。目を痛める原因となります。

3 リモコンケーブル接続端子

本機とリモコンをリモコンケーブルで接続すると、リモコンを本機に向けずにリモコン操作が行えます（●22ページ）。

4 リモコン送信中インジケータ

赤外線送信中またはレーザー発光中は赤く点灯します。

5 POWER (ON) ボタン

2秒以上押して、アイドル時またはスタンバイ時（POWERインジケータがオレンジ色に点灯）に本機の電源を入れます。

6 POWER (OFF) ボタン

2秒以上押すと、本機の電源が切れます（アイドル状態またはスタンバイ状態）。

7 (VIDEO) ボタン

ビデオ入力、S-ビデオ入力を選択します。
(VIDEO) ボタンを押すごとに、ビデオ入力とS-ビデオ入力が切り替わります。

8 (RGB) ボタン

RGB、DVI (デジタル)、DVI (アナログ) を選択します。

(RGB) ボタンを押すごとに、RGB→DVI (デジタル)→DVI (アナログ)→RGB→・・・と入力信号が切り替わります。

9 (VIEWER) ボタン

ビューワを表示します。

10 (AUTO ADJ.) ボタン

映しているRGB信号の画像を最適な状態に自動調整します（●42ページ）。

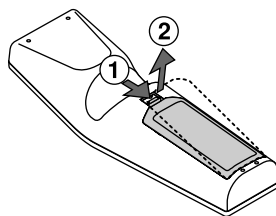
11 (LASER) ボタン

レーザーポインタが発光します（●43ページ）。

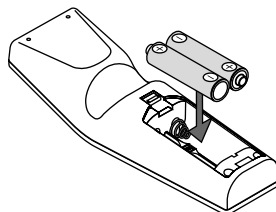
- 12 (MENU) ボタン**
各種設定・調整のメニューを表示します。
- 13 (SELECT) ボタン**
パソコンモードのとき……パソコンのマウスとして動作します(●48ページ)。
プロジェクタモード(●PJ)ボタン16が赤く点灯)のとき……メニュー操作やポインタ移動、(MAGNIFY+/-)ボタンを使った画面拡大時の表示位置調整に使います。
- 14 (ENTER) (左クリック) ボタン**
パソコンモードのとき……マウスの左ボタンの動作をします。
2～3秒押すとドラッグモードになります(●55ページ)。
プロジェクタモードのとき……メニューを表示しているときは、項目を決定します。各種調整・設定画面を表示しているときは、調整・設定値を確定してメニュー表示に戻ります。
- 15 (CANCEL) (右クリック) ボタン**
パソコンモードのとき……マウスの右ボタンの動作をします。
プロジェクタモードのとき……メニューを表示しているときは、メニューを閉じます。各種調整・設定画面を表示しているときは、調整・設定値を調整・設定前の状態に戻してメニュー表示に戻ります。
- 16 (PJ) ボタン**
(SELECT) ボタン、(CANCEL) ボタン、(ENTER) ボタンの動作をプロジェクタモードに切り替えます。
プロジェクタモードのときは赤く点灯します。
もう一度押すとパソコンモードに戻ります(●48ページ)。
- 17 (ASPECT) ボタン**
アスペクト調整項目を表示します(●87ページ)。
- 18 (FREEZE) ボタン**
表示されている画像が静止画となります。もう一度押すと戻ります。
- 19 (3D REFORM) ボタン**
上下左右方向の歪みを調整します(●94ページ)。
(3D REFORM) ボタンを押すごとに、ピンクッション補正→4点補正→台形補正 と調整画面が切り替わります(未調整時)。
- 20 (HELP) ボタン**
ヘルプを表示します(●52ページ)。
各種調整・設定画面を表示しているときは、選択している項目のヘルプを表示します。
- 21 (POINTER) ボタン**
ポインタを表示します。画面拡大時にこのボタンを押すと表示位置の調整ができます(●50ページ)。
- 22 (PIC-MUTE) ボタン**
映像と音声を一時的に消します。もう一度押すと戻ります(メニュー表示中に押した場合は、映像と音声は消えますが、メニューは消えません)。
- 23 (VOLUME +/-) ボタン**
内蔵スピーカの音量と音声出力端子(AUDIO OUT)の音量を調整します。
- 24 (MAGNIFY +/-) ボタン**
画面の拡大・縮小(もとに戻す)をします(●51ページ)。
- 25 (ZOOM +/-) ボタン**
投写画面の大きさの微調整を行います(●40ページ)。
- 26 (FOCUS +/-) ボタン**
投写画面のピントを合わせます(●40ページ)。
- 27 (SLIDE +/-) ボタン**
ビューワのスライド画面の切り替えや、フォルダ/スライド一覧表示のカーソル送りに使います(●65ページ)。
- 28 (FOLDER LIST) ボタン**
フラッシュメモリカードに保存されたフォルダ一覧を表示します(●65ページ)。
- 29 (SLIDE LIST) ボタン**
フラッシュメモリカードに保存されたスライド一覧を表示します(●65ページ)。

●電池の入れかた

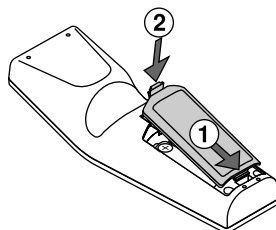
1 リモコン裏面の電池ケースのふたを外す。



2 ケース内部に印刷されている+、-の向きに合わせて単3乾電池をセットする。



3 もと通りにふたをする。

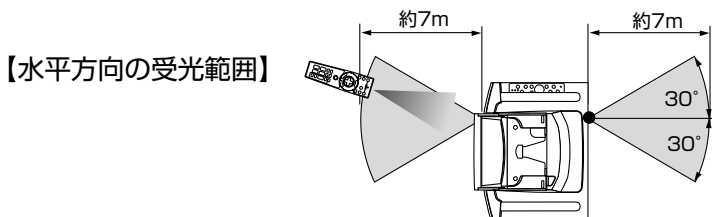


- 乾電池を交換するときは、2本とも同じ種類の単3乾電池をお買い求めください。
- (SELECT $\blacktriangle$ $\blacktriangleleft$ $\blacktriangleright$ $\blacktriangleright$) ボタンを押しながら乾電池をセットすると、リモコンが正常に動作しなくなる場合があります。その場合は、乾電池を取り出し、もう一度セットしなおしてください。

●リモコンの有効範囲

リモコンケーブルを使用せず赤外線でリモコンを操作する場合、リモコン送信部を本体のリモコン受光部に向けてリモコンを操作してください。おおよそ次の範囲内でリモコンの信号が受信できます。

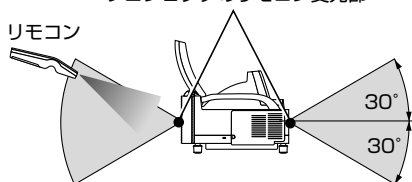
リモコンをスクリーンに反射させて本体前面のリモコン受光部で受信することもできます。



【水平方向の受光範囲】

プロジェクタのリモコン受光部

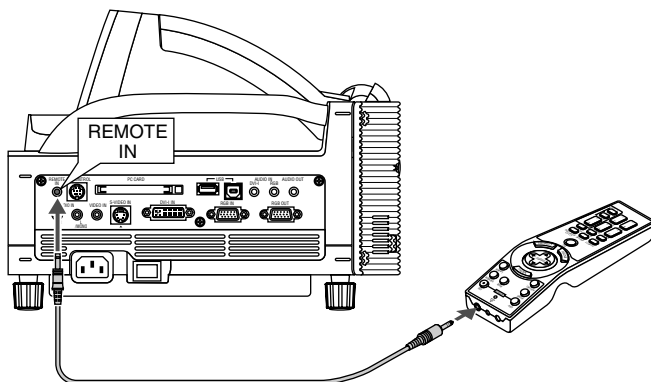
【垂直方向の受光範囲】



(注) 有効範囲のイメージを表した図のため
実際とは多少異なります。

●リモコンケーブルを使用する

本体のリモコン受光部とリモコンの間に遮へい物などがあるときや、有効範囲外でリモコン操作するときは、添付のリモコンケーブルを使用してください。



- リモコンケーブルで本機とリモコンを接続すると、スタンバイ状態が自動的にアイドル状態に切り替わります (● 105ページ)。

●リモコンの使用上の注意

- ・ 赤外線送信の場合、本機のリモコン受光部やリモコン送信部に明るい光が当たっていたり、途中で障害物があって信号がさえぎられていると動作しません。
- ・ 赤外線送信の場合、本体から約7m以内で本体のリモコン受光部に向けて操作してください。
- ・ リモコンを落としたり、誤った取り扱いはいけません。
- ・ リモコンに水や液体をかけないでください。万一ぬれた場合は、すぐにふき取ってください。
- ・ できるだけ熱や湿気のないところで使用してください。
- ・ 長期間リモコンを使用しないときは、乾電池を取り出してください。
- ・ レーザーポインタの使用上のご注意については、「3-7. レーザーポインタを使う」 (● 43ページ) をご覧ください。

第2章

設置と接続

.....

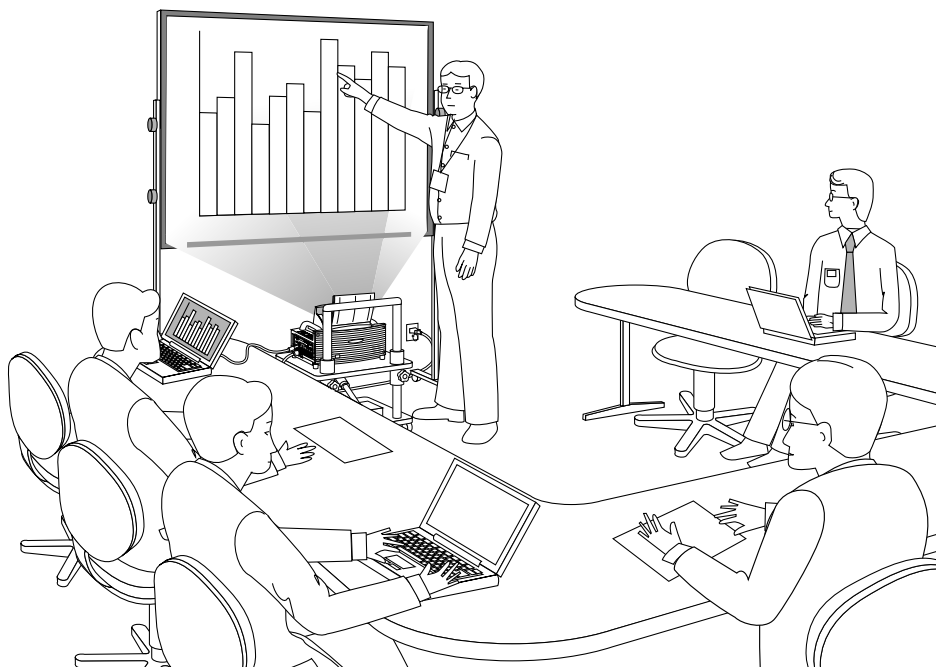
2-1. 設置と接続の流れ	24
2-2. スクリーンとプロジェクタを設置する ...	25
2-3. パソコンと接続する	26
2-4. RGBモニタと接続する	28
2-5. DVDプレーヤなどのAV機器と接続する ...	29
2-6. 書画カメラと接続する	31
2-7. 電源コードを接続する	32



- はじめて本機を設置する場合は、添付の『設置ガイド』の手順に従ってください。

2-1. 設置と接続の流れ

プロジェクトを設置する場合は、次の流れで行います。



ステップ 1

スクリーンと 프로젝터를設置する (➡ 25ページ)



ステップ 2

パソコンやビデオデッキなどを 프로젝터に接続する

- パソコンと接続する場合 (➡ 26ページ)
- RGBモニターと接続する場合 (➡ 28ページ)
- DVDプレーヤーやビデオデッキなどのAV機器と接続する場合 (➡ 29ページ)
- 書画カメラと接続する場合 (➡ 31ページ)

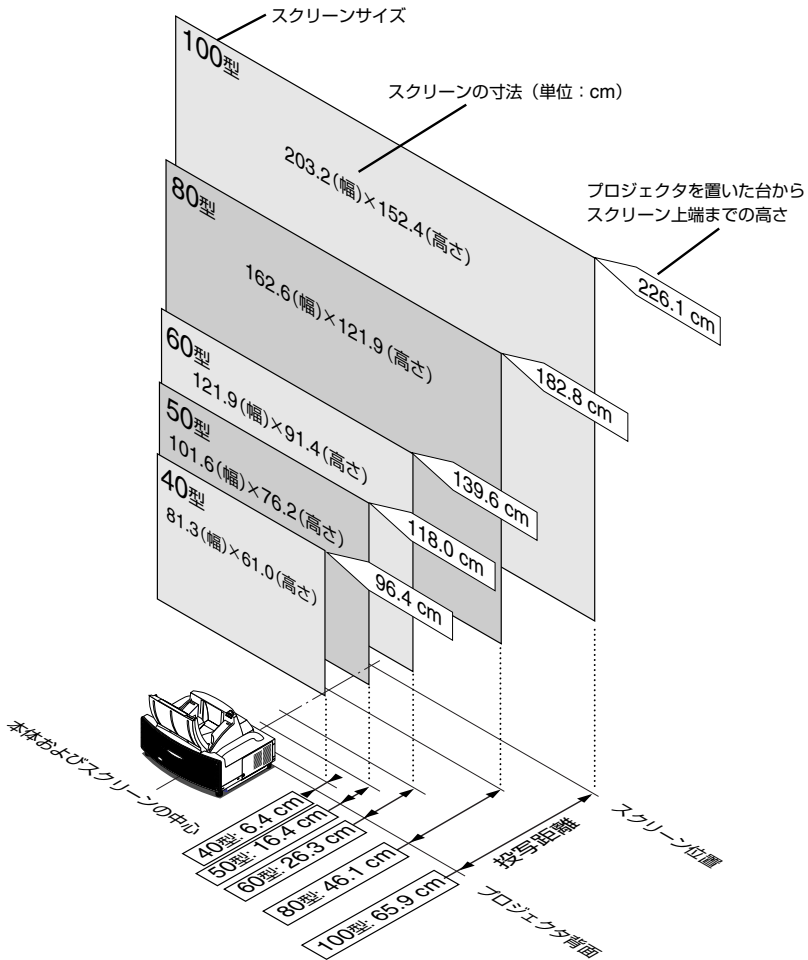


ステップ 3

電源コードを接続する (➡ 32ページ)

2-2. スクリーンとプロジェクタを設置する

下図を参照して、適切な画面サイズとなる位置にプロジェクタを設置してください。
例：80型のスクリーンに投写する場合は、下図より46.1cm離して設置します。



- スクリーンは、たわみの少ないものを使用してください。
スクリーンのたわみが大きいと、投写画面が歪んで見える場合があります。



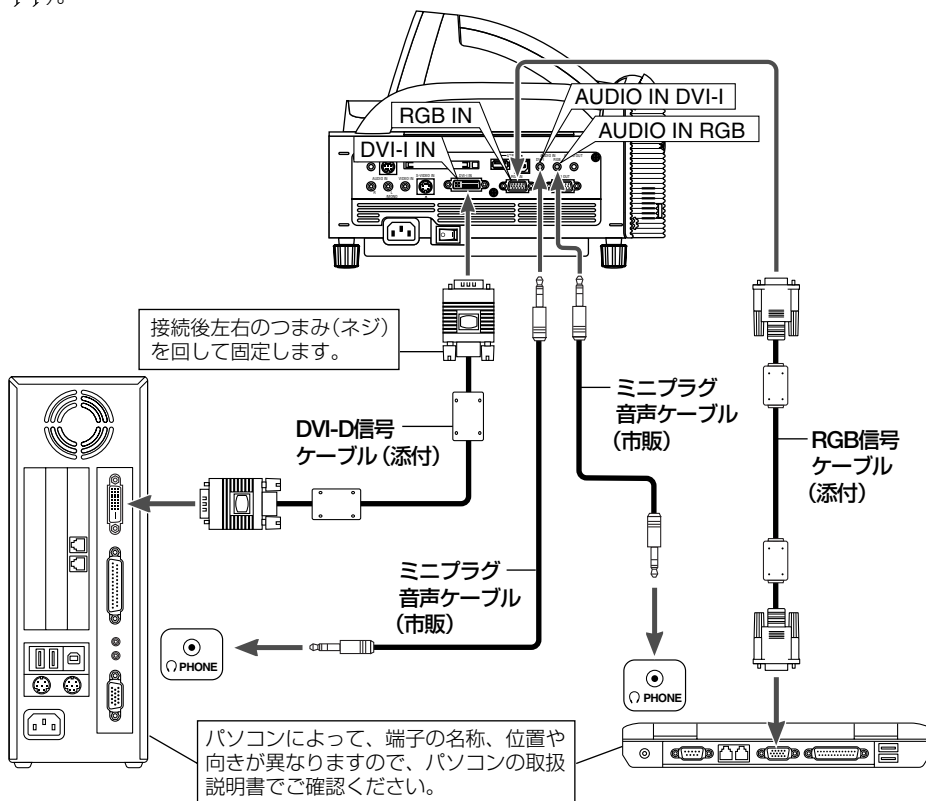
- 図の各寸法は、設計値のため実際の寸法と多少の誤差がありますので目安としてください。
- 投影距離と画面サイズについては、付録の「投影距離とスクリーンサイズ」(135ページ)をご覧ください。

2-3. パソコンと接続する

パソコン側のディスプレイ出力端子(ミニD-Sub15ピン)と、本機のRGB入力端子(RGB IN)を、添付のRGB信号ケーブルで接続します。

パソコン側がDVI出力端子の場合は、添付のDVI-D信号ケーブルで本機のDVI-I入力端子(DVI-I IN)に接続します。

また、添付のDVI-I↔アナログRGB変換ケーブルを使用すると、パソコンのアナログRGB出力端子を本機のDVI-I入力端子(DVI-I IN)に接続することができます(➡[参考](#))。



注意

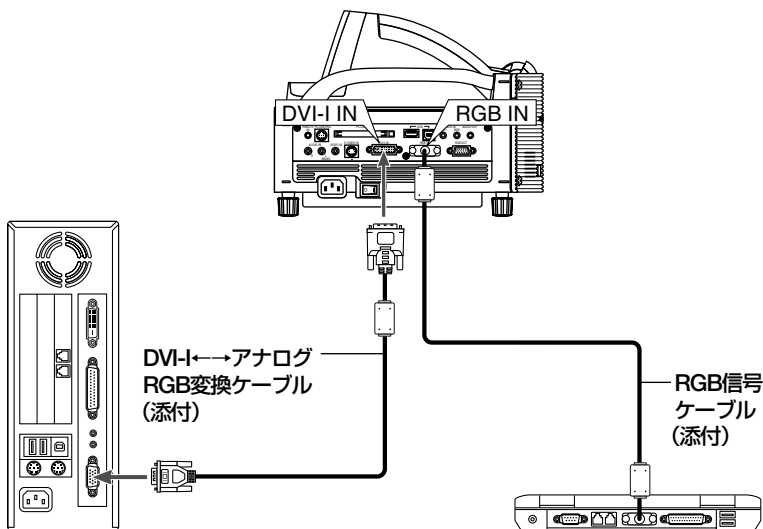
- パソコンや本機の電源を切ってから接続してください。
- 音声ケーブルをヘッドホン端子と接続する場合、接続する前にパソコンの音量を低めに調整してください。そして、パソコンと本機を接続して使用する際に、本機の音量とパソコンの音量を相互に調整し、適切な音量にしてください。
- パソコンにミニジャックタイプの音声出力端子がある場合は、その端子に音声ケーブルを接続することをおすすめします。
- 当社製のビデオユニット(形名ISS-6020J、ISS-6010J)のビデオデコード出力には対応していません。
- スキャンコンバータなどを介してビデオデッキを接続した場合、早送り・巻き戻し再生時に正常に表示できない場合があります。

- DVI (デジタル) 入力時の注意事項

- ・ DVI-D信号ケーブルは、DDWG Revision1.0に準拠した5m以内のものをお使いください。
- ・ DVI-D信号ケーブルを接続するときは、本機とパソコンの電源が切れた状態で行ってください。
- ・ DVI (デジタル) 信号を投写する際は、ケーブル接続後、まず本機の電源を入れ、DVI (デジタル) 入力を選択します。最後にパソコンを起動してください。
上記の手順通りに操作しないと、映像が投写されないことがあります。映像が投写されない場合はパソコンを再起動してください。
- ・ パソコンのグラフィックカードによっては、アナログRGB (D-Sub) とDVI-D (またはDFP) の両端子を有するものがあります。この場合、D-Sub端子にRGB信号ケーブルを接続していると、DVI-D信号が出力されないものがあります。
- ・ 本機の電源が入っているときにDVI-D信号ケーブルを抜かないでください。一度抜いて、再度接続した場合、映像が正常に投写されないことがあります。その場合はパソコンを再起動してください。
- ・ 本機のDVI (デジタル) 入力は、VGA (640×480)、SVGA (800×600)、XGA (1024×768)、1152×864、およびSXGA (1280×1024／垂直走査周波数60Hzまで) に対応しています。

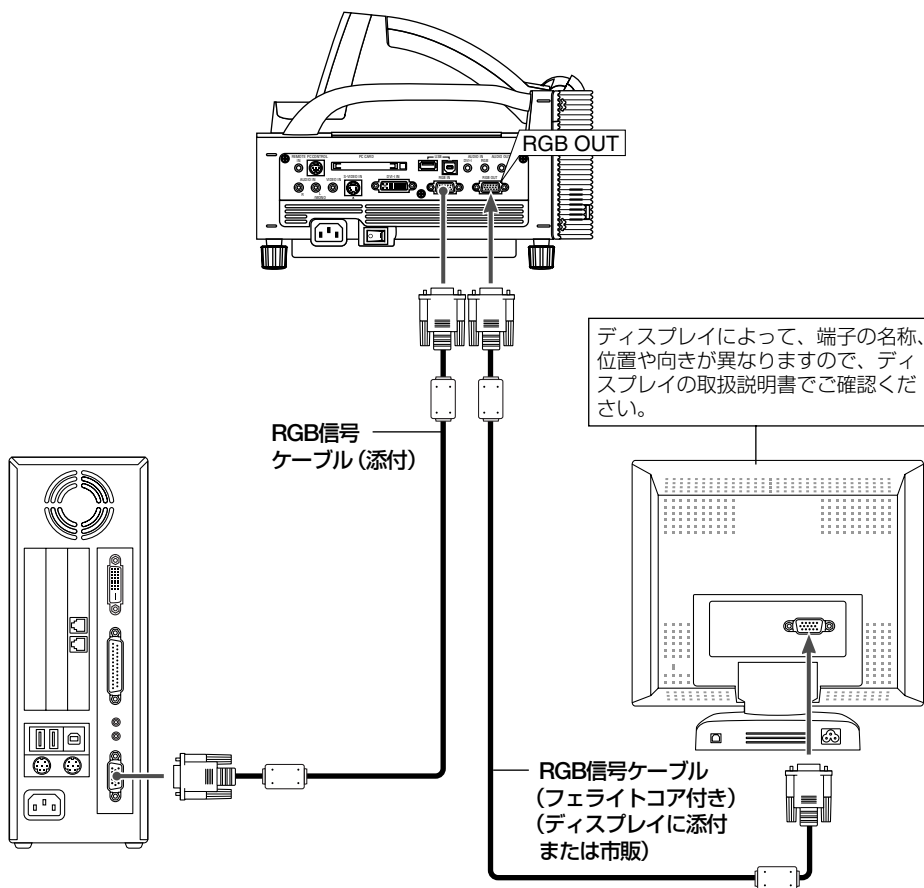


- Windowsのプラグ・アンド・プレイに対応しています。
- Macintoshとの接続では、マック用信号アダプタ (市販品) が必要になる場合があります。
- パソコンと本機を離して使用する場合は、別売のマルチシンク10mケーブル (形名VL-CA10MD) を使用してください。また、信号の減衰を補うため、別売のRGB信号分配ユニット (形名VL-DA102) の使用をおすすめします。
- 添付のDVI-I→アナログRGB変換ケーブルを使用すると、2系統のアナログRGB入力信号を接続することができます。



2-4. RGBモニタと接続する

図のように、デスクトップパソコンと本機を接続したときなど、本機で投写している画面と同じ画面を、手もとのディスプレイにも表示（モニタ）して確認できます。



注意

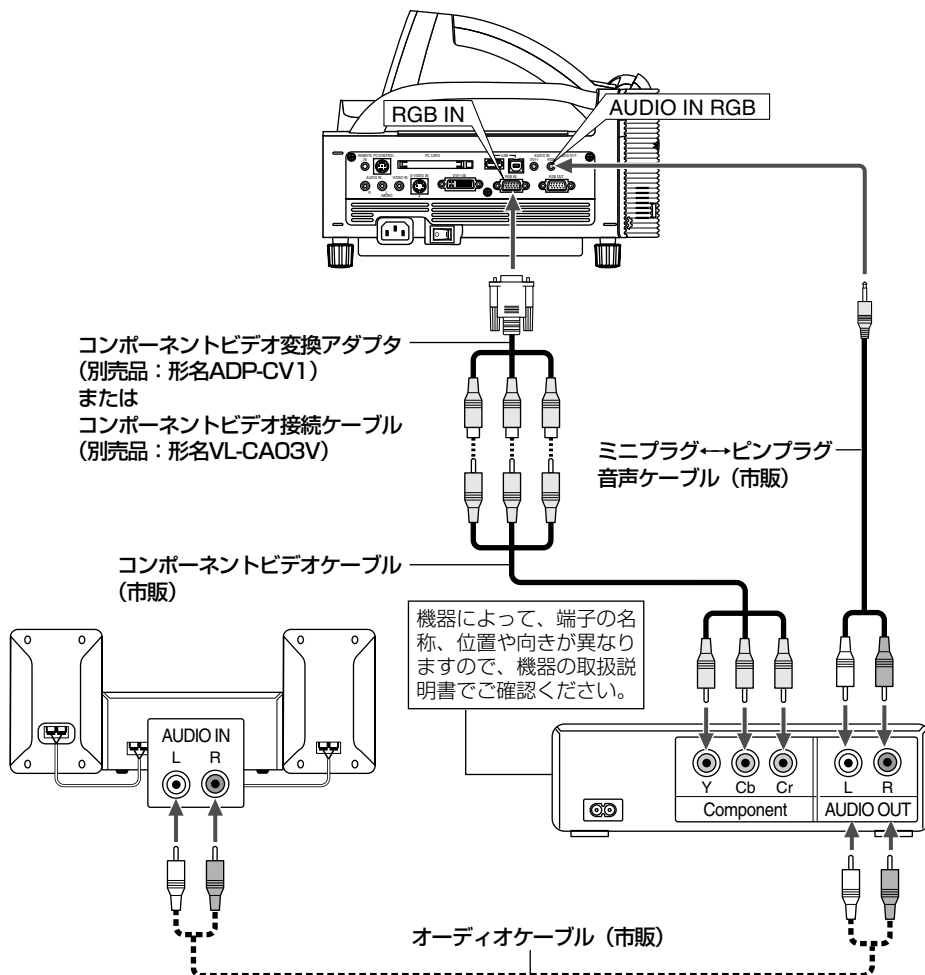
- 本機のRGBモニタ出力端子（RGB OUT）は、1台のディスプレイへ映像信号を出力するためのものです。複数のディスプレイやプロジェクタを連続してつなぐような使いかたはできません。
- 本機のアイドル状態をスタンバイ状態に切り替えると、本機の電源が入っていないとき（POWERインジケータのみがオレンジ色で点灯しているとき）にRGBモニタ出力端子（RGB OUT）から映像信号が出力されなくなります（▶ 105ページ）。

2-5. DVDプレーヤなどのAV機器と接続する

● DVDプレーヤなどのYCbCr出力端子との接続

DVDプレーヤの色差出力端子 (DVD映像出力) やハイビジョンビデオなどのYPbPr出力端子 (HD映像出力) を使って本機で映すことができます。

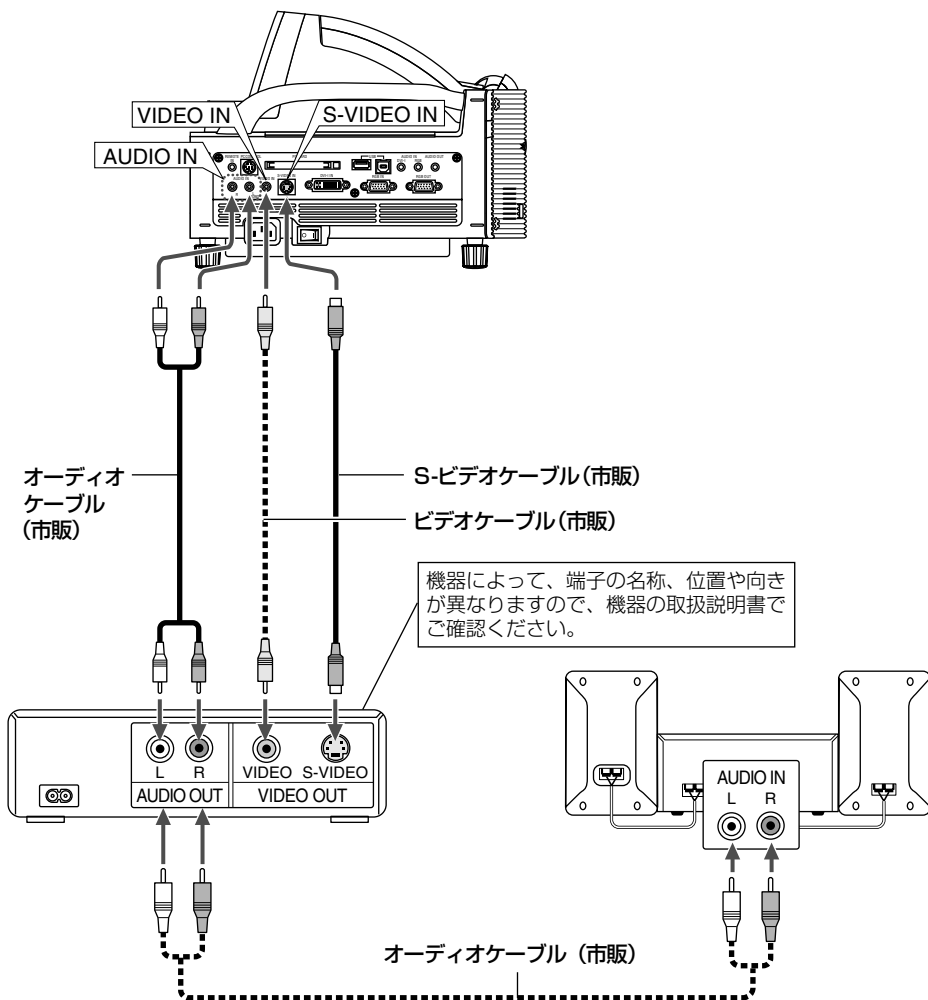
DVDプレーヤの音声はオーディオ機器と接続してください。



- 通常は自動でRGBとコンポーネントを判別して切り替えますが、判別できない場合は、本機のアドバンスメニューから [機器設定] → [セットアップ] → [ページ3] → [信号選択] の設定画面でRGB信号を「コンポーネント」に設定してください (● 103ページ)。
- D端子付きの映像機器と接続する場合は、別売のD端子変換アダプタ (形名ADP-DT1) をお使いください。

ビデオ機器との接続

ビデオデッキ、テレビチューナなどのビデオ機器の映像を映す場合は、市販のケーブルを使用してください。

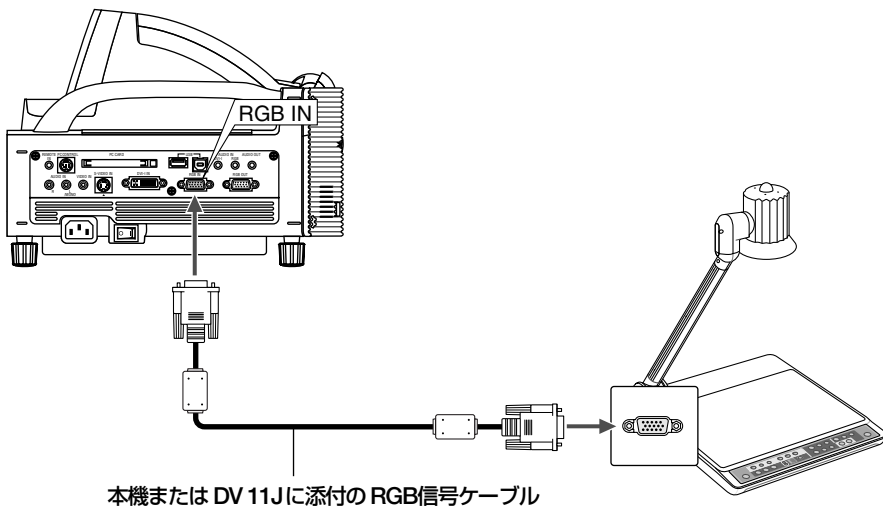


2-6. 書画カメラと接続する

本機と別売の資料提示用装置 (DV11J) を接続すると、印刷された資料や個体をスクリーンに投写することができます。

また、RGB端子、ビデオ端子、S-ビデオ端子を装備している市販の書画カメラも接続することができます。

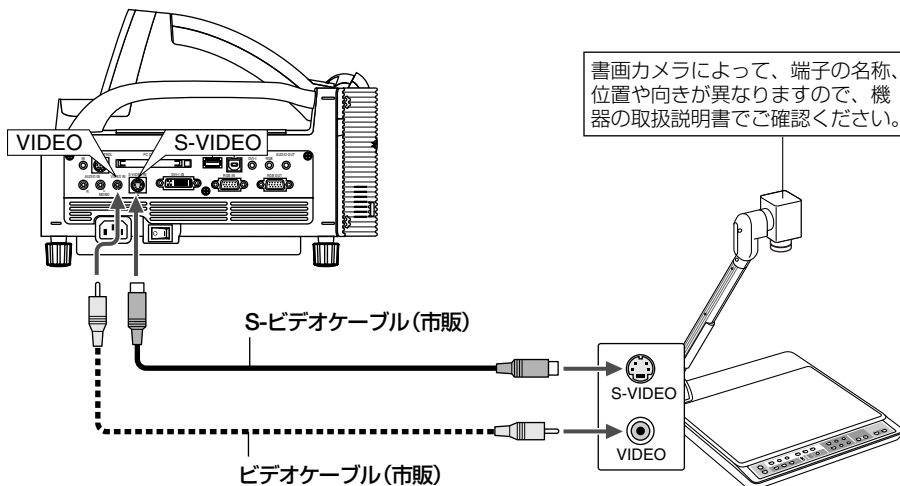
● DV11Jの場合



2

設置と接続

● ビデオ出力の書画カメラの場合

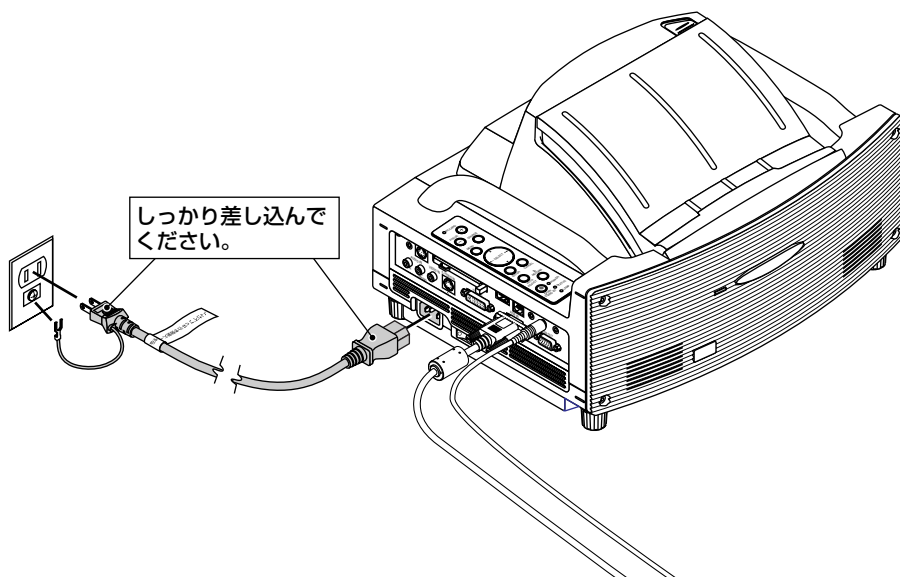


2-7. 電源コードを接続する

本機のAC IN端子と、AC100Vアース付きのコンセント（アース工事済み）を、添付の電源コード（国内仕様）で接続します。

⚠ 注意

機器の安全確保のため、機器のアースは確実にとってご使用ください。感電の原因となりますので、アース工事は専門業者にご依頼ください。アースの接続は、必ず電源プラグをコンセントに差し込む前に行ってください。また、アースを外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。



注意

● 次のような場合は、電源プラグをコンセントから抜かないでください。故障の原因となります。

- ・ 砂時計アイコンが表示されているとき。
- ・ 「しばらくお待ちください」というメッセージが表示されているとき（電源を切るとこのメッセージが表示されます）。
- ・ 電源を切ったあとのファンの回転中（ファンは約90秒間回転します）。
- ・ PCカードアクセスインジケータが点灯しているとき（ビューワ使用中）またはLAN使用中。
フラッシュメモリカードやLANカード使用時はカードが壊れるおそれがあります。

第3章

映像を投写する(基本操作)

.....

3-1. 映像を投写する流れ	34
3-2. 本機の電源を入れる	35
3-3. 入力信号を選択する	37
3-4. 投写画面の位置と大きさを調整する ...	38
3-5. 映像を自動調整する	42
3-6. 本機の音量を調整する	42
3-7. レーザーポインタを使う	43
3-8. 本機の電源を切る	44
3-9. あとかたづけ	45

3-1. 映像を投写する流れ

ステップ 1

本機の電源を入れる (➡ 35ページ)



ステップ 2

入力信号を選択する (➡ 37ページ)



ステップ 3

投写画面の位置と大きさを調整する (➡ 38ページ)



ステップ 4

映像や音声を調整する

- ・ 画質を調整する場合 (➡ 42ページ)
- ・ 本機の音量を調整する場合 (➡ 42ページ)



ステップ 5

プレゼンテーションを行う

- ・ レーザーポインタを使う場合 (➡ 43ページ)



ステップ 6

本機の電源を切る (➡ 44ページ)



ステップ 7

あとかたづけ (➡ 45ページ)

3-2. 本機の電源を入れる

準備：「2. 設置と接続」(▶23ページ)を参照のうえ、機器の接続を行ってください。

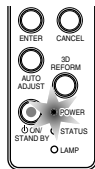
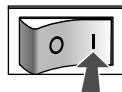
重要

- 本機の電源コードの取り付け、取り外しは、主電源スイッチが「○ (切)」の状態で行ってください。
主電源スイッチが「I (入)」の状態では電源コードの取り付け、取り外しを行うと、故障の原因となります。
- 本機の電源の入/切は、「主電源スイッチ」と「POWER (ON/STAND BY) ボタン (リモコンはPOWER (ON) (OFF) ボタン)」の2段階の操作で行います。
- 電源を入れる (▶このページ)
 - 1 「主電源スイッチ」を「I (入)」にする。
本機がアイドル状態またはスタンバイ状態になります。
 - 2 「POWER (ON/STAND BY) ボタン (リモコンはPOWER (ON) ボタン)」を2秒以上押す。
本機の電源が入ります。
- 電源を切る (▶44ページ)
 - 1 「POWER (ON/STAND BY) ボタン (リモコンはPOWER (OFF) ボタン)」を2秒以上押す。
本機がアイドル状態またはスタンバイ状態になります。
 - 2 ファンの回転が終わったら、「主電源スイッチ」を「○ (切)」にする。
本機の電源が切れます。

1 ミラーを開く (▶15ページ)。

2 主電源スイッチを「I (入)」にする。

本機のPOWERインジケータがオレンジ色で点灯します (アイドル状態またはスタンバイ状態)。アイドル状態のときはさらにSTATUSインジケータが緑色で点灯します。

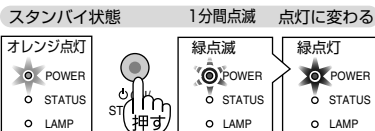
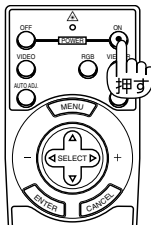
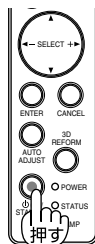


3 POWER (ON/STAND BY) ボタンを2秒以上押す。

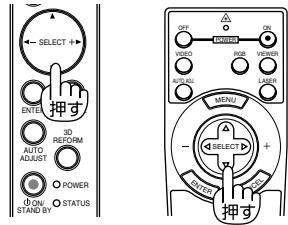
本機の電源が入り、約30秒後スクリーンが明るくなります。

- リモコンで操作する場合は、POWER (ON) ボタンを2秒以上押します。
- 信号が入力されていないときは、青い画面 (ブルーバック：工場出荷状態) が表示されます。
- ご購入後はじめて電源を入れたときは「Menu Language Select (言語選択)」画面が表示されます。次のように操作して「日本語」を選択してください。

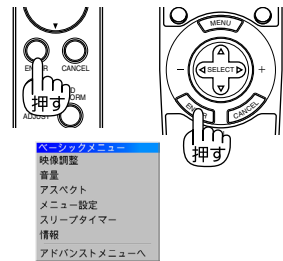
なお、映像がぼやけている場合は、(FOCUS +/-) ボタンを押して画面のピントを合わせてください (▶40ページ)。



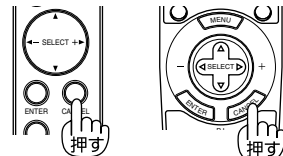
- ① (SELECT▼) ボタンを押して、緑色のカーソルを
[日本語] に合わせる。



- ② (ENTER) ボタンを押す。
選択した言語でメニューが表示されます。



- ③ (CANCEL) ボタンを押す。
メニューが消えます。



- 次のような場合は、POWER (ON/STAND BY) ボタンを押しても電源が入りません。
 - ・ミラーが閉じているときは電源が入りません。
 - ・ミラー部分 (光線の通り道) にあるセンサーが異物を感知した場合は電源が入りません。ミラーを傷つけないように注意して、ミラー部分から異物を取り除いてください。
 - ・ミラー部分 (光線の通り道) の底にある温度センサーが高温を感知した場合は電源が入りません。ミラー部分の底のほこりなどを取り除いてください。
 - ・ミラー部分 (光線の通り道) に強い照明を当てないでください。
センサーが誤動作して、電源が入らないことがあります。
 - ・内部の温度が異常に高いと保護のため電源は入りません。しばらく待って (内部の温度が下がって) から電源を入れてください。
 - ・ランプの寿命がきた場合は電源が入りません。ランプを交換してください。
 - ・電源を入れてもランプが点灯せず、STATUSインジケータが点滅 (6回周期の点滅) している場合は、1分以上待って再度電源を入れてください。
- POWERインジケータ点滅中 (約1分間) は電源を切ることができません。
- 電源ON時、ランプが安定して点灯するまで (3~5分) 映像がちらつく場合があります。これはランプの特性上発生するもので故障ではありません。
- 本機は、フラッシュメモ리카ードをプロテクトキーとしたセキュリティ機能を搭載しています。詳しくは、「6-8. 機器設定」の「セキュリティ」(▶ 114ページ) をご覧ください。

3-3. 入力信号を選択する

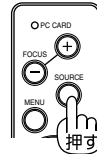
信号選択画面から選択する

- 1 本機に接続しているパソコンやビデオデッキなどの電源を入れる。

ビデオデッキなどの映像を投写するときは、再生 (PLAY) 操作をしてください。

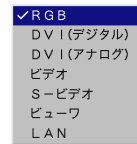
- 2 (SOURCE) ボタンを短く押す。

信号選択画面が表示されます。



- 3 (SOURCE) ボタンを数回短く押して、投写したい入力信号にカーソルを合わせる。

(SOURCE) ボタンを短く押すたびに、次の入力信号にカーソルが移動します。



- 4 (ENTER) ボタンを押す。

(ENTER) ボタンを押さずに約2秒経過すると、カーソルが合っている信号に自動的に切り替わります。

投写する入力信号を自動検出する

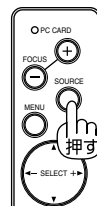
- 1 本機に接続しているパソコンやビデオデッキなどの電源を入れる。

ビデオデッキなどの映像を投写するときは、再生 (PLAY) 操作をしてください。

- 2 (SOURCE) ボタンを1秒以上押す。

投写可能な信号を自動検出します。

- ・ 1秒以上 (SOURCE) ボタンを押すたびに、RGB→DVI (デジタル) →DVI (アナログ) →ビデオ→S-ビデオ→ビューワ・・・と映像 (入力信号) が切り替わります。入力がないときは次の信号に移ります。



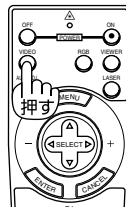
リモコンを使って選択する

1 本機に接続しているパソコンやビデオデッキなどの電源を入れる。

ビデオデッキなどの映像を投写するときは、再生 (PLAY) 操作をしてください。

2 リモコンの (VIDEO)、(RGB)、(VIEWER) ボタンを押す。

- (VIDEO) ボタンを押すごとに、ビデオ入力とS-ビデオ入力が切り替わります。
- (RGB) ボタンを押すごとに、RGB→DVI (デジタル)→DVI (アナログ)→RGB→… と入力信号が切り替わります。



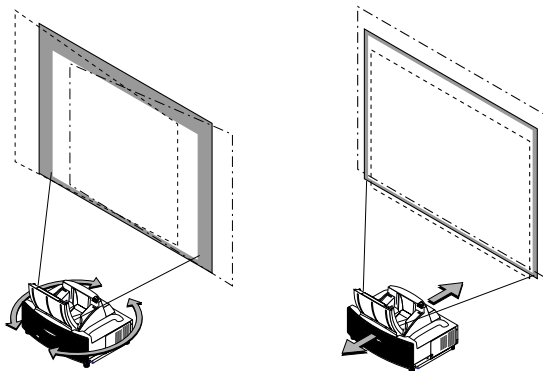
参考

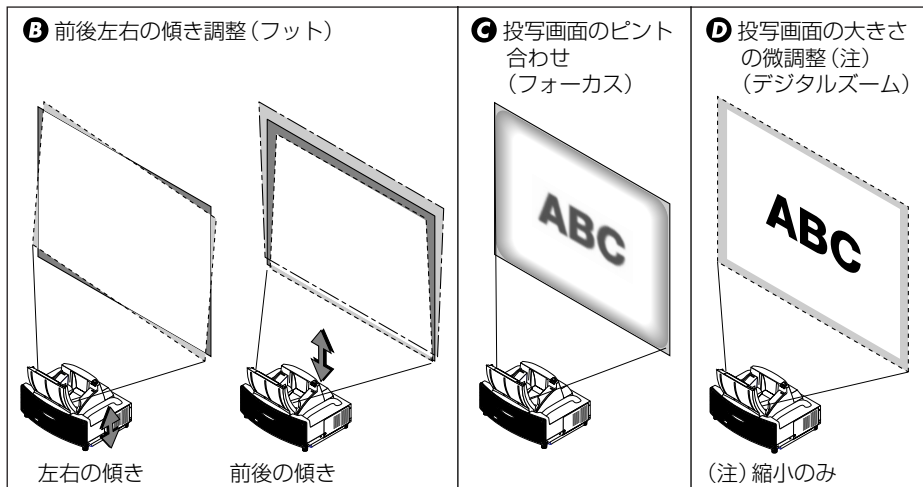
- 入力信号がないときは、青い画面 (ブルーバック：工場出荷状態) が表示されます。ビデオデッキやDVDプレーヤーなどは再生 (PLAY) 操作をしてください。
- パソコンの画面がうまく投写できない場合は、132ページを参照してください。
- ビューワまたはLANに切り替えると、DVI-I音声入力端子 (AUDIO IN DVI-I) に入力されている音声スピーカーから出力されます。

3-4. 投写画面の位置と大きさを調整する

フット、フォーカス、デジタルズームなどを操作して、投写画面の位置や大きさを調整します。

A 本機の設置位置の微調整



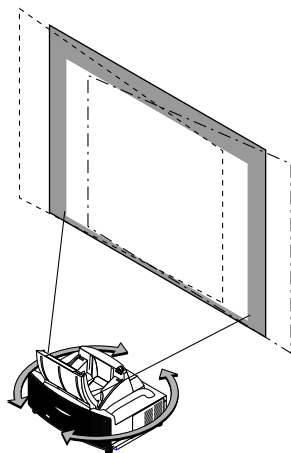


※ここでは、本機に接続しているケーブル類を省略したイラストにしています。

4 本機の設置位置の微調整

1 スクリーンの正面に本機を設置する。

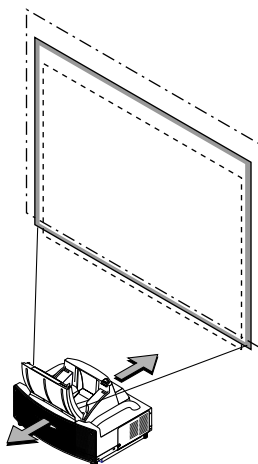
スクリーンの中央へ光が垂直に当たるように本機を設置します。



2 本機を前後に移動する。

投写画面の大きさを調整します。

- ・本体がスクリーンから離れるにつれ、画面サイズは大きくなり、画面の下端の位置も上方へ移動します。



③ 前後左右の傾き調整(フット)

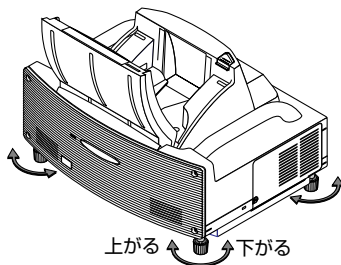
① 底面 4 箇所のフットを回す。

フットを回すと、フットが伸縮し、前後左右の傾きを調整できます。

- ・フットは、最大約30mmまで伸ばすことができます。

注意

- フットを回しすぎると、本機から外れてしまいます。



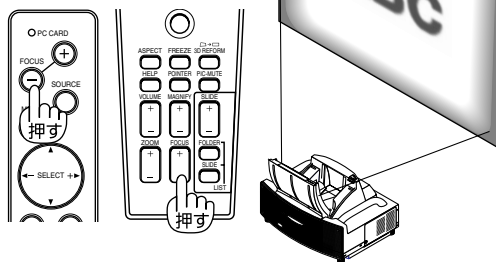
④ 投写画面のピント合わせ(フォーカス)

① FOCUS +/- ボタンを押す。

- ・(FOCUS +/-) ボタンを押すと、ピントが合うと同時に、上下方向の台形歪みも調整されます。

注意

- フォーカスの調整によって画面サイズおよび位置が変化します。
必要に応じて本機の設置位置の微調整を再度行ってください。



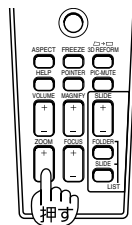
⑤ 投写画面の大きさと位置の微調整(デジタルズーム)

●画面の大きさの微調整

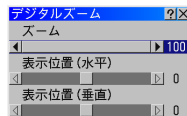
① リモコンの ZOOM +/- ボタンを押す。

デジタルズーム調整画面が表示されます。

- ・投写画面の大きさを0~100 (80~100%)の範囲で調整できます。



投写画面を縮小した場合は、投写画面100%の範囲内で、次の『表示位置の微調整』ができます。



●表示位置の微調整

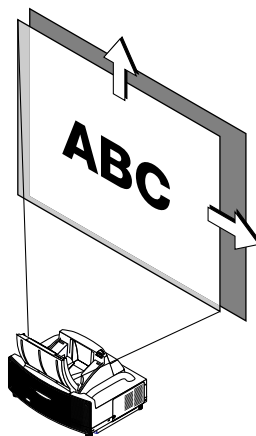
① デジタルズーム調整画面が表示されているときに、(SELECT ▼/▲) ボタンを押して、[表示位置(水平)]または[表示位置(垂直)]にカーソルを合わせる。

2 (SELECT ◀▶) ボタンを押す。

水平方向、垂直方向に表示位置が移動します。

注意

- [ズーム] で画面を縮小した場合にのみ、表示位置を移動できます。



3 手順 1 2 を繰り返し、表示位置を合わせる。

4 (ENTER) ボタンを押す。

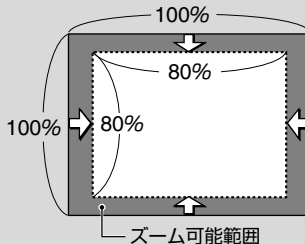
画面の大きさや位置が決定されます。

5 (CANCEL) ボタンを数回押す。

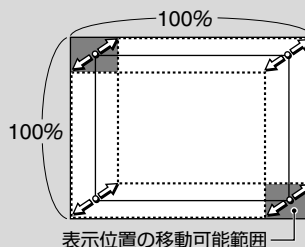
メニュー画面が閉じます。

注意

- [デジタルズーム] は、画像を電氣的に圧縮するため解像度が劣化することがあります。
- [ズーム] は、アスペクト比を維持したまま、縦横の長さが80%まで縮小します。



- [表示位置 (水平／垂直)] は、[ズーム] で縮小した画面を、縦横の長さが100%の範囲内で移動することができます。



- [デジタルズーム] の調整を行うと、[4点補正]、[台形補正] は調整できません。また、[4点補正] または [台形補正] を行うと、[デジタルズーム] は調整できません。

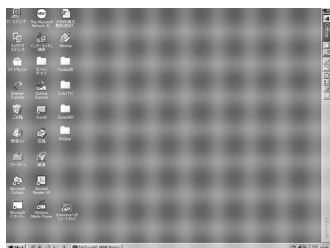
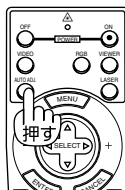
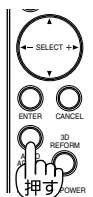
参考

- アドバンスメニューの [機器設定] → [デジタルズーム] を選択しても、デジタルズーム調整画面を表示できます。

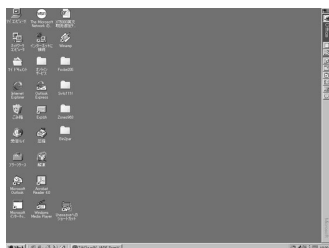
3-5. 映像を自動調整する

パソコンの画面を投写している場合、投写画面の端が切れていたり、映りが悪いときに、ワンタッチで画質を調整します。

- 1** **(AUTO ADJUST)** ボタンを押す。
 [砂時計] アイコンが表示され、しばらくすると
 投写画面の表示が自動調整されます。
 ・リモコンで操作する場合は、**(AUTO ADJ.)** ボタンを押します。



【映りが悪い画面の例】



【自動調整後の画面の例】

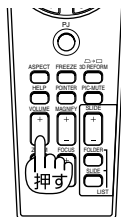
参考

- 自動調整を行っても表示位置がずれていたり、画面に縦縞が出たりして映りが悪い場合は、手動で画面の調整を行ってください(89ページ)。
- パソコンの画面がうまく投写できない場合は、132ページを参照してください。

3-6. 本機の音量を調整する

本機の内蔵スピーカの音量を調整します。

- 1** リモコンの **(VOLUME +/-)** ボタンを押す。
 +側…音量が大きくなります。
 -側…音量が小さくなります。



参考

- 画面に本機のメニューが表示されていないときは、本体の **(SELECT ▼/▲)** ボタンを押しても音量を調整できます。

3-7. レーザーポインタを使う

レーザーポインタ機能を使って、効果的なプレゼンテーションが行えます。リモコンの先端からレーザー光（赤い光）を出し、説明したいところをピンポイントで指すことができます。

警告

レーザーポインタのレーザー光源をのぞかない
次の事項をお守りください。レーザー光が目にあたると視力低下・視覚障害の原因となります。

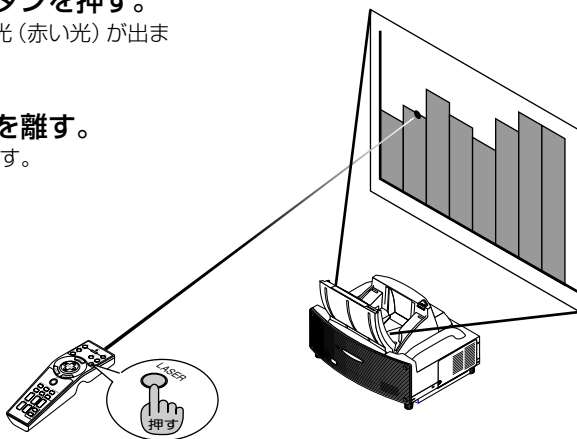
- ・レーザーポインタのレーザー光源をのぞき込まない。
- ・レーザー光を人に向けてない。
- ・子供には使用させない。

1 リモコンの (LASER) ボタンを押す。

リモコンの先端からレーザー光（赤い光）が出ます。

2 (LASER) ボタンから指を離す。

レーザー光（赤い光）が消えます。



参考

- リモコン側面および底面に次の内容が記載されています。

クラス2レーザー製品 最大出力：1mW

波長：650nm

JIS C 6802（1998）

製造者：F & T

- レーザーの発光を禁止する場合は、電池ケースの底にあるレーザー光の有効／禁止スイッチを操作してください。

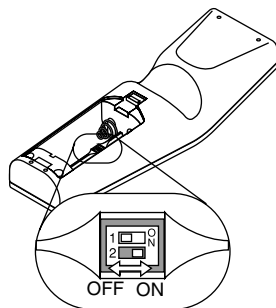
必要に応じて「スイッチ2」を細いボールペンの先などを使って設定してください。工場出荷状態は「有効」に設定されています。お子様が使用できる環境に置かれる場合は「禁止」に設定してください。なお、「スイッチ1」は適応プロジェクタの設定ですので切り替えないでください。

ON側… 有効 (LASER) ボタンを押すとレーザーが発光します。)【工場出荷状態】

OFF側… 禁止 (LASER) ボタンを押してもレーザーは発光しません。)



JQA



3

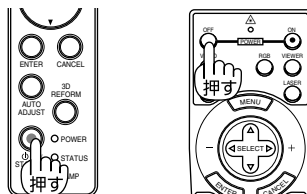
映像を投写する(基本操作)

3-8. 本機の電源を切る

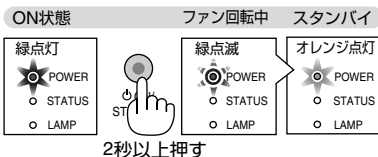
1 POWER (ON/STAND BY) ボタンを2秒以上押す。

電源が切れPOWERインジケータがオレンジ色に変わります（アイドル状態またはスタンバイ状態）。

- ・リモコンで操作する場合は、POWER (OFF) ボタンを2秒以上押します。

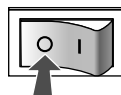


- 電源を入れた直後の約1分間は、電源を切ることができません。



2 主電源スイッチを「○ (切)」にする。

本機のPOWERインジケータが消え、主電源が切れます。



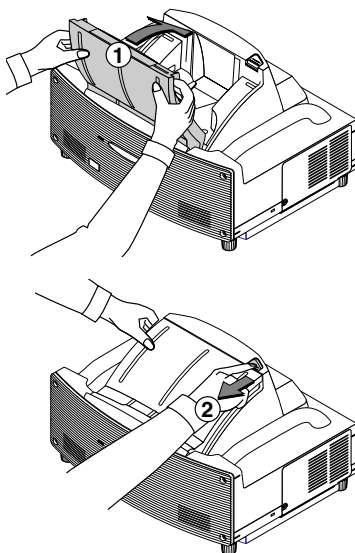
- 次のような場合は、主電源スイッチを切ったり、電源プラグをコンセントから抜かないでください。
機器が故障するおそれがあります。
 - ・砂時計アイコンが表示されているとき。
 - ・「しばらくお待ちください」というメッセージが表示されているとき（電源を切るとこのメッセージが表示されます）。
 - ・電源を切ったあとのファンの回転中（ファンは約90秒間回転します）。
 - ・PCカードアクセスインジケータが点灯しているとき（ビューワ使用中）またはLAN使用中。
フラッシュメモ리카ードやLANカード使用時はカードが壊れるおそれがあります。

3-9. あとかたづけ

準備：本機の主電源スイッチが「○(切)」になっていることを確認してください。

1 ミラーを閉じる。

- ・ミラーを閉じたら、ミラーをロックしてください。



2 電源コードを取り外す。

3 各種信号ケーブルを取り外す。

4 添付の本体カバーをかぶせる。

3

映像を投写する(基本操作)

第4章

便利な機能

.....

4-1. 「プロジェクタモード」と 「パソコンモード」の切り替え	48
4-2. 映像と音声を消去する	49
4-3. 動画を静止画にする	49
4-4. ポインタを表示／非表示／移動する ...	50
4-5. 映像を拡大する	51
4-6. 本機の操作説明を投写する	52
4-7. 市販のUSBマウスを使って操作する	53
4-8. 本機のリモコンでパソコンの マウス操作を行う	54
4-9. 投写画面に文字や図形を描く (チョークボード)	55
4-10. USBメモリ、およびUSBメモリ カードリーダーを使用する	58

4-1. 「プロジェクタモード」と「パソコンモード」の切り替え

本機のリモコンには、「プロジェクタモード」と「パソコンモード」という2つの操作モードがあります。プロジェクタモードとパソコンモードでは、(SELECT ▼▲◀▶) ボタン、(ENTER) ボタン、(CANCEL) ボタンの働きが異なりますので注意してください。

● プロジェクタモード

(SELECT ▼▲◀▶) ボタン	本機の音量調整やメニューの項目選択を行います。
(ENTER) ボタン	選択した項目を決定します。
(CANCEL) ボタン	操作を取り消します。

● パソコンモード

本機のリモコンを使って、本機とUSBケーブルで接続しているパソコンのマウス操作を行うモードです (54ページ)。

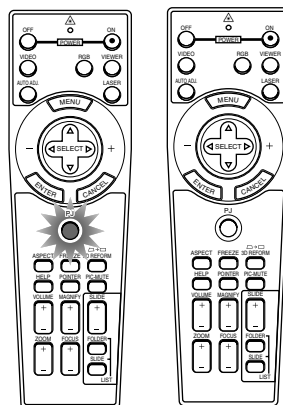
(SELECT ▼▲◀▶) ボタン	マウスポインタを移動します。
(ENTER) ボタン	左クリックの働きをします。
(CANCEL) ボタン	右クリックの働きをします。

「プロジェクタモード」と「パソコンモード」の切り替え

リモコンの操作モードは、リモコンの(PJ) ボタンの点灯状態で確認することができます。

(PJ) ボタン点灯時 (赤色)	プロジェクタモードです。
(PJ) ボタン消灯時	パソコンモードです。

- リモコンの(PJ) ボタンを押すと、(PJ) ボタン自体が赤く点灯します。
- もう一度(PJ) ボタンを押すと、(PJ) ボタンは消灯します。
- POWER (ON) (OFF) ボタン、(MENU) ボタンなどを押すと、プロジェクタモード ((PJ) ボタンが赤色点灯) になります。
- プロジェクタモード ((PJ) ボタンが赤色点灯) のときに、約60秒間リモコン操作を行わないと、自動的にパソコンモード ((PJ) ボタンが消灯) に変わります。



プロジェクタ
モード

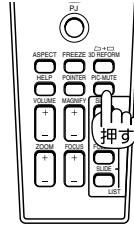
パソコン
モード

4-2. 映像と音声を消去する

1 リモコンの (PIC-MUTE) ボタンを押す。

投写されている画像と、内蔵スピーカおよび音声出力端子 (AUDIO OUT) から出力されている音声が一時的に消えます。

- もう一度 (PIC-MUTE) ボタンを押すと、画像と音声が出ます。



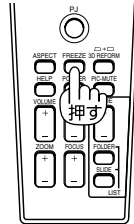
- 画像は消えますが、メニュー表示は消えません。

4-3. 動画を静止画にする

1 リモコンの (FREEZE) ボタンを押す。

ビデオの映像を投写しているときなど、動画が静止画になります。

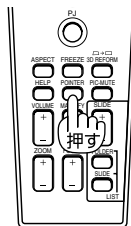
- もう一度 (FREEZE) ボタンを押すと、動画に戻ります。



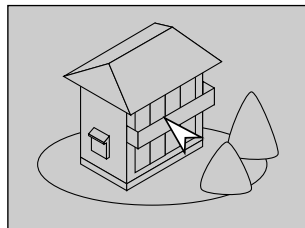
- (FREEZE) ボタンを押すと、押すときに投写されていた画像を静止画メモリに保存し、静止画メモリ内の画像 (静止画) を映します。静止画表示中、ビデオなどの映像再生は先に進行しています。

4-4. ポインタを表示／非表示／移動する

1 リモコンの (POINTER) ボタンを押す。

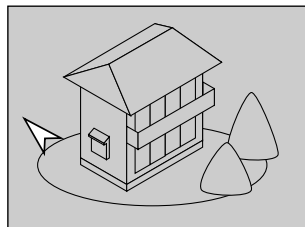


画面にポインタが表示されます。



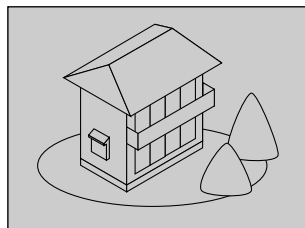
2 (SELECT ▼▲◀▶) ボタンを押す。

ポインタが移動します。



3 再び (POINTER) ボタンを押す。

ポインタが消えます。



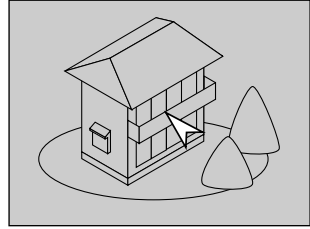
- (POINTER) ボタンを押して60秒間操作をしないと、リモコンはパソコンモードに戻ります。
- (PJ) ボタンを押して (PJ) ボタンを再び点灯させると (SELECT ▼▲◀▶) ボタンが動作します。



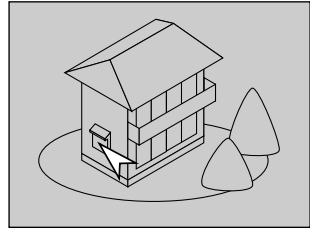
- ポインタの形状はアドバンスメニューの [機器設定] → [メニュー設定 (ページ1)] で選択できます (98ページ)。

4-5. 映像を拡大する

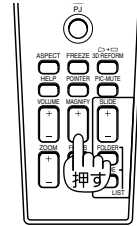
- 1** リモコンの (POINTER) ボタンを押す。
画面にポインタが表示されます。



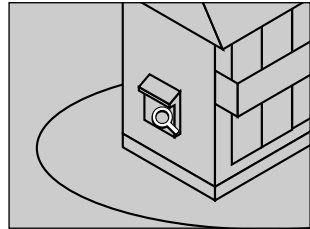
- 2** (SELECT ▼▲◀▶) ボタンを押して、拡大したい位置までポインタを移動する。



- 3** (MAGNIFY+) ボタンを押す。
押すごとに画像が拡大します。
・最大4倍まで拡大できます。
・画像が拡大すると、ポインタが「🔍」になります。



- 4** (SELECT ▼▲◀▶) ボタンを押す。
拡大した画像の表示領域が移動します。



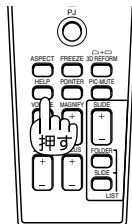
- 5** (MAGNIFY-) ボタンを押す。
押すごとに画像が縮小します。
・拡大する前の画像に戻ると、「🔍」が通常のポインタ表示に戻ります。



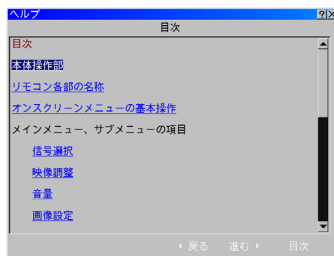
- ポインタを表示しなくても、(MAGNIFY+) ボタンで画面を拡大することができます。ポインタが表示されていない場合は、画面を中心にして拡大（およびもとのサイズに戻る）します。
また、画面を拡大したとき、(SELECT ▼▲◀▶) ボタンを押して投写範囲を移動することができます。

4-6. 本機の操作説明を投写する

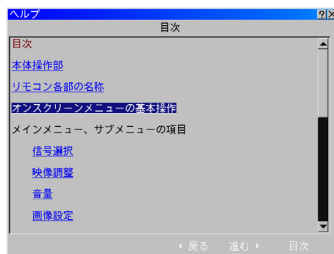
- 1** リモコンの **(HELP)** ボタンを押す。



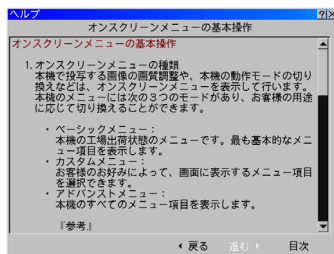
ヘルプの目次画面が表示されます。



- 2** **(SELECT ▼▲◀▶)** ボタンを押して、説明を表示したい項目にカーソルを合わせる。



- 3** **(ENTER)** ボタンを押す。
説明画面が表示されます。



- 4** **(SELECT ◀)** ボタンを押す。
もとの画面に戻ります。

- 5** **(CANCEL)** ボタンを押す。
ヘルプ画面が閉じます。

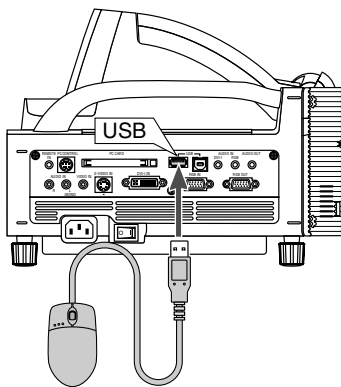
4-7. 市販のUSBマウスを使って操作する

市販のUSBマウスを本機に接続すると、USBマウスを使って、メニューなどを操作することができます。

■ USBマウスの接続

1 USBマウスの平形プラグを、本機のUSBポート(タイプA)に差し込む。

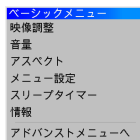
- USBマウスを接続すると、画面にマウスポインタが表示されます。
- 約10秒間マウス操作を行わないと、マウスポインタは消えます。
- 再びマウス操作を行うと、マウスポインタが表示されます。



■ USBマウスでの操作

1 USBマウスで左クリックする。

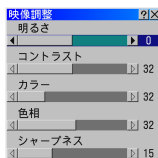
メニュー(工場出荷状態は、ベーシックメニュー)が表示されます。



2 選択したい項目にマウスポインタを移動し、左クリックする。

項目が選択されます。

【操作例】



- 調整は[◀] [▶]を左クリックします。
調整バーをクリックしたまま、左右にドラッグ(移動)して調整することもできます。
- 調整を確定する場合は、[×]を左クリックします。
- [?]を左クリックすると、その項目の[ヘルプ]を表示します。
- メニュー画面(調整ウインドウ)のタイトルバー部分を左クリックしたままドラッグすると、メニュー画面の表示位置を移動できます。
- メニューウインドウ以外のところを左クリックすると、メニューが表示されます。
複数のメニュー画面(調整ウインドウ)を同時に表示しながら調整することができます。



- USBマウスによっては、本機で使用できないものがあります。
使用可能なUSBマウスについては、当社ホームページ (http://www.nevt.co.jp/pjs/support/move_check.html) をご覧ください。



- マウスポインタの形状（デザイン）は変更することができます。アドバンスドメニューの[機器設定] → [メニュー設定（ページ1）]の[マウスポインタ]で選択します（▶ 98ページ）。
- “スクロールボタン”または“スクロールホイール”付きのUSBマウスの場合は、次の操作が行えます。
 - ・ [ヘルプ]などスクロールバーが表示されているメニュー上で、“スクロールボタン”または“スクロールホイール”を使ってスクロールすることができます。
 - ・ 各種調整メニュー上で、“スクロールボタン”または“スクロールホイール”を使って調整バーを動かすことができます。
 - ・ メニュー表示以外の部分にマウスポインタを動かして“スクロールボタン”またはスクロールホイール”をクリックすると、チョークボードツールバーの表示／消去ができます。

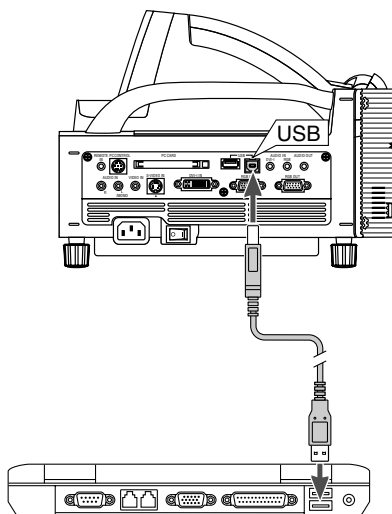
4-8. 本機のリモコンでパソコンのマウス操作を行う

本機のリモコンを使って、本機と接続しているパソコンのマウス操作を行います。リモコンは、パソコンモードに切り替えて操作します（▶ 48ページ）。

USBケーブルの接続

添付のUSBケーブルを使用して、本機とパソコンを接続します。

- 1** USBケーブルの角形のプラグを本機のUSBポート（タイプB）に差し込む。
- 2** USBケーブルの平形のプラグをパソコンのUSBポート（タイプA）に差し込む。

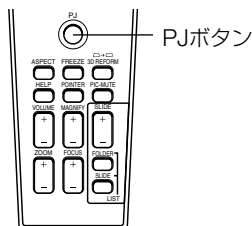


- PC98-NXシリーズ、DOS/V対応機の場合、Windows 98/Me/2000/XP以外のOSでは使用できません。
- USBポートからプラグを抜いて再び差し込む場合は、抜いたあと5秒以上おいてから差し込んでください。瞬間的なプラグの差し込みを行うと、パソコンが本機を正しく認識できないことがあります。

リモコンを使ったパソコンのマウス操作

1 本機のリモコンの (PJ) ボタンが赤く点灯していないことを確認する。

(PJ) ボタンが赤く点灯している場合は、(PJ) ボタンを押して、(PJ) ボタンを消灯してください。



2 (SELECT ▼▲▶◀) ボタン、(ENTER) ボタン、(CANCEL) ボタンを押してパソコンを操作する。

- (SELECT ▼▲▶◀) ボタン …マウスポインタを移動します。
- (ENTER) ボタン ……………左クリックの働きをします。
- (CANCEL) ボタン ……………右クリックの働きをします。

参考

- パソコンモードのとき (ENTER) ボタンを2～3秒押し続けてから離すとドラッグモードになります。そのまま (SELECT ▼▲▶◀) ボタンを押すとドラッグ操作ができます。ドラッグ&ドロップするときは (ENTER) ボタンを、ドラッグモードを解除するときには (CANCEL) ボタンを押します。
- リモコンを使って、本機の音量調整やメニューの選択を行う場合は、リモコンをプロジェクタモードに切り替えてください (P. 48ページ)。

4-9. 投写画面に文字や図形を描く(チョークボード)

市販のUSBマウスを本機に接続すると、あたかも“ホワイトボードに図形を描く”ように、投写画面にフリーハンド(自由曲線)の図形を描くことができます。この機能を「チョークボード」と言います。

- PCカードスロットにフラッシュメモ리카ードをセットすると、チョークボード画面をキャプチャすることができます (P. 66ページ)。
- チョークボードは、USBマウスを本機に接続していないとメニューから選択できません(白文字)。
- チョークボードの状態では、メニューは表示できません。メニューを表示する場合は、チョークボードを終了してください。
- 本体の (SOURCE) ボタンやリモコンの入力選択ボタンで入力信号が切り替えられたときは、チョークボードは強制終了します。
- キャプチャツールバーを表示しているときにチョークボードを選択すると、キャプチャ機能は強制終了します。

■ チョークボード画面を表示する

準備：本機に市販のUSBマウスを接続してください(🕒 53ページ)。

1 USBマウスで左クリックする。

メニュー(工場出荷状態は、ベーシックメニュー)が表示されます。

- ・アドバンストメニューが表示された場合は、手順

3へ進みます。

2 [アドバンストメニューへ]を左クリックする。

一時的にアドバンストメニューに切り替わります。

3 [ツール] → [チョークボード]を左クリックする。

画面の左下にチョークボードツールバーが表示されます。



- USBマウスの“スクロールボタン”または“スクロールホイール”をクリックしても、チョークボードツールバーが表示できます。

■ チョークボードツールバー(各アイコンの働き)



ペン

左クリックすると、マウスポインタがペンポインタに変わり、描画モードになります。

ペン種選択：左クリックするとペンの太さを選択できます。



カラー

左クリックして、ペンの色を選択します。



キャプチャ

チョークボードで描いた図形と投写画面を合成し、キャプチャ(画面の保存)を実行します(🕒 66ページ)。



消しゴム

左クリックすると、マウスポインタが消しゴムポインタに変わり、消去モードになります。

消しゴム種類選択：左クリックすると消しゴムの太さを選択できます。



クリア

左クリックすると、描画した絵柄がすべて消去されます。



非表示

左クリックすると、一時的にチョークボードツールバーを消します。画面上で右クリックすると、チョークボードツールバーが表示されます。



終了

左クリックすると、チョークボードを終了します。画面上に描画した絵柄は消えます。

●線を引く

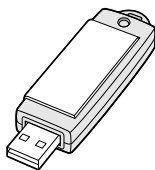
-

-

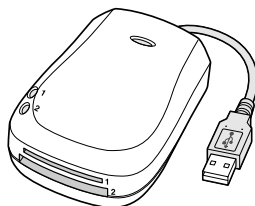
4-10. USBメモリ、およびUSBメモリカードリーダーを使用する

本書では、データの保存場所として、フラッシュメモリカードを主にして説明していますが、本機のビューワやセキュリティ（プロテクトキー）において、市販のUSBメモリが使用できます。また、市販のUSBメモリカードリーダーを本機に接続すると、各種メモリカード内のデータを扱ったり、各種メモリカードをプロテクトキーとして使用できます。

- 本機で使用可能なUSBメモリ、およびUSBメモリカードリーダーについては、当社ホームページ http://www.nevt.co.jp/pjs/support/move_check.html でご確認のうえ、市販品をお買い求めください。
- 市販のUSBメモリ、またはUSBメモリカードリーダーの端子を、本機のUSBポート（タイプA）に挿入します。
- ビューワツールバー（ 63ページ）、キャプチャツールバー（ 66ページ）、ファイル選択画面（ 71ページ）の［ドライブ］で「USB1」～「USB4」を選択します。USBドライブは最大4つまで認識できます。
- セキュリティでプロテクトキー（ 114ページ）として使用する場合は、［ドライブ］で「USB1」～「USB4」を選択します。



USBメモリ



USBメモリカードリーダー

注意

- 本機にUSBマウスを接続しているときは、USBメモリおよびUSBメモリカードリーダーは使用できません（HUBを使用した同時使用にも対応していません）。
- USBメモリ、またはUSBメモリカードリーダーのアクセスランプが点灯・点滅しているとき（メモリ内のデータを読み書きしているとき）は、次の操作に注意してください。誤った操作を行うと、USBメモリまたはメモリカードが破損するおそれがあります。重要なデータは、パソコンなどにバックアップをとっておいてください。
 - ・ 本機のUSBポートからUSBメモリを抜いたり、USBメモリカードリーダーの端子を抜かないでください。
 - ・ USBメモリカードリーダーからメモリカードを抜かないでください。
 - ・ 本機の主電源スイッチを切ったり、電源プラグを抜かないでください。
- 「USB1」～「USB4」のドライブ表示は、USBメモリまたはUSBメモリカードリーダーが本機に接続されているときのみ表示されます。また、USBメモリカードリーダー本体のドライブ表示と異なる場合があります。
- USBメモリおよびメモリカードによっては、本機のプロテクトキーとして使用できないものがあります。

第5章

ビューワを使う

.....

5-1. ビューワでできること	60
5-2. フラッシュメモリカードへ データを保存する	60
5-3. フラッシュメモリカードを 本機にセットする	61
5-4. フラッシュメモリカードのデータを映す (ビューワ)	62
5-5. 本機で投写している画像を保存する (キャプチャ)	66
5-6. ファイル一覧画面で選択する (ファイル選択)	70

5-1. ビューワでできること

ビューワとは、本機のPCカードスロットにフラッシュメモリカードをセットして、フラッシュメモリカード内のデータを投写する機能です。

ビューワには次のような特長があります。

- プレゼンテーションで使用する発表資料などを、あらかじめフラッシュメモリカードに保存しておく、パソコンと本機を接続することなしに、発表資料をスクリーンに投写することができます。パソコンを持ち運ぶ必要がなく便利です。
- 本機を使って広告などを映す際、画像の自動切り替えができます。
- ワープロや表計算ソフトの画面、またはビデオ映像などをキャプチャし、ビューワで投写することができます（キャプチャ）。
- デジタルカメラで撮影した画像を投写できます（JPEG、BMPのみ）。
- JPEG、BMP、Text、HTML、Index*といった5種類のファイルを選択して投写できます（ファイル選択）。

* 添付のCD-ROMに収録されているDynamic Image Utilityで作成したファイル形式。

注意

- フラッシュメモリカードは、最寄りのパソコンショップなどでお買い求めください。
- 本機で使えるフラッシュメモリカードは、PCMCIA-Type 2（ATA仕様）のフラッシュメモリカードです。
- コンパクトフラッシュ、SDカードなどをアダプタを用いて変換した場合、本機で使えないことがあります。使用可能なカードについては、当社ホームページ（http://www.nevt.co.jp/pjs/support/move_check.html）をご覧ください。

5-2. フラッシュメモリカードへデータを保存する

フラッシュメモリカードにデータを保存するには、次の方法があります。

Dynamic Image Utilityを使う

添付のCD-ROMに収録されているDynamic Image Utilityをパソコンにインストールして、パソコンで作成したPowerPointファイルなどを、フラッシュメモリカードに保存します。

Dynamic Image Utilityで作成したファイルは、Index形式になります。

Dynamic Image Utilityについては、別冊の「アプリケーションガイド」およびDynamic Image Utilityのヘルプをご覧ください。

Windowsのエクスプローラなどを使って、ファイルをコピーする

ビューワを使って投写できるのは、JPEG、BMP、Text、HTML、Indexなどの形式のファイルです。

本機でファイルを選択する方法については、「5-6. ファイル一覧画面で選択する（ファイル選択）」（70ページ）をご覧ください。

デジタルカメラで撮影した画像を保存する

デジタルカメラで撮影したJPEGおよびBMP形式のファイルを、フラッシュメモリカードにコピーしてください(▶73ページ)。

ワープロや表計算ソフトの画面、またはビデオ映像を保存する

本機のキャプチャ機能を使用します。

詳しくは、「5-5. 本機で投写している画像を保存する(キャプチャ)」(▶66ページ)をご覧ください。

5-3. フラッシュメモリカードを本機にセットする

重要

- フラッシュメモリカードには表と裏があり、PCカードスロットに挿入する向きが決まっています。逆に挿入しようとしてもできないようになっていますが、無理に押し込もうとすると本体内のピンが折れて、PCカードスロットが壊れてしまいます。必ずラベル面を上に向けて挿入してください。
- LANカードのセット／取り出しも、フラッシュメモリカードと同様に操作してください(▶このページ)。
- メモリカード以外のコンパクトフラッシュタイプのカードは、本機にセットしないでください。PCカードアダプタを用いて本機にセットした場合、カードが破損することがあります。
- 誤った操作を行うと、PCカードスロットにセットしているカードが破損するおそれがあります。重要なデータは、パソコンなどにバックアップをとっておいてください。

準備： 本機の工場出荷時は、PCカードスロットに“ダミーカード”がセットされています。

本機をご購入後、はじめてフラッシュメモリカードやLANカードをセットする際は、まずダミーカードを取り出してください(▶次ページ「PCカードスロットからの取り出し」)。

PCカードスロットを使用しないときは、ダミーカードをセットしておくことをおすすめします。PCカードスロット内にほこりや異物が入り込むのを防止することができます。

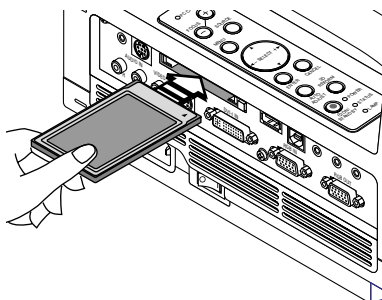
PCカードスロットへのセット

1 ラベル面を上にして水平にゆっくりと差し込む。

- ・ 完全に差し込まれると、PCカード取り出しボタンが少し手前に出てきます。

注意

- 挿入しづらい場合は、無理に押し込まないでください。



● PCカードスロットからの取り出し

- 1 PCカードアクセスインジケータが消灯していることを確認する。

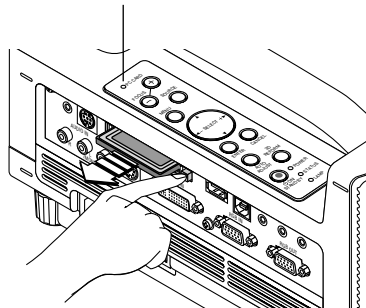


- PCカードアクセスインジケータが点灯しているとき(カード内のデータを読み書きしているとき)は取り出さないでください。フラッシュメモリカードが破損します。

- 2 PCカード取り出しボタンをゆっくりと押す。

セットしているカードが少し手前に出てきます。

PCカードアクセスインジケータ



- 3 フラッシュメモリカードをゆっくり引き出す。

5-4. フラッシュメモリカードのデータを映す(ビューワ)

● ビューワをスタートする

準備：フラッシュメモリカードを本機のPCカードスロットにセットしてください(● 61ページ)。

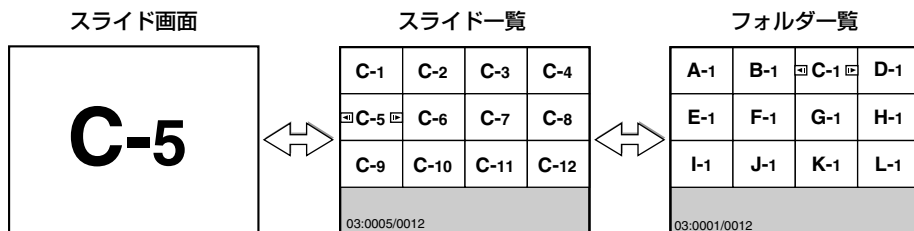
- 1 (SOURCE) ボタンを数回押して、「ビューワ」を選択する(● 37ページ)。

ビューワ画面が表示されます。

- ・リモコンで操作する場合は、(VIEWER) ボタンを押してください。
- ・メニューから選ぶ場合は、[信号選択]で「ビューワ」を選択してください(● 83ページ)。

ビューワ画面

- ビューワには次の3つの画面があります。
- ビューワツールバーの各アイコンを選択して表示を切り替えます（このページ）。



- スライド一覧では、最大12個のスライドが表示できます。
- フォルダ一覧では、最大12個のフォルダが表示できます。
- スライド一覧とフォルダ一覧の画面左下には、インデックスが表示されます。

【インデックス表示の意味】

01:0001/0012

- フォルダ内の全スライド数
- 選択しているスライド番号
- 選択しているスライドが入っているフォルダ番号

参考

- フォルダ一覧では、最大12個のフォルダが表示できます。右下に表示されるフォルダは、キャプチャした画像専用フォルダです。キャプチャした画像が保存されているときに表示されます。
- 本機のビューワで表示できる最大画像サイズは、2560×1920ドットです。本機の表示画素数を超える画像は、縮小して表示します。
- ビューワを選択しているときは、DVI-I音声入力端子（AUDIO IN DVI-I）に入力されている音声スピーカーから出力されます。

ビューワツールバー（各アイコンの働き）

ビューワ画面の左下に、ビューワツールバーが表示されます。

- ビューワツールバーが表示されていない場合は、(MENU) ボタンを押してください。また、USBマウスを接続しているときは、右クリックしてください。



◀ 逆送り

スライド一覧／フォルダ一覧で、選択項目を左に移動します。再生画面では、前の画面を表示します。

▶ 順送り

スライド一覧／フォルダ一覧で、選択項目を右に移動します。再生画面では、次の画面を表示します。



再生

スライドの再生（投写開始）を行います。

- ・スライド一覧画面のときは、選択しているスライドから再生します。
フォルダ一覧画面のときは、選択しているフォルダの先頭のスライドから再生します。
- ・自動的にスライドを切り替える場合は、ビューワオプションで「自動再生」を選択します（ 102ページ）。



停止

スライドの自動再生時に、再生を停止します。



スライド一覧 選択されているフォルダのスライド一覧を表示します。



フォルダ一覧 フォルダ一覧を表示します。



ドライブ

投写する画像が保存されている場所（PCカードスロットまたはUSB）を切り替えます。



設定

ビューワオプションの設定画面を表示します（ 102ページ）。



削除

キャプチャした画像を削除します（ 69ページ）。キャプチャした画像以外は削除できません。



表示

ビューワツールバーを消します。

- ・**(CANCEL)** ボタンを押しても消すことができます。
- ・再びビューワツールバーを表示するには、**(MENU)** ボタンを押します。
また、USBマウスを接続しているときは、右クリックしてください。

スライドを投写する

- 1** スライド画面が表示されているときは、**(SELECT ◀/▶)** ボタンで (フォルダ一覧) アイコンにカーソルを合わせ、**(ENTER)** ボタンを押す。
フォルダ一覧が表示されます。

A-1	B-1	C-1	D-1
E-1	F-1	G-1	H-1
I-1	J-1	K-1	L-1
03:0001/0012			

- 2** **(SELECT ◀/▶)** ボタンで / (逆送り／順送り) アイコンにカーソルを合わせ、**(ENTER)** ボタンを数回押して、表示するスライドを含んだフォルダを選択する。

A-1	B-1	C-1	D-1
E-1	F-1	G-1	H-1
I-1	J-1	K-1	L-1
03:0001/0012			

- 3** (SELECT ◀/▶) ボタンで  (スライド一覧) アイコンにカーソルを合わせ、
(ENTER) ボタンを押す。
フォルダ内のスライドの一覧が表示されます。

 C-1 	C-2	C-3	C-4
C-5	C-6	C-7	C-8
C-9	C-10	C-11	C-12
03:0005/0012			

- 4** (SELECT ◀/▶) ボタンで  /  (逆送り/順送り) アイコンにカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを数回押して、画面に大きく投写したいスライドを選択する。

- 5** (SELECT ◀/▶) ボタンで  (再生) アイコンにカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。
選択していたスライドが画面いっぱいに投写されます。

参考

- デジタルカメラで撮影した画像ファイルの中には、一覧表示用の画像が含まれている場合があります。一覧表示用の画像がある場合、本機ではスライド一覧およびフォルダ一覧でこれらの画像を表示します(一覧表示用の画像を表示できない場合があります)。また、本機でキャプチャを行った場合、キャプチャ画像とともに一覧表示用の画像も作成されます。
- リモコンの (SLIDE +/-)、(FOLDER LIST)、(SLIDE LIST) ボタンを押して、フォルダやスライドを切り替えることもできます。
- ビューワツールバーが表示されていないときには、(SELECT ◀/▶) ボタンで直接逆送り/順送りが行えます。また、フォルダ一覧画面、スライド一覧画面では、(ENTER) ボタンを押して、選択されている画像を画面いっぱいに投写することができます。

ビューワを終了する

- 1** (SOURCE) ボタンを押して、「ビューワ」以外の入力を選択する。
- リモコンで操作する場合は、(VIEWER) ボタン以外の (RGB) ボタンや (VIDEO) ボタンを押してください。
 - メニューから選ぶ場合は、[信号選択] で「ビューワ」以外を選択してください。

5-5. 本機で投写している画像を保存する(キャプチャ)



- キャプチャ機能を使用して映像・写真・イラストなどを取り込んだり、取り込んだものを加工または編集する場合、著作者の目的となっている著作物は、個人で使用する以外は、著作権法により権利者に無断で使用できません。

● キャプチャをスタートする

準備：フラッシュメモリカードを本機のPCカードスロットにセットしてください
(▶ 61ページ)。

1 (MENU) ボタンを押す。

メニュー（工場出荷状態は、ベーシックメニュー）が表示されます。

- ・アドバンストメニューが表示された場合は、手順 3 へ進みます。

2 [アドバンストメニューへ] にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。

一時的にアドバンストメニューに切り替わります。

3 [ツール] にカーソルを合わせる。

サブメニューが表示されます。

4 [キャプチャ] にカーソルを合わせ、

(ENTER) ボタンを押す。

画面の左下にキャプチャツールバーが表示されます。



- フラッシュメモリカードを本機にセットしていないと [キャプチャ] は選択できません。

● キャプチャツールバー(各アイコンの働き)



キャプチャ キャプチャ（画面の保存）を実行します。



- キャプチャ中は、 アイコンが表示されます。このとき、フラッシュメモリカードを抜いたり、本機の電源を切ったりしないでください。フラッシュメモリカードが破損します。
- キャプチャ（保存処理）が終了するまで、キャプチャツールバーは操作できません。



静止画

ビデオ映像やパソコンの動画を静止画にします。

アイコンを選択した瞬間の画像を、本機の静止画メモリに記憶します。もう一度 アイコンを選択すると、動画に戻ります。

キャプチャ（画面の保存）するときの保存先（PCカードスロットまたはUSB）を切り替えます。

キャプチャツールバーを閉じ、キャプチャを終了します。

● 画像をキャプチャする

1 保存したい画像を本機で投写する。

2 キャプチャツールバーを表示する（○ 66ページ）。

3 (SELECT ◀▶) ボタンで  (キャプチャ) アイコンにカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。

画面が保存されます。

注意

- キャプチャ中は、 アイコンが表示されます。このとき、フラッシュメモリカードを抜いたり、本機の電源を切ったりしないでください。フラッシュメモリカードが破損します。
- キャプチャ（保存処理）が終了するまで、キャプチャツールバーは操作できません。

キャプチャ（保存処理）が終了すると、 アイコンが消えます。

注意

- キャプチャされた画像ファイルのサイズは、入力信号の解像度により異なります。
- キャプチャした画像は、JPEG形式で圧縮されるため、若干画質が劣化します。
- キャプチャには5～10秒かかります。解像度や絵柄によって、さらに時間がかかる場合があります。
- 正常に保存できなかったり、フラッシュメモリカードの空き容量がなくなった場合は、カードエラーが表示されます。

-
- ビデオ映像や動画をキャプチャするときは、 (静止画) アイコンで目的の画面を静止画にしてからキャプチャしてください。
 - チョークボード画面をキャプチャすることもできます（○ 55ページ）。
-

● キャプチャした画像を表示する

1 ビューフに切り替えて、ビューフツールバーを表示する（○ 62ページ）。

2 ビューワーツールバーを操作して、
フォルダー一覧を表示する。

- ・(SELECT ◀/▶) ボタンで  (フォルダー一覧) アイコンにカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押します。
フォルダー一覧が表示されます。

 A-1 	B-1	C-1	D-1
E-1	F-1	G-1	H-1
キャプチャ専用フォルダ			Cap 1
03:0001/0012			

3 (SELECT ◀/▶) ボタンで ◀ / ▶ (逆送り／順送り) アイコンにカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを数回押して、画面右下のフォルダを選択する。

A-1	B-1	C-1	D-1
E-1	F-1	G-1	H-1
			◀ Cap ▶ 1
03:0001/0012			

4 (SELECT ◀/▶) ボタンで (スライド一覧) アイコンにカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。
キャプチャした画像の一覧が表示されます。

◀	Cap 1	▶	Cap 2	Cap 3	Cap 4
Cap 5		Cap 6			
03:0005/0012					

5 (SELECT ◀/▶) ボタンで ◀ / ▶ (逆送り／順送り) アイコンにカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを数回押して、画面に大きく投写したい画像を選択する。

6 (SELECT ◀/▶) ボタンで ▶ (再生) アイコンにカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。
選択していた画像が画面いっぱいに投写されます。

参考

- リモコンの(SLIDE +/−)、(FOLDER LIST)、(SLIDE LIST) ボタンを押して、フォルダやスライドを切り替えることもできます。
- キャプチャツールバーが表示されていないときには、(SELECT ◀/▶) ボタンで直接逆送り／順送りが行えます。また、フォルダー一覧画面、スライド一覧画面では、(ENTER) ボタンを押して、選択されている画像を画面いっぱいに投写することができます。

●キャプチャした画像を削除する

●キャプチャした画像の削除

- 1** ビューワーツールバーを操作して、フォルダー一覧を表示する。
- ・ (SELECT ◀/▶) ボタンで  (フォルダー一覧) アイコンにカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押します。
- フォルダー一覧が表示されます。

 A-1	B-1	C-1	D-1
E-1	F-1	G-1	H-1
キャプチャ専用フォルダ			Cap 1
03:0001/0012			

- 2** (SELECT ◀/▶) ボタンで  (順送り) アイコンにカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを数回押して、画面右下のキャプチャ専用フォルダを選択する。

A-1	B-1	C-1	D-1
E-1	F-1	G-1	H-1
			Cap 1
03:0001/0012			

- 3** (SELECT ◀/▶) ボタンで  (スライド一覧) アイコンにカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。
- キャプチャした画像の一覧が表示されます。

 Cap 1	Cap 2	Cap 3	Cap 4
Cap 5	Cap 6		
03:0005/0012			

- 4** (SELECT ◀/▶) ボタンで  /  (逆送り／順送り) アイコンにカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを数回押して、削除したい画像を選択する。

- 5** (SELECT ◀/▶) ボタンで  (削除) アイコンにカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。
- 選択していた画像が削除されます。

●キャプチャ専用フォルダの削除



- フォルダを削除すると、フォルダ内の画像はすべて削除されます。

1 前のページの手順 **1** **2** を行い、画面右下のキャプチャ専用フォルダを選択する。

2 (SELECT ◀▶) ボタンで (削除) アイコンにカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。
キャプチャ専用フォルダが削除されます。

A-1	B-1	C-1	D-1
E-1	F-1	G-1	H-1
03:0001/0012			
			Cap 1

5-6. ファイル一覧画面で選択する(ファイル選択)

フラッシュメモリカード内のファイル一覧を表示し、選択します。

●ファイル選択をスタートする

準備：フラッシュメモリカードを本機のPCカードスロットにセットしてください (▶ 61ページ)。

1 (MENU) ボタンを押す。
メニュー(工場出荷状態は、ベーシックメニュー)が表示されます。
・アドバンストメニューが表示された場合は、手順 **3** へ進みます。

2 [アドバンストメニューへ] にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。
一時的にアドバンストメニューに切り替わります。

3 [ツール] にカーソルを合わせる。
サブメニューが表示されます。

4 [ファイル選択] にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。
ファイル選択画面が表示されます。



- フラッシュメモリカードを本機にセットしていないと [ファイル選択] は選択できません。



ファイル選択画面



1 ファイルリスト……フラッシュメモリカードに保存されているファイルのリストを表示します。

- ・リストには、ファイル名(拡張子付き)、サイズ(キロバイト単位)、日付(西暦、24時間表示)を表示します。
- ・(SELECT▼/▲) ボタンを押してカーソルを移動します。
- ・カーソルがファイルリストの最上または最下にあるときに(SELECT▼/▲) ボタンを押すと、リストがスクロールします(スクロールバーが表示されているときに限ります)。

2 スクロールバー……ファイルの数が、ファイルリストの最大表示数を超えたときに表示されます。

- ・USBマウス接続時は、スクロールバー上端の「▲」または下端の「▼」を左クリックすると、リストがスクロールします。

3 空き容量……フラッシュメモリカードの空き容量をキロバイト単位(KB)で表示します。

4 パス名……表示しているフォルダのパス名を表示します。

5 情報……ファイルリストの総ファイル数を表示します。

6 並び順……ファイル名／種類／日付／サイズを基準にして、昇順または降順にファイルリストを並び替えます。

- ・項目にカーソルを合わせ、(SELECT▶) ボタンを押すとプルダウンリストが表示されます。

7 ファイルの種類……全て／Text／Index／HTML／JPEG／BMPの中から選択した種類のファイルをファイルリストに表示します。

- ・項目にカーソルを合わせ、(SELECT▶) ボタンを押すとプルダウンリストが表示されます。
- ・[全て] を選択した場合は開けないファイルでもファイルリストに表示します。

8 実行……選択されたファイルを映します。

- ・項目にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押します。
- ・ファイル形式がJPEGおよびBMPの画像を実行するとビューワ画面に切り替わります。
- ・ビューワ画面左下に表示されているツールバーの[戻る]アイコンにカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押すと、ファイル選択画面に戻ります。

9 終了……ファイル選択を終了し、メニュー画面に戻ります。

- ・項目にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押します。

10 ロゴ……パソコンで作成した画像ファイルを、本機のバックグラウンドロゴとして表示したいときに選択します。

11 ドライブ……表示するファイルの場所(PCカードスロットまたはUSB)を切り替えます。

● バックグラウンドロゴを変更する

準備：(1) バックグラウンドロゴにする画像をパソコンで作成し、フラッシュメモリカードに保存してください。

- ・ 画像のファイル形式はJPEGまたはBMPとし、ファイルサイズは256キロバイト以下にしてください。

(2) フラッシュメモリカードを本機のPCカードスロットにセットしてください(● 61ページ)。

(3) ファイル選択画面を表示してください(● 70ページ)。

1 ファイルリストのバックグラウンドロゴにしたい画像ファイルにカーソルを合わせる。

2 (SELECT▶) ボタンを押す。

[実行] にカーソルが移動します。

3 (SELECT▼) ボタンを押して、[ロゴ]にカーソルを合わせる。

4 (ENTER) ボタンを押す。

確認画面が表示されます。

5 (SELECT◀/▶) ボタンを押して[確定]にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。

本機のバックグラウンドロゴが変更されます。



- バックグラウンドロゴを変更すると、データリセットをしても工場出荷状態のロゴ(NECロゴ)には戻りません。

バックグラウンドロゴを、工場出荷状態のNECロゴに戻すには、添付のCD-ROMに収録されているNECロゴ(¥Logo¥nec_b_x.jpg)をフラッシュメモリカードにコピーし、上記の手順でロゴを変更してください。

● キャプチャした画像をパソコンで削除・保存する

キャプチャした画像はパソコンで削除したりパソコンに保存することができます。パソコンでの削除はキャプチャされた画像すべてを一括して消去します。

● 画像フォルダを削除する

1 キャプチャ画像を保存したフラッシュメモリカードを、パソコンのPCカードスロットにセットする。

2 エクスプローラなどで、セットしたフラッシュメモリカード内のフォルダを表示する。

3 [__cap__] というフォルダを削除する。

●画像をパソコンに保存するとき

1 キャプチャ画像を保存したフラッシュメモリカードを、パソコンのPCカードスロットにセットする。

2 エクスプローラなどで、セットしたフラッシュメモリカード内の[__cap__] フォルダを開く。

3 表示される○○○○.jpg (○○○○は任意の数字 .jpgはJPEGフォーマット形式を示す拡張子)の中から、必要なファイルをハードディスクに保存する。

参考
ページ

- ハードディスクなどに保存した画像ファイルは、Dynamic Image Utility 2.0で呼び出し、プレゼンテーション資料として再びフラッシュメモリカードに保存することができます。

5

ビュー
ワを使
う

●デジタルカメラで撮影した画像を見る

キャプチャした画像およびデジタルカメラで撮影した画像を見る場合は、本体の(SOURCE) ボタンやリモコンの入力選択ボタン、またはメニューより[ビューワ]を選んで手動または自動で再生します。

以下の条件に合う場合には、ビューワでの再生が可能です。

- 画像をMS-DOSフォーマットのフラッシュメモリカードに保存できる。
- 本機に対応している形式（以下の条件）の画像で保存できる。
 - ・ビューワでは、カード内でのディレクトリを検索し、その中に存在するJPEGまたはBMP形式の画像をスライドとして認識します。
 - ・表示の対象となるディレクトリは、ルートディレクトリから2階層かつ最初から12個までです。

注意

- スライドとして認識する画像は、1つのディレクトリにつき128枚までです。



- 編集を行うには、デジタルカメラに添付されている専用ソフトウェアでフラッシュメモリカードから画像を読み込んで編集し、別のフラッシュメモリカードに画像を保存してください。
- デジタルカメラで撮影した画像ファイルの中には、一覧表示用の画像が含まれている場合があります。一覧表示用の画像がある場合、本機ではスライド一覧およびフォルダー一覧でこれらの画像を表示します（一覧表示用の画像を表示できない場合もあります）。
また、本機でキャプチャを行った場合、キャプチャ画像とともに一覧表示用の画像も作成されます。

第6章

オンスクリーンメニュー

.....

6-1. オンスクリーンメニューの基本操作 …	76
6-2. オンスクリーンメニュー一覧 ………	81
6-3. 信号選択 ……………	83
6-4. 映像調整 ……………	86
6-5. 音量調整 ……………	87
6-6. 画像設定 ……………	87
6-7. ピクチャーマネージメント ………	92
6-8. 機器設定 ……………	94
6-9. ツール…………	117
6-10. ヘルプ…………	118
6-11. データリセット ……………	120

6-1. オンスクリーンメニューの基本操作

● オンスクリーンメニューの種類

本機で投写する画像の画質調整や、本機の動作モードの切り替えなどは、オンスクリーンメニューを表示して行います。以降、「オンスクリーンメニュー」を「メニュー」と省略して記載します。

本機のメニューには次の3つのモードがあり、お客様の用途に応じて切り替えることができます。

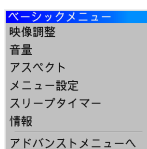
1. ベーシックメニュー ……本機の工場出荷状態のメニューです。最も基本的なメニュー項目を表示します。
2. アドバンスドメニュー ……本機のすべてのメニュー項目を表示します。
3. カスタムメニュー ……お客様のお好みによって、画面に表示するメニュー項目を選択できます。
カスタムメニューについて詳しくは、[メニュー設定]
(▶ 98ページ) をご覧ください。

● メニューを操作する

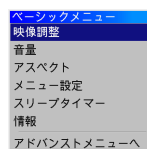
準備：本機の電源を入れて、スクリーンに画像を投写してください。

1 (MENU) ボタンを押す。

工場出荷状態では、ベーシックメニューが表示されます。

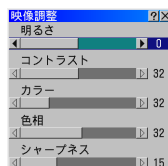


2 (SELECT ▼/▲) ボタンを押して、[映像調整] にカーソルを合わせる。

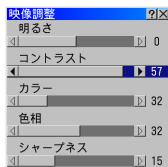


3 (ENTER) ボタンを押す。

映像調整画面が表示されます。



- 4** (SELECT ▼/▲) ボタンを押して、調整バーを選択する。



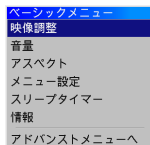
● 入力信号によって、選択できない項目があります (▶ 87ページ)。

- 5** (SELECT ◀/▶) ボタンを押して、映像の明るさやコントラストを調整する。

- 6** 必要に応じて手順 **4** **5** を繰り返す。

- 7** 映像の調整が終わったら、(ENTER) ボタンを押す。

メニュー画面に戻ります。



- 8** (CANCEL) ボタンを押す。

メニュー画面が消えます。



- メニューを表示した状態で45秒間 (工場出荷状態) 操作をしないと、メニューは自動的に消えます。その場合、(MENU) ボタン、(ENTER) ボタン、(CANCEL) ボタン、(SELECT ▼▲◀▶) ボタンのいずれかを押すと、消える前の状態のメニューが表示できます。
- メニューが自動的に消えるまでの時間は変更することができます (▶ 98ページ)。
- インターレース信号の動画を映しているときにメニューを表示すると、画面が乱れる場合があります。

メニューモードを切り替える

ベーシックメニューをアドバンスドメニューに切り替えます。

- 1** (MENU) ボタンを押す。

ベーシックメニューが表示されます。

- 2** (SELECT ▼) ボタンを押して [メニュー設定] にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。

メニュー設定画面が表示されます。

- 3** (SELECT ▼) ボタンを押して [メニューモード] にカーソルを合わせ、(SELECT ▶) ボタンを押す。

プルダウンリストが表示されます。

- 4** (SELECT ▼) ボタンを押して [アドバンスド] にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。

アドバンスドメニューが選択されます。

- 5** (SELECT ▼) ボタンを数回押して [確定] にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。

メニューモードがアドバンスドメニューに切り替わり、サブメニューに戻ります。

- 6 (CANCEL) ボタンを押す。
サブメニューが閉じます。
- 7 もう一度 (CANCEL) ボタンを押す。
メニューが消えます。
これで、アドバンストメニューに切り替わりました。



- ベーシックメニューの一番下にある「アドバンストメニューへ」を選択すると、一時的にアドバンストメニューに切り替えることができます。

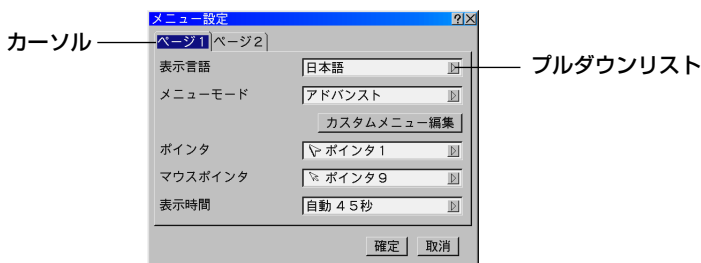
調整画面、設定画面の操作例

調整表示例



- 1 (SELECT ▼/▲) ボタンを押して、調整する項目を選ぶ。
- 2 (SELECT ◀/▶) ボタンを押して、調整する。

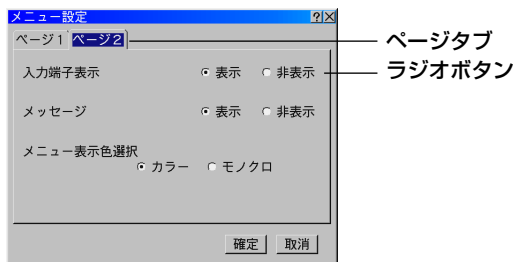
設定表示例 1



プルダウンリストの選択

リストの中から項目を選択します。

- 1 (SELECT ▼/▲) ボタンを押して、設定項目を選ぶ。
- 2 項目名の右側に「▶」マークがある項目にカーソルを合わせ、(SELECT ▶) ボタンを押す。
プルダウンリストが表示されます。
- 3 (SELECT ▼/▲) ボタンを押して項目にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。



ページタブの選択

ページタブで複数ページにわかれた設定画面を切り替えます。

- 1 (SELECT ▼/▲) ボタンを押して、ページタブにカーソルを合わせる。
- 2 (SELECT ◀/▶) ボタンを押して、ページを切り替える。

ラジオボタンの選択

2～3個の選択肢から1つ「」を選びます。

- 1 (SELECT ▼/▲) ボタンを押して、ラジオボタンの項目にカーソルを合わせる。
- 2 (SELECT ◀/▶) ボタンを押す。
選択されているマーク () が移動します。
- 3 選択する項目に「」を移動したら、(SELECT ▼/▲) ボタンを押す。
別の設定項目に移動します。

●設定表示例2



チェックボックス

複数の項目を選択できます。

- 1 (SELECT ▼/▲) ボタンを押して、チェックボックスの項目にカーソルを合わせる。
- 2 (ENTER) ボタンを押す。
☐ にチェックマーク (☒) が付き、選択されたことを表します。
 - ・チェックマーク (☒) を取り消す場合は、その設定項目にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押してください。チェックマーク (☒) が消えます。

設定ボタン または 実行ボタン

設定画面を表示します。または機能を実行します。

- 1 (SELECT ▼/▲) ボタンを押して、[設定] ボタンの項目にカーソルを合わせる。
- 2 (ENTER) ボタンを押す。
設定ボタンの場合は、設定画面が表示されます。実行ボタンの場合は、機能を実行します。

確定ボタン

設定内容を確定します。

1 (SELECT ▼/▲) ボタンを押して、[確定] ボタンの項目にカーソルを合わせる。

2 (ENTER) ボタンを押す。

設定が確定され、設定画面が消えます。

取消ボタン

設定内容を中止し、もとに戻します。

1 (SELECT ▼/▲) ボタンを押して、[取消] ボタンの項目にカーソルを合わせる。

2 (ENTER) ボタンを押す。

設定が取り消され、設定画面が消えます。

注意

- 設定ボタンや実行ボタンを選択して表示された設定画面内で確定した設定は、取消ボタンを選択しても、もとに戻せません。

参考

- 設定画面で (CANCEL) ボタンを押しても設定を取り消すことができます。

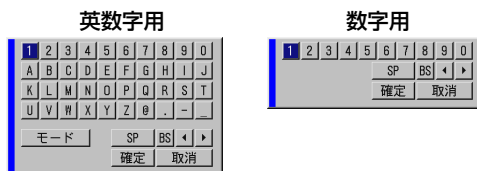
英数字の入力方法

[LANモード] のIPアドレスやプロジェクト名などの項目には英数字を入力します。

1 文字を入力する項目にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。

文字入力画面が表示されます。

- ・ USBマウスで操作している場合は、文字入力欄左側の▼を左クリックします。
- ・ 文字入力画面には、英数字用と数字用の2種類があります。



2 (SELECT ▼▲▶◀) ボタンを押して、文字などにカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。

文字が入力されます。

- ・ 文字以外の項目は、次のような働きをします。
 - ・ [◀] [▶] ……英数字入力欄のカーソルを左右に移動します。
 - ・ [モード] ……英大文字、英小文字、特殊文字の切り替えを行います。
 - ・ [SP] ……スペースを入力します。
 - ・ [BS] ……カーソルの左側にある1文字を消します。
 - ・ [確定] ……入力した文字を確定して、文字入力画面を閉じます。
 - ・ [取消] ……入力した文字を取り消して、文字入力画面を閉じます。

3 (SELECT ▼▲▶◀) ボタンを押して、[確定] にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。

入力した文字が確定して、文字入力画面が閉じます。

参考

- [LANモード] の [WEP] で [キー] (暗号キー) を入力する場合は、通常の文字入力 (ASCII) と16進数入力 (HEX) を切り替えることができます (▶ 110ページ)。

6-2. オンスクリーンメニュー一覧

は、各項目の工場出荷時の値を表しています。

アドバンス メニュー	サブメニュー1	サブメニュー2	サブメニュー3	参照 ページ	
信号選択	RGB DVI (デジタル) DVI (アナログ) ビデオ S-ビデオ ビューワ LAN 続き ユーザー1 ユーザー2 ユーザー3 信号リスト (呼出/登録/カット/コピー/貼付け/編集/全削除)			83	
映像調整	明るさ/コントラスト/カラー/色相/シャープネス			86	
音量調整	小↔大			87	
画像設定	アスペクト	(スクリーンタイプが4:3のとき) 4:3/レターボックス/16:9/ワイドズーム (スクリーンタイプが16:9のとき) 4:3/レターボックス/16:9/スタジオム		87	
	ブランキング	上端/下端/左端/右端		88	
	位置・周波数	水平/垂直/クロック周波数/位相		89	
	解像度	フル/リアル		90	
	オーバースキャン	0%/5%/10%/25%		91	
	ビデオ帯域フィルタ	オフ/弱/強		91	
	ノイズリダクション	オフ/弱/中/強		91	
ピクチャー マネジメント	プレゼンテーション/sRGB/グラフィック/ビデオ/ムービー ユーザー1 ユーザー2 ユーザー3 ユーザー4 ガンマ補正 色補正 ホワイトピーキング 色温度 (ホワイトバランス) 参照 ダイナミック/ナチュラル/ソフト 赤/緑/青/イエロー/マゼンタ/シアン/カラーゲイン 0↔5 5000/6500/7800/8500/9300/10500 明るさ赤/明るさ緑/明るさ青/コントラスト赤/ コントラスト緑/コントラスト青 プレゼンテーション/sRGB/グラフィック/ビデオ/ムービー			92	
機器設定	3Dリフォーム	ピンクッション補正 4点補正 台形補正	左右/上端/下端 水平/垂直	94 95 96	
	デジタルズーム	ズーム/表示位置 (水平) / 表示位置 (垂直)		97	
メニュー 設定	ページ 1	表示言語	English/Deutsch/Français/ Italiano/Español/Svenska/日本語	97	
		メニューモード	ベーシック/カスタム/アドバンスト	97	
		カスタムメニュー編集		98	
		ポインタ	ポインタ1/...../ポインタ9	98	
		マウスポインタ	ポインタ1/...../ポインタ9	98	
		表示時間	手動/自動5秒/自動15秒/自動45秒	98	
		ページ 2	入力表示	表示/非表示	99
			メッセージ	表示/非表示	99
			メニュー表示色選択	カラー/モノクロ	99
			ランプモード	ノーマル/エコモード	99
セットアップ	ページ 1	投写方法	デスク/フロント/天吊り/リア/ デスク/リア/天吊り/フロント	100	
		バックグラウンド	ブルーバック/ブラックバック/ロゴ	101	
		RGB OUT端子設定	ラスト/RGB/DVI (アナログ)	101	
		クローズドキャプション	オフ/キャプション1~4/テキスト1~4	101	

	ページ2	ビューワオプション	フォルダー一覧 (オン/オフ) 自動再生/手動再生 間隔 (5~300秒)	102
		キャプチャオプション マウス設定	高画質/標準/高圧縮 ボタン設定 (右手用/左手用) スピード設定 (高速/標準/低速)	102
	ページ3	信号選択	RGB (RGB/コンポーネント/RGB/コンポーネント/Scart) DVI (アナログ) (RGB/コンポーネント/RGB/コンポーネント) ビデオ (自動判別/NTSC3.58/NTSC4.43/PAL/ PAL-M/PAL-N/PAL60/SECAM) S-ビデオ (自動判別/NTSC3.58/NTSC4.43/PAL/ PAL-M/PAL-N/PAL60/SECAM)	103
	ページ4	自動調整	オン/オフ	103
		オートスタート	オン/オフ	103
		パワーマネージメント	オン/オフ	104
		電源オフ確認メッセージ	オン/オフ	104
		3Dリフォーマ保存	オン/オフ	104
		ファン高速モード	オン/オフ	104
		アイドルモード	オン/オフ	105
ページ5	ランプ時間クリア		105	
	通信速度	4800/9600/19200/38400	105	
	初期入力選択	ラスト/自動/指定 RGB/DVI (デジタル) /DVI (アナログ) / ビデオ/S-ビデオ/ビューワ/LAN	105	
	本体キーロック	有効/無効	106	
スクリーン設定		スクリーンタイプ	4:3/16:9	106
		表示位置	下←→上	106
LAN モード	IPアドレス	自動/手動		107
	通信モード	IPアドレス		
		サブネットマスク		
		プロジェクト名	NEC-PJ-WT600	
		ゲートウェイ	オン/オフ	
		DNS設定		
		ドメイン名		
		通信モード	インフラストラクチャ/802.11アドホック/ アドホック/かんたん接続	108
	WEP	SSID	NECPJ	
		チャンネル	1~14 (工場出荷時は、10)	
		通信速度	自動/11M/5.5M/2M/1M/1M-2M-自動	
メール	WEP	無効/64bit/128bit	109	
	キー選択	キー1/キー2/キー3/キー4		
	キー1/キー2/キー3/キー4			
状態	メール通知	オン/オフ	110	
	差出人アドレス			
	SMTPサーバ名			
	宛先アドレス1/宛先アドレス2/宛先アドレス3			
	送信テスト			
DHCP	IPアドレス		111	
	サブネットマスク			
	ゲートウェイ			
	MACアドレス			
	再接続			
	Host Name オプション	なし/Request/Discover/Request	112	
	Host Name			
	Client-Identifier オプション	なし/Request/Discover/Request		
	MACアドレス使用	オン/オフ		
	Client-Identifier			

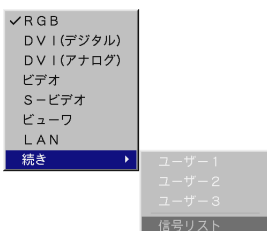
●信号リストを利用する

画像設定を少しでも行くと、信号の調整値が本機の「信号リスト」に自動的に登録されます。登録された信号（の調整値）は、必要なときに信号リストから呼び出すことができます。

ただし、信号リストには100パターンまでしか登録できません。信号リストへの登録数が100パターンに達すると、それ以降エラーメッセージを表示して登録できなくなります。必要なくなった信号（の調整値）は、信号リストから削除してください。

●信号リストを表示する

- 1 [信号選択] のサブメニューで、[続き] にカーソルを合わせる。
さらにサブメニューが表示されます。



- 2 [信号リスト] にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。
信号リストが表示されます。



●投写している信号を登録する [登録]

- 1 信号リストで (SELECT ▼/▲) ボタンを押して登録する番号にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。
信号編集コマンド画面が表示されます。



- 2 (SELECT ◀/▶) ボタンを押して [登録] にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。

●信号リストから信号を選択する [呼出]

- 1 信号リストで (SELECT ▼/▲) ボタンを押して選択する信号にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。
信号編集コマンド画面が表示されます。
- 2 (SELECT ◀/▶) ボタンを押して [呼出] にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。

●信号リストの項目を編集する【編集】

- 1 信号リストで〔SELECT ▼/▲〕ボタンを押して編集する信号にカーソルを合わせ、〔ENTER〕ボタンを押す。
信号編集コマンド画面が表示されます。
- 2 〔SELECT ◀/▶〕ボタンを押して【編集】にカーソルを合わせ、〔ENTER〕ボタンを押す。
信号編集画面が表示されます。

信号編集

登録番号	002
信号名	SVGA
信号形式	R G B
入力端子	D V I (A)
信号選択	
☐ ロック	
☒ スキップ	

確定 取消

信号名	最大英数18文字で、信号名を入力します。
入力端子	入力端子の変更ができます。RGB信号は、RGB／DVI (デジタル)／DVI (アナログ)の切り替えができます。 ビデオ、S-ビデオ信号は、ビデオ／S-ビデオの切り替えができます。
信号選択	信号の選択方法を設定します。
ロック (🔒)	☒ (チェックマーク)を付けておくと、[全削除]を行ったときに残しておくことができます。
スキップ (🚫)	☒ (チェックマーク)を付けておくと、入力信号を自動検出するときにスキップすることができます。

- 3 各項目を設定し、【確定】にカーソルを合わせ、〔ENTER〕ボタンを押す。



●現在投写中の信号を編集する場合、信号名、信号選択は変更できますが、入力端子は変更できません。

●信号リストの項目を削除する【カット】

- 1 信号リストで〔SELECT ▼/▲〕ボタンを押して削除する信号にカーソルを合わせ、〔ENTER〕ボタンを押す。
信号編集コマンド画面が表示されます。
- 2 〔SELECT ◀/▶〕ボタンを押して【カット】にカーソルを合わせ、〔ENTER〕ボタンを押す。
信号リストから削除され、信号リストの一番下の「クリップボード」に、削除した信号が表示されます。



- 現在投写中の信号を削除することはできません。
- 信号編集画面で「ロック」した信号を選択した場合は、【カット】は白文字になり選択できません。



- クリップボードの内容は、信号編集コマンドの【貼付け】で信号リストに貼り付ける（複製する）ことができます。
- クリップボードの内容は、信号リストを閉じても消えません。

●信号リストの項目をコピーする [コピー] [貼付け]

- 1 信号リストで (SELECT ▼/▲) ボタンを押してコピーする信号にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。
信号編集コマンド画面が表示されます。
- 2 (SELECT ◀/▶) ボタンを押して [コピー] にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。
信号リストの一番下の「クリップボード」に、コピーする信号が表示されます。
- 3 (SELECT ▼/▲) ボタンを押して、コピーしたい項目へカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。
信号編集コマンド画面が表示されます。
- 4 (SELECT ◀/▶) ボタンを押して [貼付け] にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。
クリップボードの内容がコピーされます。

●信号リストの項目をすべて削除する [全削除]

- 1 信号リストで、(ENTER) ボタンを押す。
信号編集コマンド画面が表示されます。
- 2 (SELECT ◀/▶) ボタンを押して [全削除] にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。



● 信号編集画面で「ロック」した信号は削除されません。

6-4. 映像調整



スクリーンに投写している映像の調整を行います。

明るさ	映像を明るくしたり、暗くします。
コントラスト	映像の暗い部分と明るい部分の差をはっきりしたり、淡くします。
カラー	色を濃くしたり、淡くしたりします。
色相	赤みがかった映像にしたり、緑がかった映像にします。
シャープネス	映像をくっきりしたり、やわらかくします。



●各調整項目は、入力信号によって調整できない場合があります。

入力信号	明るさ	コントラスト	カラー	色相	シャープネス
RGB	○	○	×	×	×
DVI (デジタル)	×	×	×	×	×
DVI (アナログ)	○	○	×	×	×
コンポーネント	○	○	○	○	○
ビデオ、S-ビデオ	○	○	○	○	○

(○：調整可、×：調整不可)

6-5. 音量調整



本機の内蔵スピーカ、および音声出力端子 (AUDIO OUT) から出される音量を調整します。



- 工場出荷時、音量は最小に設定されています。
- 音量は、リモコンの (VOLUME +/-) ボタンで調整できます。

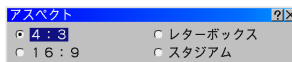
6-6. 画像設定

アスペクト

〔スクリーンタイプ〕が「4：3」のとき

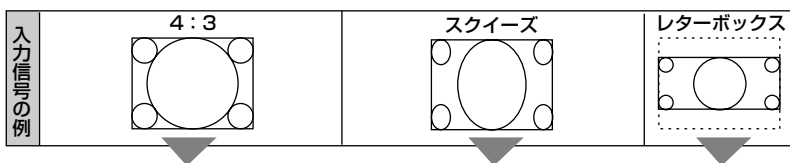


〔スクリーンタイプ〕が「16：9」のとき



画面の縦横の比率を選択します。

4：3	通常の画面サイズです。4：3の入力信号を4：3の画面サイズで映します。
レターボックス	16：9のレターボックス信号を映します。
16：9	16：9のスクイーズ信号入力時、垂直方向を圧縮して16：9の画面サイズで映します。
ワイドズーム	〔スクリーンタイプ〕が「4：3」のときに選択できます。16：9のスクイーズ信号入力時、左右に引き伸ばして4：3の画面サイズで映します。そのため、左右の両端は表示されません。
スタジアム	〔スクリーンタイプ〕が「16：9」のときに選択できます。4：3の入力信号を左右に引き伸ばして16：9の画面サイズで映します。



アスペクト選択項目	4 : 3	16 : 9	ワイドズーム	レターボックス
スクリーンタイプ 4 : 3 選択時の 投写イメージ				
アスペクト選択項目	4 : 3	スタジアム	16 : 9	レターボックス
スクリーンタイプ 16 : 9 選択時の 投写イメージ				

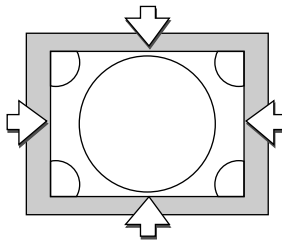
- 注意**
- [解像度] を「リアル」に設定すると、アスペクトは白文字になり選択できません。また、アスペクトの設定は (4 : 3) になります。
 - アスペクトを設定する前に、[スクリーンタイプ] (4 : 3 / 16 : 9) を選択してください (106ページ)。
 - 営利目的または公衆に視聴させることを目的として、本機を使って映像を投写する場合、[アスペクト] や [スクリーンタイプ] などの画面サイズ切り替え機能を使って画面の圧縮や引き伸ばしを行うと、著作権法上で保護されている著作権者の権利を侵害するおそれがあります。
 - 3Dリフォームで投写画面の台形歪みを調整している場合、[アスペクト] の設定を変更できないことがあります。そのときは、3Dリフォームの調整値をいったんリセットし、[アスペクト] の設定を変更したあと、再度3Dリフォームで投写画面を調整してください。
- [アスペクト] の設定を変更した場合、3Dリフォームの調整範囲が狭くなることがあります。

- 参考**
- スクリーンタイプを 16 : 9 にしているときは、[表示位置] で垂直位置を調整できます (106ページ)。
 - ビデオ映像の標準アスペクト比 4 : 3 より横長の映像を、「レターボックス」と呼びます。映画フィルムのビスタサイズ 1.85 : 1 やシネマスコープ 2.35 : 1 のアスペクト比があります。
 - アスペクト比 16 : 9 の映像を横方向にスクイーズ (圧縮) して 4 : 3 にした映像を、「スクイーズ」と呼びます。

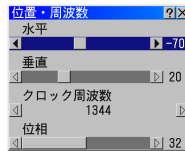
■ ブランキング

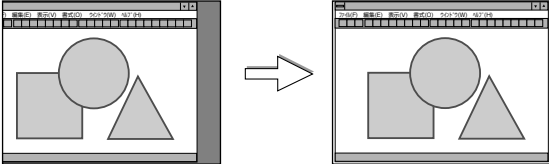
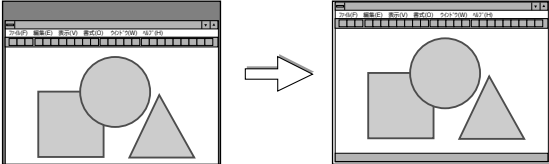
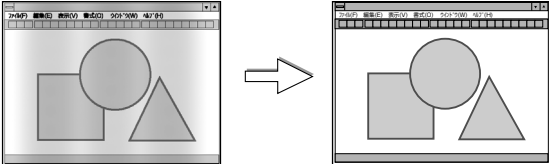
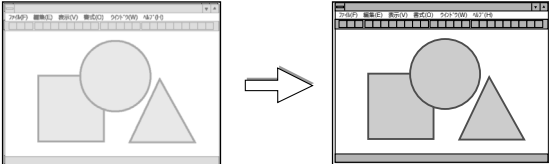


映像信号の上端、下端、左端、右端の表示範囲 (ブランキング) を調整します。



位置・周波数



水平	画面を水平方向に移動します。 
垂直	画面を垂直方向に移動します。 
クロック周波数	画面の明るさが一定になる（明暗の縦帯が出なくなる）ように調整します。 
位相	画面の色ずれ、ちらつきが最小になるように調整します。 

解像度



RGB信号を投写するとき、(信号の解像度に関係なく) 本機の表示画素数(1024×768ドット)になるように自動的に拡大・縮小して表示するか、信号の解像度のまま表示するかを選択します。

フル	信号の解像度 (VGA、SVGA、XGA、SXGA、U-XGAなど) を、本機の表示画素数 (1024×768) になるように自動的に拡大・縮小して投写します。	例：信号が800×600ドットの場合
リアル	そのままの解像度で投写します。	例：信号が800×600ドットの場合

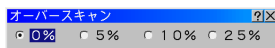


- [解像度] を「リアル」に設定すると、[3Dリフォーム]、[デジタルズーム]、[アスペクト]、[スクリーン設定]、[オーバースキャン] は白文字になり選択できません。また、設定を「フル」に戻すまで、各調整値、設定値は工場出荷状態になります。
- 本機の表示画素数より上の解像度 (SXGA、U-XGAなど) の信号を表示した場合、[解像度] は白文字になり選択できません。

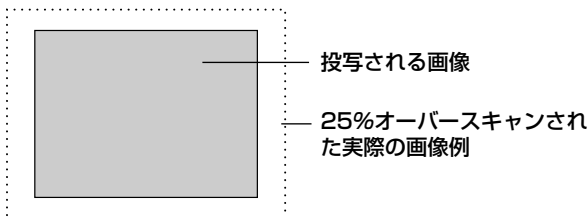


- 「フル」を選択した場合は、アドバンスド・アキュブレンドを使って拡大・縮小しています。
アドバンスド・アキュブレンドとは、パソコンの出力信号のドット数とプロジェクタの液晶パネルのドット数が一致しない場合 (例：パソコン出力が1280×1024ドット、プロジェクタが1024×768ドット) や拡大表示する場合に、NEC独自のデジタル補間技術を用いて、より見やすい状態で解像度を変換し表示する技術です。
従来方式では、単純に間引いたり二度書きしているだけだったので、表の罫線が数本完全に消えてしまう、斜め線がギザギザになってしまうなど見づらい場合がありましたが、アドバンスド・アキュブレンドにより、そのような点が解消、軽減されました。

オーバースキャン



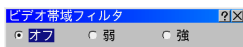
オーバースキャン（画面周囲のフレーム部分をカットする処理）の割合を設定します。



注意

- [解像度] を「リアル」に設定しているときは、白文字になり選択できません。また、[解像度] を「リアル」に設定すると、すでに設定しているオーバースキャンの設定は無効 (0%) になります。
- [アスペクト] で [スタジアム] を選択しているときは、白文字になり選択できません。
- 入力信号によっては、0%が選択できない場合があります。

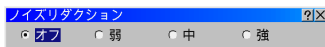
ビデオ帯域フィルタ



RGB信号とコンポーネント信号の映像のざらつきやジッター(文字などの微妙な揺れ)を低減させます。

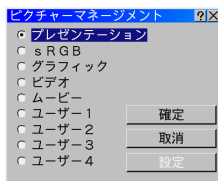
工場出荷状態は、あらかじめ信号ごとに適した状態に設定されています。信号によって、映像のざらつきやジッターが気になる場合に設定します。

ノイズリダクション



ビデオ信号、S-ビデオ信号、コンポーネント信号の映像のざらつきや色彩の濁りの原因となるノイズを低減させます。

6-7. ピクチャーマネージメント



映像ソースに最適な設定を選択する

投写した映像に最適な設定を選択します。

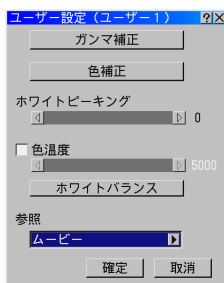
鮮やかな色調にしたり、淡い色調にしたり、ガンマ（階調再現性）を設定できます。また、お好みの色調およびガンマにするための細かな調整ができ、調整値をユーザー1～4に登録できます。

プレゼンテーション	PowerPointなどでプレゼンテーションを行うときに適した設定にします。
sRGB	sRGBに準拠した色が再現されます。
グラフィック	グラフィック画面に適した設定にします。
ビデオ	テレビ番組や一般的な映像ソースを投写するときに適した設定にします。
ムービー	映画を投写するときに適した設定にします。
ユーザー 1～4	お客様のお好みに調整した設定にします。 調整値を登録するには、ユーザー 1～4のいずれかを選択し、 [設定] にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押します。

参考

- 「sRGB」は、機器間の色再現の違いを統一するために、パソコンやモニタ、スキャナ、プリンタなどの色空間を規定・統一した国際標準規格です。1996年にHewlett-Packard社とMicrosoft社が策定し、1999年にIECの国際規格となりました。

ユーザー設定（ユーザー 1～4 選択時）



ガンマ補正、色補正、ホワイトピーキング、色温度、ホワイトバランスの項目について、細かな調整ができます。

最初に、ユーザー設定画面の一番下にある[参照]から、調整のもととなるモードを選択してください。

●ガンマ補正

映像の階調を選択します。これにより暗い部分も鮮明に表現できます。

ダイナミック	メリハリのある映像設定です。
ナチュラル	標準的な設定です。
ソフト	信号の暗い部分が鮮明になります。

●色補正

赤、緑、青、イエロー、マゼンタ(紫)、シアン(明るい青緑)の各色の色味と色の濃さを調整できます。

赤	赤色を中心とした赤色付近の色を調整します。 黄あるいはマゼンタがかった赤色に調整できます。
緑	緑色を中心とした緑色付近の色を調整します。 黄あるいはシアンがかった緑色に調整できます。
青	青色を中心とした青色付近の色を調整します。 紫あるいはシアンがかった青色に調整できます。
イエロー	黄色を中心とした黄色付近の色を調整します。 赤あるいは緑がかった黄色に調整できます。
マゼンタ	マゼンタを中心としたマゼンタ付近の色を調整します。 赤あるいは青がかったマゼンタに調整できます。
シアン	シアンを中心としたシアン付近の色を調整します。 緑あるいは青がかったシアンに調整できます。
カラーゲイン	全体の色の濃さを調整します。

●ホワイトピーキング

白の明るさを選択します。暗くしたほうがより自然な映像になります。

●色温度

色 (R, G, B) のバランスを調整して色再現性を最良にします。色温度の☑ (チェックマーク) を外すと、[ホワイトバランス] の調整が行えます。

右 ↓ 左	色温度が高くなり、青みがかった白になります。
	色温度が低くなり、赤みがかった白になります。

●ホワイトバランス

信号の白レベルと黒レベルを調整して色再現性を最良にします。

明るさ 赤 明るさ 緑 明るさ 青	画像の黒色を調整します。
コントラスト 赤 コントラスト 緑 コントラスト 青	画像の白色を調整します。

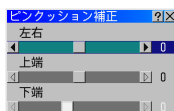


- [参照] で「プレゼンテーション」を選択した場合は、[ガンマ補正] と [ホワイトバランス] が選択できます。
- ビューフおよびLANのときは、[ホワイトバランス] は選択できません。

6-8. 機器設定

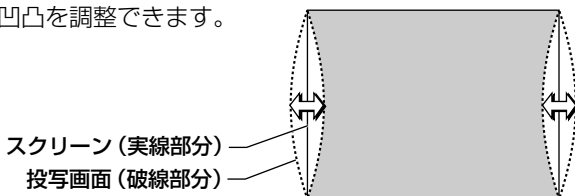
3Dリフォーム

●ピンクッション補正



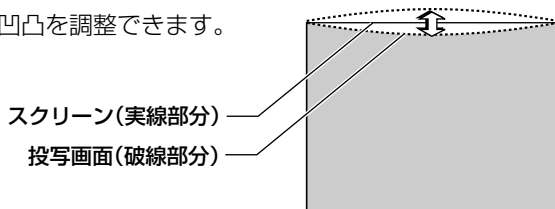
左右

図のように投写画面の左右の凹凸を調整できます。



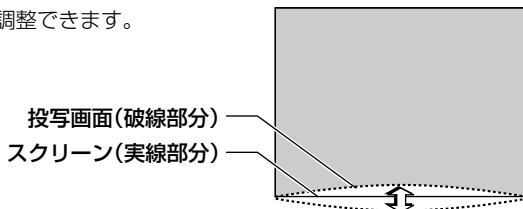
上端

図のように投写画面の上端の凹凸を調整できます。



下端

図のように投写画面の下端の凹凸を調整できます。

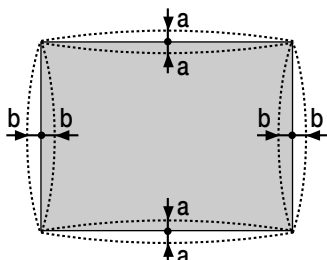


注意

- [ピンクッション補正] 画面において、[上端] の調整値が「0」のときは [下端] の調整はできません。^(注)
また、[上端] の調整値が小さい値 (±5程度) のときは [下端] を調整しても画面はほとんど変化しません。^(注)
 - [ピンクッション補正] 画面において、[下端] の調整値を「0」より小さくすると投写画面の下端が僅かに欠けることがあります。欠けた部分 (下端) を表示する場合は、[デジタルズーム] で投写画面を縮小してください。^(注)
 - すでに [4点補正] または [台形補正] が調整されていると、[ピンクッション補正] は白文字になり選択できません。[ピンクッション補正] を表示する場合は、[4点補正] または [台形補正] の調整値を工場出荷状態に戻してください。
- (注) [投写方法] を [天吊り／リア] または [天吊り／フロント] にしているときは、[上端] と [下端] の注意事項が入れ替わります。



- 本機における糸巻き型または樽型の歪み量について
本機の糸巻き型または樽型の歪み量は、水平方向、垂直方向、各2%（TVディストーション）以下です（スクリーンサイズが40型～100型のとき）。
例えば、スクリーンサイズが60型（幅121.9cm×高さ91.4cm）の歪み量は、水平方向は約12mm、垂直方向は約9mm以内です。本機では、スクリーンサイズ60型のときに、糸巻き型または樽型の歪み量をもっとも小さくなります。



- a : スクリーンの高さの1%以下
(TVディストーションとしては2%以下)
- b : スクリーンの幅の1%以下
(TVディストーションとしては2%以下)

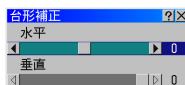
糸巻き型または樽型の歪み量が2%（TVディストーション）を超えるような場合は、本機とスクリーンの設置状態が適切か確認してください。

●4点補正



- 1 (SELECT **▼▲◀▶**) ボタンを押して、画面の外枠を動かしたい角の「▲」を選ぶ。
- 2 (ENTER) ボタンを押す。
- 3 (SELECT **▼▲◀▶**) ボタンを押して、画面の外枠を動かす。
- 4 (ENTER) ボタンを押す。
- 5 (SELECT **▼▲◀▶**) ボタンを押して、別の角の「▼」を選ぶ。
- 6 手順2～5を繰り返し、画面サイズを調整する。
- 7 画面サイズの調整が終わったら、4点補正画面で[終了]にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。
確認画面が表示されます。
- 8 (SELECT **◀/▶**) ボタンを押して[確定]にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。
調整結果が確定します。
 - ・ [取消] を選ぶと、4点補正画面に戻ります。
 - ・ [リセット] を選ぶと、3Dリフォームの調整値を工場出荷状態に戻します。
 - ・ [元に戻す] を選ぶと、4点補正を行う前の状態に戻ります。

●台形補正



- 1 (SELECT ◀/▶) ボタンを押す。
水平方向の画面サイズが調整できます。
- 2 (SELECT ▼/▲) ボタンを押す。
「垂直」を選択します。
- 3 (SELECT ◀/▶) ボタンを押す。
垂直方向の画面サイズが調整できます。
- 4 画面サイズの調整が終わったら、(ENTER) ボタンを押す。
メニューに戻ります。

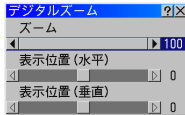


- [解像度] を「リアル」に設定しているときは、[3Dリフォーム] は白文字になり選択できません。また、[解像度] を「リアル」に設定すると、すでに設定している3Dリフォームの設定は無効(工場出荷状態)になります。
- [アスペクト] を「スタジアム」に設定しているときは、[4点補正]、[ピンクッション補正]、および [台形補正 (水平)] は白文字になり選択できません。[台形補正 (垂直)] のみ調整できます。
- [デジタルズーム] または [ピンクッション補正] を調整すると、[4点補正]、[台形補正] は白文字になり選択できません。
- 3Dリフォームで台形歪みを調整している場合、[アスペクト] や [スクリーン設定] が変更できなくなることがあります。そのときは、3Dリフォームの調整値をいったんリセットし、各設定を変更したあと、再度3Dリフォームで台形歪みを調整してください。
[アスペクト] や [スクリーン設定] を変更した場合、3Dリフォームの調整範囲が狭くなることがあります。



- (3D REFORM) ボタンを2秒以上押すと、3Dリフォームの調整値を工場出荷状態に戻すことができます。
- USBマウスを本機に接続すると、4点補正をUSBマウスで操作することができます。その場合、「4点補正」画面は表示されません。左クリックで4つの角の位置合わせを行い、右クリックで確認画面を表示します。
- 3Dリフォームでの調整範囲は次の通りです。
水平方向……………最大±約5度
垂直方向……………最大0度～～約5度
※上記の最大調整範囲の条件 (すべてを満たす場合)
 - ・入力信号がXGA信号の場合。
本機の表示画素数より上の解像度の信号を入力した場合は調整範囲が狭くなります。
 - ・メニュー項目を次のように設定した場合。
[アスペクト] ……………[4 : 3]
[スクリーントイプ] (スクリーン設定) ……………[4 : 3]
上記以外の設定では調整範囲は狭くなります。
 - ・水平・垂直を各々単独で調整した場合。
水平・垂直を組み合わせると、調整範囲は狭くなります。

デジタルズーム



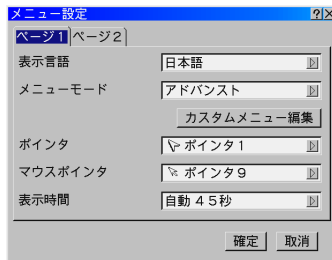
ズーム	投写画面の大きさを微調整します。 0～100（80～100％）の範囲で調整できます。
表示位置（水平）	投写画面の水平方向の位置を調整します。
表示位置（垂直）	投写画面の垂直方向の位置を調整します。



- [ズーム] は、アスペクト比を維持したまま、縦横の長さが80%まで縮小します。
- [表示位置（水平／垂直）] は、[ズーム] で縮小した画面を、縦横の長さが100%の範囲内で移動することができます（▶ 41ページ）。
- [4点補正] または [台形補正] を調整すると、[デジタルズーム] は白文字になり選択できません。

メニュー設定

● ページ 1



表示言語

メニューに表示される言語を選択します。



- 表示言語は、[データリセット] を行っても変更されません。

メニューモード

本機のオンスクリーンメニューには、次の3つのモードがあります。

アドバンスド	本機のすべてのメニュー項目を表示できます。
ベーシック	基本的なメニュー項目だけを表示します。
カスタム	表示したいメニュー項目を登録したり、解除したりできます。



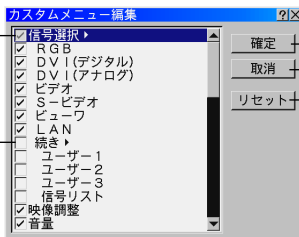
- 工場出荷状態は、「ベーシック」が設定されています。
- カスタムメニューへのメニュー項目の登録／解除は、[カスタムメニュー編集] で行います。

カスタムメニュー編集

カスタムメニューへのメニュー項目の登録／解除を行います。

メニュー項目として登録
されます。

メニュー項目が解除され
ます。



設定を決定します。

設定を取り消し (中止) ます。

工場出荷状態のカスタムメ
ニューに戻ります。

参考

- [信号選択] や [画像設定] など、メニュー項目名の右側に「▶」マークがあるのは、サブメニューの親項目です。
親項目にチェックマークを付けると、そのサブメニューが表示されます。親項目のチェックマークを外すとサブメニューは表示されません。
- 親項目にチェックマークがなく、そのサブメニュー項目にチェックマークが付いている場合は、チェックマークが付いたサブメニュー項目がトップメニューに表示されます。
- サブメニュー項目のチェックマークを1つでも外すと、親項目はグレー表示になります。
- カスタムメニューでは、1度に12項目 (12行) までしか表示できません。

ポインタ

投写画面にポインタを表示する (50ページ) ときのポインタの形状 (デザイン) を選択します。

マウスポインタ

市販のUSBマウスを本機に接続したときに投写画面に表示されるマウスポインタの形状 (デザイン) を選択します (53ページ)。

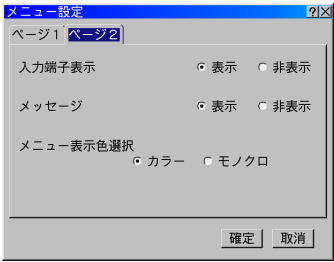
表示時間

メニューを表示しているとき、次のボタン操作がない場合にメニューを自動で閉じる時間を選択します。

注意

- メニューが自動的に画面から消えたあとに (MENU) ボタン、(ENTER) ボタン、(CANCEL) ボタン、(SELECT ◀▶) ボタンのいずれかを押すと、閉じる前に表示していた状態のメニューが表示されます。
ただし、メニューが閉じている間に入力信号を切り替えた場合は、閉じる前に表示していたメニューは表示されず、通常のメニュー操作と同様になります。

●ページ2



入力表示

画面右上に入力信号を表示するか、しないかを選択します。

「表示」を選択した場合は、次の表示を行います。

- ・入力信号を切り換えたときに、画面右上に [RGB1] などの信号名を表示します。
- ・信号が入力されていないとき、画面右上に [無信号] と表示されます。



●画面右上の表示は、[表示時間] で設定している時間だけ表示されます。[表示時間] で「手動」を選択している場合、画面右上の表示は消えません。

メッセージ

投写画面下側に本機のメッセージを表示するか、しないかを選択します。

「非表示」を選択すると、次のメッセージを表示しません。

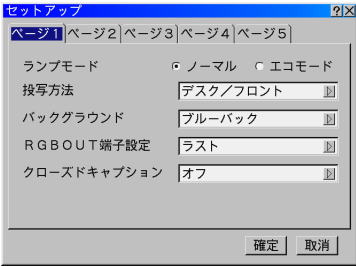
- ・ランプ時間の警告
- ・パワーオフ3分前の予告
- ・「しばらくお待ちください。」

メニュー表示色選択

本機のメニューをカラーで表示するか、モノクロで表示するかを選択します。

●セッアップ

●ページ1



ランプモード

小さいスクリーンサイズで映して画面が明るすぎるときや、暗い室内で映す場合、ランプモードを「エコモード」にし、ランプ寿命を延ばすことができます。

ノーマル	ランプの輝度が100%になります。明るい画面になります。
エコモード	ランプの輝度が約80%になります。ランプ寿命が延びます。

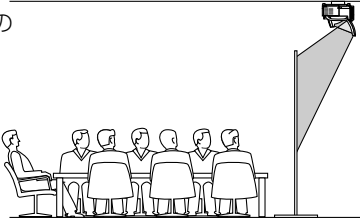
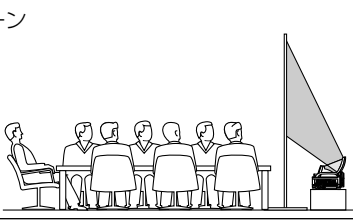
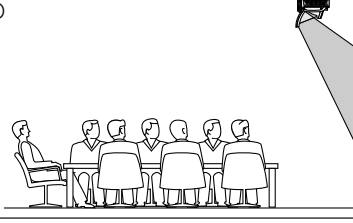
投写方法

本機やスクリーンの設置状況に合わせて選択してください。



警告

- 天吊りなどの特別な工事が必要な設置についてはお買い上げの販売店にご相談ください。
お客様による設置は絶対にしないでください。
落下してけがの原因となります。
- 天吊り設置したときは、本機にぶらさがらないでください。
落下してけがの原因となります。

デスク／フロント	テーブルに設置してスクリーンの の前面から投写 
天吊り／リア	天井に設置してスクリーンの 背面から投写 
デスク／リア	テーブルに設置してスクリーンの の背面から投写 
天吊り／フロント	天井に設置してスクリーンの の前面から投写 

バックグラウンド

入力信号が無いときの背景色を選択します。

ブルーバック	背景色が青
ブラックバック	背景色が黒
ロゴ	背景に画像を表示

参考

- 「ロゴ」を選択すると、工場出荷状態ではNECロゴが表示されます。
- 自作の背景をバックグラウンドに設定するには、「バックグラウンドロゴを変更する」をご覧ください(72ページ)。

RGB OUT端子設定

アイドル状態 (105ページ) のときのRGBモニタ出力端子 (RGB OUT) から出力するRGB信号を選択します。

ラスト	アイドル状態になる前に出力していたRGB信号を出力します。
RGB	RGB入力端子 (RGB IN) の信号をそのまま出力します。
DVI (アナログ)	DVI-I入力端子 (DVI-I IN) に入力されているアナログRGB信号を出力します。デジタルRGB信号は出力できません。

クローズドキャプション

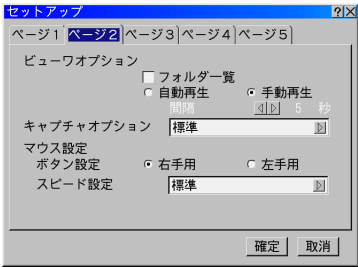
ビデオ信号にクローズドキャプション信号が含まれている場合に、字幕や文字を画面に表示します。

オフ	表示しません。
キャプション1～4、テキスト1～4	選択した字幕や文字を表示します。

参考

- クローズドキャプションは、アメリカで聴覚に障害を持つ人々のために、ビデオ信号などを画面に映し出す際、音声情報を字幕や文字で表示する技術です。

●ページ2



ビューワオプション

ビューワ再生時の初期設定です。ビューワについては、62ページをご覧ください。

フォルダー一覧	ビューワを選択したときのスタートの状態を設定します。 <table border="1"> <tr> <td>☒ (チェックマークを付ける)</td><td>フォルダー一覧が表示されます。</td></tr> <tr> <td>☐ (チェックマークを外す)</td><td>スライド画面が映ります。</td></tr> </table>	☒ (チェックマークを付ける)	フォルダー一覧が表示されます。	☐ (チェックマークを外す)	スライド画面が映ります。
☒ (チェックマークを付ける)	フォルダー一覧が表示されます。				
☐ (チェックマークを外す)	スライド画面が映ります。				
自動再生／手動再生	ビューワツールバーの再生 [▶] アイコンを選んだときの動作を選択します。 <table border="1"> <tr> <td>自動再生</td><td>スライドを自動で再生します。</td></tr> <tr> <td>手動再生</td><td>スライドを手動で再生します。</td></tr> </table>	自動再生	スライドを自動で再生します。	手動再生	スライドを手動で再生します。
自動再生	スライドを自動で再生します。				
手動再生	スライドを手動で再生します。				
間隔	自動再生時のスライド送り時間を設定します。 5～300秒まで1秒刻みで設定できます。 注意 Dynamic Image Utilityでスライドを作成し、再生間隔を設定している場合は、その時間が有効になります。				

キャプチャオプション

キャプチャ機能により取り込んだデータを圧縮(少なく)する設定です。

キャプチャされた画像はJPEG形式で圧縮されます。キャプチャについては、66ページをご覧ください。

高品質	画質を優先します。画像データ量は大きくなります。
標準	標準で圧縮します。
高圧縮	多少画質は劣化しますが、画像データ量が少なくなります。

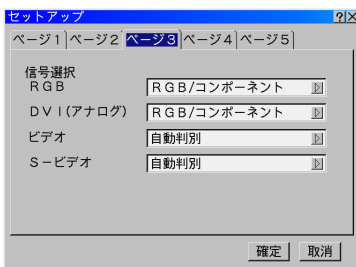
マウス設定

市販のUSBマウスを本機と接続すると、マウスを使用してメニュー操作ができます(● 53ページ)。

このときのマウスの設定です。

ボタン設定	マウスの左右ボタンの役割を入れ替えます。 <table border="1"> <tr> <td>右手用</td><td>マウスボタンが右手用の動作をします。</td></tr> <tr> <td>左手用</td><td>マウスボタンが左手用の動作をします。</td></tr> </table>	右手用	マウスボタンが右手用の動作をします。	左手用	マウスボタンが左手用の動作をします。
右手用	マウスボタンが右手用の動作をします。				
左手用	マウスボタンが左手用の動作をします。				
スピード設定	マウスを動かしたときのポインタの速度を3つのレベルから選択します。				

● ページ3



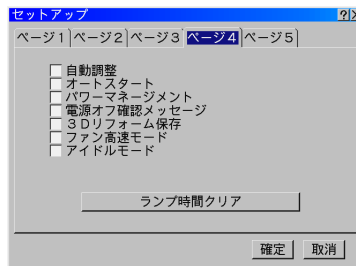
信号選択

RGB入力端子 (RGB IN)、ビデオ映像入力端子 (VIDEO IN)、S-ビデオ映像入力端子 (S-VIDEO IN) の信号モードの選択を行います。RGBおよびDVI (アナログ) で「RGB／コンポーネント」を選択すると、RGB信号とコンポーネント信号の自動判別を行います。

自動判別できないとき、本機に接続している出力機器の信号モードに合わせてください。

RGB／DVI (アナログ)	DVDプレーヤなどのコンポーネント出力を、本機のRGB入力端子 (RGB IN) およびDVI-I入力端子 (DVI-I IN) と専用ケーブルで接続している場合などに設定します。
ビデオ／S-ビデオ	NTSCやPALなど、国によってテレビジョンの映像信号方式が異なります。 ビデオ映像入力端子 (VIDEO IN) およびS-ビデオ映像入力端子 (S-VIDEO IN) の入力信号の設定ができます。

●ページ4



自動調整

調整されていないRGB信号に切り替わったときに、表示位置と画素のずれの調整を自動で行うかを設定します。

☒ (チェックマークを付ける)	表示位置と画素調整を自動で行います。
☐ (チェックマークを外す)	自動調整を行いません。手動で調整してください (🔄 89ページ)。



- 画像によっては、自動で行うと正しく調整できない場合や、信号を切り替えたとき調整までに時間がかかる場合があります。このようなときは手動で調整を行ってください。

オートスタート

本機の電源プラグに電源が供給されると自動的に電源が入るように設定します。本機を制御卓などでコントロールする場合に使用します。

☒ (チェックマークを付ける)	オートスタートが動作し本機の電源が入ります。
☐ (チェックマークを外す)	アイドル状態またはスタンバイ状態になります。



- オートスタートを有効にする場合は、本機の主電源スイッチを常に「入」にしておいてください。

パワーマネージメント

入力選択がRGB、DVI (デジタル)、DVI (アナログ)、ビデオ、S-ビデオのとき、5分以上信号入力がないと自動的に本機の電源を切りアイドル状態またはスタンバイ状態にします。

☒ (チェックマークを付ける)	自動的にアイドル状態またはスタンバイ状態になります。
☐ (チェックマークを外す)	パワーマネージメント機能は動きません。



- 本機にリモコンケーブルが接続されているときは、スタンバイ状態になりません。

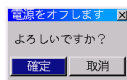
電源オフ確認メッセージ

電源を切るときに確認表示を出します。

☒ (チェックマークを付ける)	確認メッセージを表示します。
☐ (チェックマークを外す)	確認メッセージができません。



- 設定を有効 (チェックマークを付けたとき) にすると、本機の電源を切るときに次のようなメッセージが表示されます。



3Dリフォーム保存

[3Dリフォーム] で調整した調整値を保存します。電源を切っても調整値は失われません。

☒ (チェックマークを付ける)	本機の電源が切れる際に、本体内部のメモリに調整値を上書き保存します。
☐ (チェックマークを外す)	次に本機の電源を入れたときに、調整値を工場出荷状態に戻します。

ファン高速モード

本機内部の温度を下げるため冷却ファンを、常に高速で回転させます。

☒ (チェックマークを付ける)	常に高速で回転します。
☐ (チェックマークを外す)	本機内部の温度センサにより、適切な速度で回転します。



- 数日間連続して本機を使用する場合は、必ずチェックマークを付けてください。

アイドルモード

本機のスタンバイ状態をアイドル状態に切り替えます。

☒ (チェックマークを付ける)	本機の電源を切ったときにアイドル状態になります。 アイドル状態では次のことが可能になります。 ・ RGBモニタ出力端子 (RGB OUT) から映像信号が出力されます (●「RGB OUT端子設定」101ページ)。 ・ 本機とパソコンをLAN環境で使用しているとき、HTTPサーバ機能が使用できます (●128ページ)。
☐ (チェックマークを外す)	本機の電源を切ったときにスタンバイ状態になります。 スタンバイ状態では、アイドル状態のときと比べ消費電力が低くなります。



- 本機にリモコンケーブルが接続されているときは、チェックマークに関係なくアイドル状態になります。

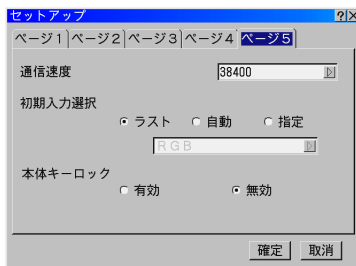
ランプ時間クリア

ランプ交換を行ったときに [ランプ残量] と [ランプ使用時間] をクリアします。



- 確定をすると、[セットアップ] 画面で取消しをしてももとには戻りません。
- ランプ時間は、[データリセット] ではクリアされません。

● ページ5



通信速度

PCコントロール端子 (PC CONTROL) のデータ転送速度の設定を行います。接続する機器と転送速度を合わせてください。

初期入力選択

本機の電源を入れたとき、どの入力信号 (入力端子) にするかの設定を行います。

ラスト	最後に映した入力信号を映します。
自動	入力信号の自動検出を行い、最初に見つかった入力信号を映します。
指定	設定した入力信号を映します。指定を選択した場合は、次の項目 (RGB/DVI (デジタル) / DVI (アナログ) / ビデオ / S-ビデオ / ビューフ / LAN) で目的の入力信号を選択します。

本体キーロック

プロジェクト本体にある操作ボタンを動作しないようにします。

有効	本体操作部のボタンが動かなくなります。
無効	本体操作部のボタンが働きます。



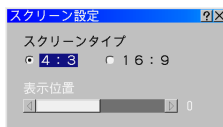
●本体キーロックの解除方法

本体の操作ボタンがロックされているときに、本体の **(CANCEL)** ボタンを約10秒間押すと、ロックが解除されます (本体キーロックの設定が無効になります)。



●本体の操作ボタンがロックされていてリモコンのボタンは動作します。

●スクリーン設定



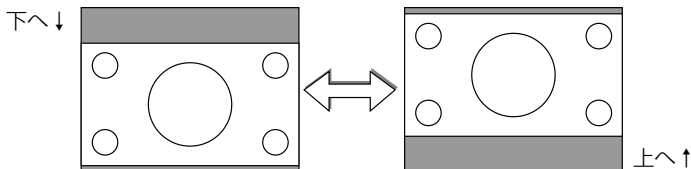
●スクリーンタイプ

投写するスクリーンの比率を設定します。

4 : 3	縦横比が4 : 3のスクリーンの場合
16 : 9	縦横比が16 : 9のスクリーンの場合

●表示位置

[スクリーンタイプ] が「16 : 9」のときに、表示領域の垂直位置を調整します。



- スクリーンタイプを変更したら、必ず [アスペクト] の設定を確認してください (87ページ)。
- [解像度] を「リアル」に設定すると、[スクリーン設定] は白文字になり選択できません。また、スクリーンタイプの設定は4 : 3になります。
- [スクリーンタイプ] が「4 : 3」のとき、および [アスペクト] が「レターボックス」のときは、[表示位置] は白文字になり選択できません。
- 3Dリフォームで投写画面の台形歪みを調整している場合、[スクリーンタイプ] および [表示位置] の設定を変更できないことがあります。そのときは、3Dリフォームの調整値をいったんリセットし、[スクリーンタイプ] や [表示位置] の設定を変更したあと、再度3Dリフォームで投写画面を調整してください。
[スクリーンタイプ] や [表示位置] の設定を変更した場合、3Dリフォームの調整範囲が狭くなることがあります。

LANモード

重要

- 本機をネットワーク環境で使用する場合は、必ずネットワーク管理者の指示に従って、各設定を行ってください。
- 本機のPCカードスロットにLANカードをセットしてください。
- 使用可能なLANカードについては、当社ホームページ（http://www.nevt.co.jp/pjs/support/move_check.html）でご確認のうえ、市販品をお買い求めください。
無線LANを使用する場合は、別売の無線LANカード（形名SWL-2100N-NJ）をお買い求めください。
- 当社にて動作確認をしていないLANカードを、本機のPCカードスロットにセットすると、本機が誤動作する場合があります。その場合は、すみやかに本機の電源を切り、LANカードを本機のPCカードスロットから取り出してください。
- メモリカード以外のコンパクトフラッシュタイプのカードは、本機にセットしないでください。PCカードアダプタを用いて本機にセットした場合、カードが破損することがあります。
- LANカードのセット／取り出しは、本機の主電源スイッチが「○（切）」のとき、またはスタンバイ状態のときにのみ行ってください。
本機の電源が入っているときやアイドル状態のときにLANカードのセット／取り出しを行うと、LANカードが壊れる場合があります。
- PCカードスロットへのセット方法は、「5-3. フラッシュメモリカードを本機にセットする」（61ページ）を参考にしてください。
- 本機のセキュリティ機能でフラッシュメモリカードをプロテクトキーにしているときは、本機にLANカードをセットできません。

●IPアドレス

自動／手動	本機を接続するネットワークが、DHCPサーバによってIPアドレスを自動的に割り当てる場合は、「自動」を選択します。自動的に割り当てられない場合は、「手動」選択し、下の「IPアドレス」と「サブネットマスク」を設定してください。 ・自動……… DHCPサーバによってIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイが自動的に割り当てられます。 ・手動……… ネットワーク管理者から割り当てられたIPアドレスやサブネットマスクを設定します。	———
IPアドレス	上記の項目で「手動」を選択した場合に、本機を接続するネットワークにおける本機のIPアドレスを設定します。	数字 12文字
サブネットマスク	上の項目で「手動」を選択した場合に、本機を接続するネットワークのサブネットマスクを設定します。	数字 12文字

プロジェクト名	本機を含む複数のプロジェクトがLANに接続されている場合、パソコン側でプロジェクトを識別するのに使います。	英数字、記号 最大16文字
ゲートウェイ	本機を接続するネットワークのデフォルトゲートウェイを設定します。上記の〔自動／手動〕で「手動」を選択したときのみ設定できます。 ・ ☒ (チェックマークを付ける) …以下でデフォルトゲートウェイとして設定したアドレスを有効にします。 ・ ☐ (チェックマークを外す) ……デフォルトゲートウェイを設定しません。	数字 12文字
DNS設定	本機を接続するネットワークのDNSサーバのIPアドレスを設定します。	数字 12文字
ドメイン名	本機を接続するネットワークのドメイン名を設定します。	英数字 最大60文字

●通信モード(無線LAN使用時のみ設定が必要)



通信モード	無線LANを使用するときの通信方式を選択します。 ・ インフラストラクチャ …アクセスポイントを経由して、有線LANや無線LANで接続されている複数の機器と通信を行うときに選択します。 ・ 802.11アドホック ……通信手段として無線LANのみを使って、本機とパソコンを1対1で通信する際に選択します。IEEE 802.11規格に準拠した方式です。 ・ アドホック ……通信手段として無線LANのみを使って、本機とパソコンを1対1で通信する際に選択します。 ・ かんたん接続 ……パソコンと本機の無線LAN (通信モード：アドホック) を簡単に設定するモードです。	_____
SSID	無線LANの識別名 (SSID) を入力します。SSIDが一致する機器とのみ、通信が行えます。	英数字 最大32文字 注: 大文字と小文字は区別されます。

チャンネル	[通信モード] で「802.11アドホック」または「アドホック」を選択した場合に設定します。 1～14の値を設定できます（国によって使用できるチャンネルが異なります）。 無線LANで通信をする機器同士は、同じチャンネルにしてください。	_____
通信速度	無線転送速度を設定します。 通常は自動判別にしておきます。うまくつながらない場合は、値を変えてみてください。	_____

注意 ●「かんたん接続」については「アプリケーションガイド」をご覧ください。

●WEP（無線LAN使用時のみ設定が必要）



WEP	WEP（暗号化）をするかしないかを選択します。 暗号化する場合は、暗号キーを設定します。 ・ 無効 WEP（暗号化）を行いません。他人から通信内容を傍受されるおそれがあります。 ・ 64bit 秘密鍵に64bit長のデータを使います。 ・ 128bit 秘密鍵に128bit長のデータを使います。64bit長のデータを使った暗号化に比べ、セキュリティ面で強化されています。 注意 ● WEPは、無線をする相手の機器（パソコンやアクセスポイント）と同じ設定にしてください。 ● WEPを使用すると、画像転送速度が低下します。	_____
キー選択	[WEP] で「64bit」または「128bit」を選択した場合、下のキー1～キー4のどの暗号キーを使うかを選択します。	_____
キー1／キー2／ キー3／キー4	[WEP] で「64bit」または「128bit」を選択した場合、暗号キーを入力します。	● 64bitの場合 ・ 英数文字 (ASCII)5文字 ・ 16進数 (HEX)10文字 ● 128bitの場合 ・ 英数文字 (ASCII)13文字 ・ 16進数 (HEX)26文字

●暗号キーの入力（英数文字入力と16進数入力の切り替え）

［キー1］～［キー4］に暗号キーを入力する場合は、次のように操作します。

- 1 カーソルが［キー1］～［キー4］に合っているときに（ENTER）ボタンを押す。
文字入力画面が表示されます。



- 2 （SELECT▼▲◀▶）ボタンを押して、文字などにカーソルを合わせ、（ENTER）ボタンを押す。

文字が入力されます。

- ・文字入力画面の操作については、80ページをご覧ください。
- ・暗号キーを入力する場合は、英数文字（ASCII）と16進数（HEX）の2通りの入力が行えます。次のようにして切り替えます。
- ・文字入力画面の左下に「HEX」と表示されているときは、英数文字（ASCII）が入力できます。
- ・16進数を入力する場合は、「HEX」にカーソルを合わせ（ENTER）ボタンを押します。「HEX」表示が「ASCII」表示に変わります。
- ・文字入力画面の左下に「ASCII」と表示されているときは、16進数が入力できます。
- ・16進数入力のときは、入力欄の先頭に自動的に「0x（ゼロエックス）」と表示されます。

- 3 暗号キーを入力したら、（SELECT▼▲◀▶）ボタンを押して、［確定］にカーソルを合わせ、（ENTER）ボタンを押す。

入力した文字が確定して、文字入力画面が閉じます。

●メール

メール通知	本機をLANに接続して使用する場合、本機のランプ寿命や各種エラーが発生したときに、本機の状態をEメールでパソコンなどへ通知します。 ・ ☒ （チェックマークを付ける）…… 以下の設定に基づいてメール通知機能が働きます。 ・ ☐ （チェックマークを外す）……… メール通知機能は停止します。 【本機から送信されるEメールの例】 ランプの交換時期です。新しいランプに交換してください。 プロジェクト名：xxxx ランプ使用時間：xxxx [H] 機器使用時間：xxxx [H]	
差出人アドレス	本機からEメールを送信する際の差出人アドレスを設定します。Eメールの「from」にあたるアドレスです。	英数字、記号 最大60文字
SMTPサーバ名	本機が接続をするネットワークのSMTPサーバを設定します。	英数字 最大 60文字

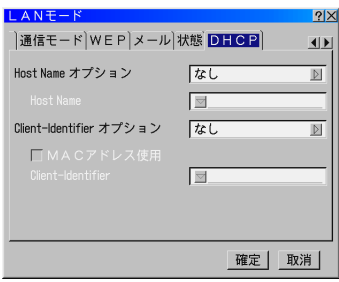
宛先アドレス1 宛先アドレス2 宛先アドレス3	本機からメールを送信する際の宛先のアドレスを設定します。宛先は3つまで設定できます。 Eメールの「to」にあたるアドレスです。	英数字、記号 最大60文字
送信テスト	Eメールの設定を確認するために、テストメールを送信します。 注意 ● 送信テストを行って、送信エラーになったりメールが届かない場合は、LANモードの設定を確認してください。 ● 宛先アドレスが間違っている場合は、送信テストでエラーにならないことがあります。テストメールが届かない場合は、宛先アドレスの設定を確認してください。	_____

- 注意**
- 無線LANでメール通知を使用する場合は、[通信モード] で「インフラストラクチャ」を選択してください。
 - LANカードを本機にセットしていないと、[送信テスト] は選択できません。
 - 次の3つの項目が設定されていないと [送信テスト] は選択できません。
「差出人アドレス」、「SMTPサーバ名」、「宛先アドレス1～3 (のいずれか)」
 - 「メール」以外のLANモードの設定を変更した場合は、[確定] を選んで変更した設定を決定したあとで、[送信テスト] を行ってください。

●状態

- IPアドレスの [自動／手動] で「自動」を選択しているときは、DHCPサーバから取得した「IPアドレス」、「サブネットマスク」、「ゲートウェイ」と、セットしているLANカードの「MACアドレス」を表示します。
- IPアドレスの [自動／手動] で「手動」を選択しているときは、設定されている「IPアドレス」、「サブネットマスク」、「ゲートウェイ」と、セットしているLANカードの「MACアドレス」を表示します。
- [再接続] にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押すと、ネットワークへの接続を試みます。

●DHCP



ネットワーク環境によっては、[IPアドレス] の「自動」(DHCPサーバ参照) でIPアドレスを取得できないことがあります。その場合は、ネットワーク管理者の指示に従って以下の設定をしてください。

Host Name オプション	DHCP処理において、Host Nameオプションを付加するかを選択します。 ・なし ……………付加しない。 ・Request ……………DHCP_REQUEST時に付加する。 ・Discover/Request ……DHCP_DISCOVER時と、DHCP_REQUEST時に付加する。
Host Name	Host Nameオプションで使用するホスト名を入力します。
Client-Identifier オプション	DHCP処理において、Client-Identifierオプションを付加するかを選択します。 ・なし ……………付加しない。 ・Request ……………DHCP_REQUEST時に付加する。 ・Discover/Request ……DHCP_DISCOVER時と、DHCP_REQUEST時に付加する。
MACアドレス使用	Client-IdentifierオプションでMACアドレスを識別子として使用します。 ・☒ (チェックマークを付ける) ……MACアドレスを識別子として使用します。 ・☐ (チェックマークを外す) ……MACアドレスを識別子として使用しません。その下の入力欄で識別子として使用する文字列を入力します。
Client-Identifier	Client-Identifierオプションで識別子として使用する文字列を入力します。

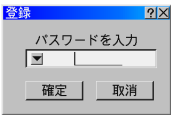
●パスワード

本機の管理者以外の操作による誤操作を防止するために、パスワードを設定することができます。

パスワードは、メニュー用とバックグラウンドロゴ用(ロゴ用)の2つがあります。

- メニュー用パスワードを設定すると、ベーシックメニューやカスタムメニューからアドバンスドメニューに切り替えるとき(●77ページ)、およびカスタムメニュー編集を行うとき(●98ページ)に、パスワード確認画面を表示します。
- ロゴ用パスワードを設定すると、バックグラウンドを切り替えるとき(●101ページ)、およびファイル選択画面からロゴデータを変更するとき(●72ページ)に、パスワード確認画面を表示します。

●登録



パスワードを登録します（英数字で最大15桁）。

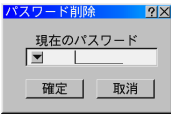
- 1 パスワードを入力する。
 - ・パスワード入力欄にカーソルを合わせ、**(ENTER)**ボタンを押すと、文字入力画面が表示されます（80ページ）。
 - ・USBマウスで操作している場合は、パスワード入力欄左側の▼を左クリックします。
 - ・1文字入力するごとに、パスワード入力欄に「*」が表示されます。



●パスワードは、忘れないように必ずメモしておいてください。

- 2 パスワードを入力したら、**[確定]**にカーソルを合わせ、**(ENTER)**ボタン押す。
パスワード確認画面が表示されます。
- 3 手順1で入力したパスワードを、再度入力する。
 - ・1文字入力するごとに、パスワード入力欄に「*」が表示されます。
- 4 **[確定]**にカーソルを合わせ、**(ENTER)**ボタンを押す。
パスワードが登録されメニューに戻ります。

●削除



登録しているパスワードを削除します。

- 1 パスワードを入力する。
 - ・1文字入力するごとに、パスワード入力欄に「*」が表示されます。
- 2 **[確定]**にカーソルを合わせ、**(ENTER)**ボタンを押す。
パスワードが削除されメニューに戻ります。



- 登録したメニュー用パスワードを忘れてしまった場合は、次の手順で削除できます。
 - 1 ベーシックメニューからアドバンスメニューに切り替えて、パスワード入力画面を出す。
 - 2 「1111」と入力し**[確定]**にカーソルを合わせ、**(ENTER)**ボタンを押す。
「パスワードが不正です」とメッセージが表示されます。
 - 3 「3333」と入力し**[確定]**にカーソルを合わせ、**(ENTER)**ボタンを押す。
「パスワードが不正です」とメッセージが表示されます。
 - 4 「5555」と入力し**[確定]**にカーソルを合わせ、**(ENTER)**ボタンを押す。
パスワード削除の確認画面が表示されます。
 - 5 **(SELECT ◀▶)**ボタンで「はい」を選択し、**(ENTER)**ボタンを押す。
登録していたパスワードが削除されます。
- 登録したロゴ用パスワードを忘れてしまった場合は、お客様問い合わせ窓口（NEC プロジェクト・カスタマサポートセンター）にご連絡ください。

●セキュリティ

キーワードを設定することで、本機を無断で使用されないようにすることができます。また、フラッシュメモリカードをプロテクトキーとして登録することで、本機の電源を入れたときに、登録したカードが本機にセットされていないと投写できないようにします。



有効/無効	セキュリティを有効にするか、無効にするかを選択します。	
キーワード	セキュリティを使用する際に必要なキーワードを入力します（最大10文字）。キーワードを入力しないとセキュリティは有効になりません。	
プロテクトキーを使用	セキュリティロックの方法を設定します。	
	☒ (チェックマークを付ける) ☐ (チェックマークを外す)	キーワードとフラッシュメモリカードの両方を登録してセキュリティロックをかけます。 キーワードのみでセキュリティロックをかけます。
ドライブ	プロテクトキーの場所(PCカードスロットまたはUSB)を切り替えます。	
読み込み	登録するフラッシュメモリカードの情報を読み込みます。	
登録	読み込んだフラッシュメモリカードの情報を登録します。 [プロテクトキーを使用]に ☒ (チェックマーク)を付けた場合、フラッシュメモリカードが1枚も登録されていないとセキュリティは有効になりません。最大カード5枚まで登録できます。	
削除	登録したフラッシュメモリカードの情報を削除します。	

●セキュリティを有効にする

フラッシュメモリカードを使用しない場合

- 1 (SELECT ▼/▲) ボタンで[キーワード]にカーソルを合わせ、キーワードを入力する。



●キーワードは、忘れないように必ずメモしておいてください。

- 2 (SELECT ▼/▲) ボタンで[無効]にカーソルを合わせ、(SELECT ◀/▶) ボタンで[有効]にカーソルを合わせる。
- 3 (SELECT ▼/▲) ボタンで[確定]にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。
セキュリティが有効になります。

フラッシュメモ리카ードをプロテクトキーとして使用する場合

準備：フラッシュメモ리카ードを本機のPCカードスロットにセットしてください（ 61ページ）。

1 (SELECT ▼/▲) ボタンで [プロテクトキーを使用] にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。

☒ (チェックマーク) が付きます。

2 (SELECT ▼/▲) ボタンで [読込] にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。
フラッシュメモ리카ードの情報が読み込まれます。

3 (SELECT ▼/▲) ボタンで [登録] にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。
読み込まれたフラッシュメモ리카ードの情報が登録され、登録リストに表示されます。

4 (SELECT ▼/▲) ボタンで [キーワード] にカーソルを合わせ、キーワードを入力する。



● キーワードは、忘れないように必ずメモしておいてください。

5 (SELECT ▼/▲) ボタンで [無効] にカーソルを合わせ、(SELECT ◀/▶) ボタンで [有効] にカーソルを合わせる。

6 (SELECT ▼/▲) ボタンで [確定] にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。

●セキュリティを有効にしているときの電源の入れかた

フラッシュメモ리카ードを使用しない場合

1 POWER (ON/STAND BY) ボタンを2秒以上押す。

・リモコンで操作する場合は、POWER (ON) ボタンを2秒以上押します。
本機の電源が入り、セキュリティロック中のメッセージが表示されます。

2 メニューの [機器設定] → [セキュリティ] を選択して、(ENTER) ボタンを押す。
解除コード入力画面が表示されます。

3 解除コード入力画面にキーワードを入力する。
セキュリティロックが解除され、選択されている信号を投写します。

フラッシュメモ리카ードをプロテクトキーとして使用する場合

準備：情報を登録したフラッシュメモ리카ードを本機のPCカードスロットにセットしてください（ 61ページ）。

1 POWER (ON/STAND BY) ボタンを2秒以上押す。

・リモコンで操作する場合は、POWER (ON) ボタンを2秒以上押します。
電源が入り、フラッシュメモ리카ードが認識されると入力信号を投写します。
電源が入ったあとはフラッシュメモ리카ードを抜いてもそのまま動作します。



- 本機の電源を入れたとき、情報を登録したフラッシュメモ리카ードが本機のPCカードスロットにセットされていないと、セキュリティロック中のメッセージが表示され画面が投写されません。その場合は、情報を登録したフラッシュメモ리카ードを本機のPCカードスロットにセットすると、セキュリティロックを解除することができます。
- セキュリティロックの解除状態は、主電源をOFFする（主電源スイッチを「O（切）」にするか、電源コードを抜く）まで保持されます。
次の場合に、プロテクトキーのチェック、もしくはキーワードの要求を行います。
(1) セキュリティ設定画面で [確定] して電源をOFFしたあとと電源をONしたとき。

(2) セキュリティ有効中に主電源をOFFしたあと再び主電源をONにし電源をONしたとき。

(3) セキュリティ有効中にセキュリティ設定画面を表示しようとしたとき。

- キーワードに空白（スペース）は使用できません。

●登録したカード情報を削除する

- 1** (SELECT▼/▲) ボタンで「削除」にカーソルを合わせ、(SELECT◀) ボタンで登録リスト内にカーソルを移動する。
- 2** (SELECT▼/▲) ボタンで削除したいフラッシュメモリカードの情報を選択する。
- 3** (SELECT▶) ボタンで「削除」にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。
フラッシュメモリカードの情報が削除されます。



- フラッシュメモリカードによってはプロテクトキーとして登録できないものもあります。
- 登録したフラッシュメモリカードが破損、紛失したときのために、複数のフラッシュメモリカードを登録しておくことをおすすめします。
- プロテクトキーとして登録したあと、カードをフォーマットすると、プロテクトキーとして認識できなくなります。



.....

- プロテクトキーとして登録したカードを紛失してしまったときの対応

- 1** POWER (ON/STAND BY) ボタンを2秒以上押す。

- ・ リモコンで操作する場合は、POWER (ON) ボタンを2秒以上押します。
本機の電源が入り、セキュリティロック中のメッセージが表示されます。

- 2** メニューの「機器設定」→「セキュリティ」を選択して、(ENTER) ボタンを押す。
解除コード入力画面といっしょにお問い合わせコード (Request Code) (英数字24文字) が表示されます。

- セキュリティ設定画面で登録したキーワードと、表示されたお問い合わせコードの2つをお客様問い合わせ窓口 (NEC プロジェクタ・カスタマサポートセンター) にご連絡ください。解除コード (Release Code) をお知らせします。

- 3** 解除コード画面に解除コードを入力する。

セキュリティロックが解除されます。

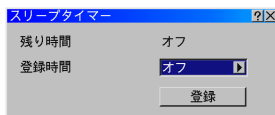
- キーワードを忘れたときの対処

お客様問い合わせ窓口 (NEC プロジェクタ・カスタマサポートセンター) にご連絡ください。

.....

6-9. ツール

スリープタイマー



スリープタイマーを設定しておくで、本機の電源の切り忘れ防止になり、省エネになります。[登録時間] 後に本機の電源が切れます（アイドル状態またはスタンバイ状態になります）。[残り時間] には、本機の電源が切れるまでの残り時間が表示されます。

キャプチャ



「5. ビューワを使う」(59ページ) をご覧ください。

ファイル選択



「5. ビューワを使う」(59ページ) をご覧ください。

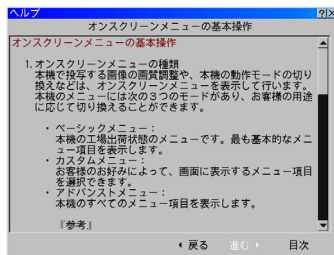
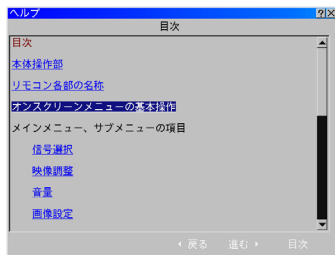
チョークボード



「4-9. 投写画面に文字や図形を描く（チョークボード）」(55ページ) をご覧ください。

6-10. ヘルプ

目次



本機の操作説明が書かれています。

リモコンの (HELP) ボタンを押して直接開くこともできます。

リンクの選択

- 1** (SELECT ▼/▲) ボタンを押す。

カーソルが関連のある項目へ移動します。

- 2** 下線のある単語や文にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。

青色の文字は関連ある項目のページに、緑色の文字は調整画面や設定画面に変わります。

スクロールするとき

- 1** 画面内に関連ある項目がない場合、(SELECT ▼/▲) ボタンを押す。

次の関連ある項目まで画面がスクロールします。

戻るとき／進めるとき

戻る／進むは、たどってきたページを戻したり、進めたりする機能です (1ページずつ進めたり、戻したりするものではありません)。

- 1** (SELECT ◀) ボタンを押す。

たどってきた前のページに戻ります。

- 2** 戻る前に表示していたページを再び表示する場合は、(SELECT ▶) ボタンを押す。

終わるときは

- 1** ヘルプ画面で (CANCEL) ボタンを押す。



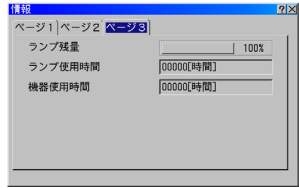
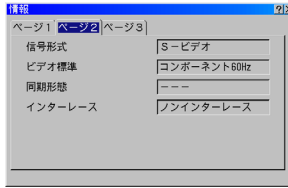
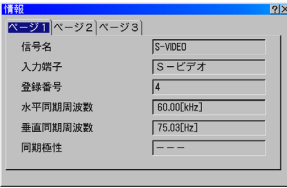
- オーバースキャン (▶ 91ページ) をしている場合、ヘルプ画面が正常に表示されないことがあります。



- 本機にUSBマウスを接続している場合、調整・設定画面のヘルプアイコン (下図) をUSBマウスでクリックすると、その項目の操作説明が書かれたヘルプページを開きます。



- 本機に“スクロールボタン”または“スクロールホイール”付きのUSBマウスを接続している場合、“スクロールボタン”または“スクロールホイール”を使ってヘルプ画面をスクロールすることができます。



入力選択されている入力信号の詳細、ランプ使用時間、本機の使用時間を表示します。ページ1、ページ2は、色が極端におかしかったり、画面流れたり、映像が映らない場合、入力信号が本機に適しているかの確認に使います。「対応解像度一覧」(136ページ)もあわせてご覧ください。

ページ3は、ランプの寿命時間の確認に使います。



● ランプ残量／ランプ使用時間の表示について

本機にはエコモード機能があります。ノーマルモードとエコモードではランプの寿命が異なります。

[ランプ使用時間] はランプの通算使用時間を示し、[ランプ残量] はランプの使用時間に対する残量をパーセントで表示しています。

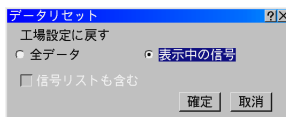
- 0%になると画面上に「ランプの交換時期です。取扱説明書に従って早めに交換してください。」のメッセージが表示されます（メッセージは、投写中も表示され続けます）。

新しいランプと交換してください。交換のしかたは「7-1. ランプの交換」(122ページ)をご覧ください。

- ランプ寿命に到達（ランプ残量0%）後、[ランプ残量] 表示は赤色の時間表示に変わります。このとき、[ランプ残量] 表示は「100時間」と表示され、そのあとランプを投写しただけ時間がマイナスされていきます。そして[ランプ残量] 表示が「0時間」になると、本機の電源が入らなくなります。

	ランプ使用時間		ランプ残量
	ノーマルモードのみ使用 (最小)	エコモードのみ使用 (最大)	
工場出荷時	0000時間		100%
ランプ寿命	2000時間	3000時間	0%

6-11. データリセット



本機に記憶されている全調整・設定値、または表示中の信号について、調整した調整値を工場出荷状態に戻します。

データリセットの処理には多少時間がかかります。

●全データ

すべての調整・設定値が工場出荷状態になります。

信号リストも含む

信号リストの内容を工場出荷状態に戻す場合に設定します (➡ 84ページ)。

☒ (チェックマークを付ける)	信号リスト内の登録信号を削除して工場出荷状態に戻します。
☐ (チェックマークを外す)	信号リスト内の登録信号 (およびその調整値) を残して工場出荷状態に戻します。



- 信号リストでロックされている信号の調整値は削除されません。

【リセットされるデータ】

[表示言語]・[通信速度]・[ランプ残量]・[ランプ使用時間]・[機器使用時間]・[セキュリティ]・[パスワード]・[バックグラウンドロゴ]・[LANモード]・[アイドルモード]以外のすべての調整・設定値 (ランプ使用時間のクリア方法は105ページをご覧ください)。

●表示中の信号

表示中の信号について、調整した調整値が工場設定値になります。

【リセットされるデータ】

明るさ／コントラスト／カラー／色相／シャープネス／アスペクト／ブラッキング／ノイズリダクション／水平位置／垂直位置／クロック周波数／位相／解像度／ビデオ帯域フィルタ／オーバースキャン／ピクチャーマネージメント／音量

第7章

ランプの交換／本体のお手入れ

.....

7-1. ランプの交換 122

7-2. キャビネットの清掃 125

7-3. ミラーの清掃 126

7-1. ランプの交換

光源に使われているランプの使用時間が2000時間（ノーマルモードのみ使用時）を超えるとLAMPインジケータが赤点灯し、メッセージ「ランプの交換時期です。取扱説明書に従って早めに交換してください。」が画面上に表示されます。

この場合は光源ランプの交換時期ですので、新しいランプと交換してください。

なお、エコモードで使用している割合が多いとランプ寿命が延びます。したがってこの場合ランプ使用時間は延びることになります。現在のランプ使用残量の目安は119ページをご覧ください。

- 交換用ランプは販売店でお求めください。ご注文の際は交換用ランプ形名LT60LPKとご指定ください。
- 指定のネジ以外は外さないでください。
- ランプハウスには、ランプ保護のためガラスが付いています。誤って割らないよう取り扱いには注意してください。
また、ガラス表面には触れないでください。輝度にかかわる性能劣化の原因となります。
- メッセージが表示されてもなお使用を続けると、ランプが切れることがあります。ランプが切れるときには、大きな音をとまって破裂し、ランプの破片がランプハウス内に散らばります。この場合は、当社指定のサービス拠点または販売店に交換を依頼してください。
- ランプ寿命に到達後100時間を超えて使用すると、LAMPインジケータが赤く点灯するとともにスタンバイ状態になり電源が入らなくなります。



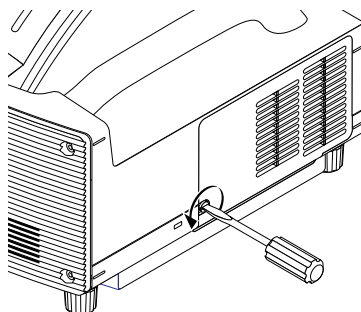
注意

ランプの交換は、電源を切り約90秒間待って、冷却ファン停止後、電源プラグをコンセントから抜き、約60分おいてから行ってください。動作中や停止直後にランプを交換すると高温のため、やけどの原因となることがあります。

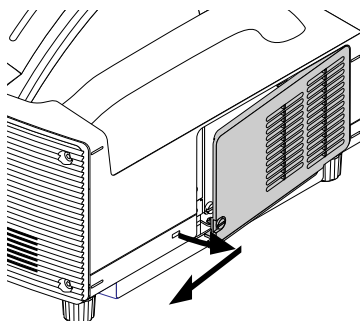
準備： マイナスドライバーを用意してください。

1 ランプカバーを外す。

- ① ランプカバーネジを左に空転するまでゆるめる。
ネジは外れません。

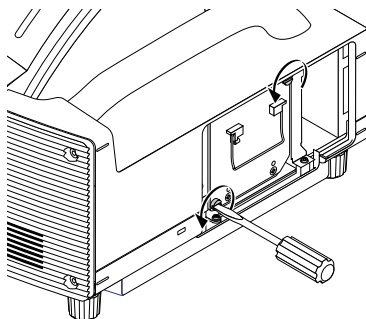


- ② ランプカバーネジ側を持ち上げ、引いて外す。

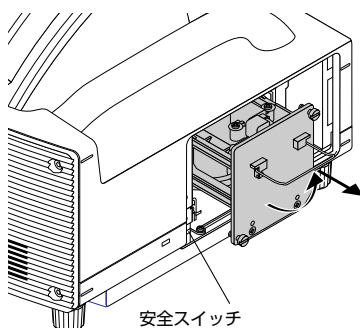


② ランプハウスを外す。

- ① ランプハウス固定のネジ（2箇所）を左に空転するまでゆるめる。
ネジは外れません。

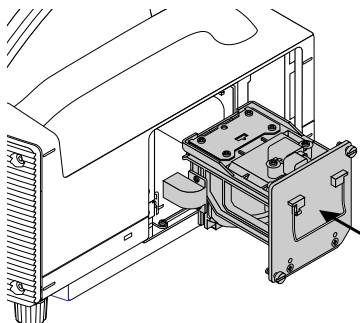


- ② ランプハウスの取っ手を持って引く。
・ 本機には安全スイッチが付いています。
安全スイッチには触れないでください。



③ 新しいランプハウスを取り付ける。

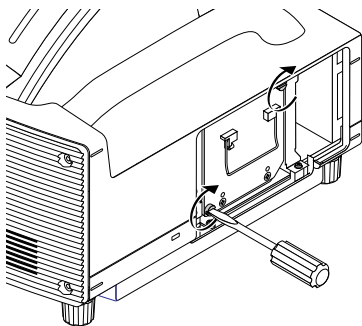
- ① ランプハウスを静かに入れる。



- ② ランプハウス固定のネジ (2箇所) を右に回してしめる。

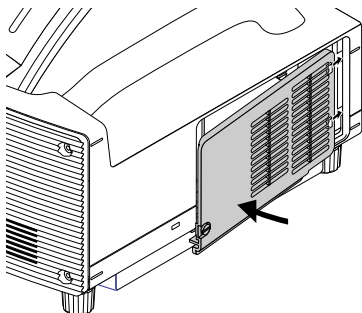
・ネジは確実にしめてください。

- ③ ランプハウスの取っ手を倒す。



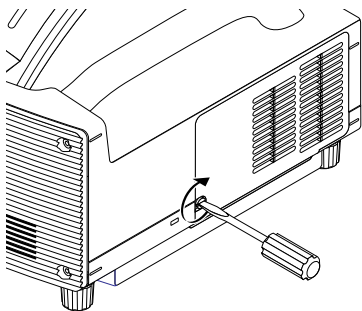
4 ランプカバーを取り付ける。

- ① ランプカバーのツメを本体のガイドに入れ、ランプカバーを閉める。



- ② ランプカバーネジを右に回してしめる。

・ネジは確実にしめてください。



5 電源プラグをコンセントに差し込み、電源を入れる。

6 ランプ残量とランプ使用時間をクリアする。

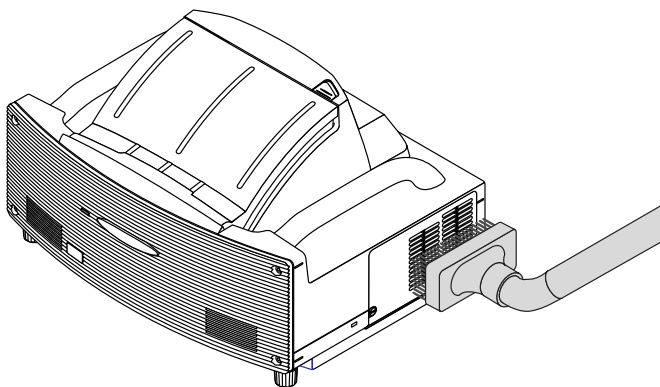
メニューの [機器設定] → [セットアップ] → [ページ4] の「ランプ時間クリア」ボタンを選択して、[確定] を選択してください (● 105ページ)。
これで、ランプ交換が終わりました。



- ランプ寿命 (ノーマルモードのみ使用時2000時間) に到達後100時間を超えて使用すると、電源が入らなくなります。その場合は、スタンバイ状態でリモコンの (HELP) ボタンを10秒以上押すことでランプ残量とランプ使用時間をクリアできます。クリアされたかどうかは、LAMPインジケータが消灯することで確認できます。

7-2. キャビネットの清掃

お手入れの前に必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



- 毛羽立ちの少ない柔らかい乾いた布でふいてください。
汚れのひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。
化学ぞうきんを使用する場合は、その注意書に従ってください。
- シンナーやベンジンなどの溶剤でふかないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。
- 通風孔やスピーカ部のほこりを取り除く場合は、掃除機のブラシ付きのアダプタを使用して吸い取ってください。なお、アダプタを付けずに直接当てたり、ノズルアダプタを使用することは避けてください。
- 通風孔にほこりがたまると、空気のとおりが悪くなり内部の温度が上昇し、故障の原因となりますので、こまめに掃除をしてください。設置環境にもよりますが100時間を目安に掃除をしてください。
- キャビネットを爪や硬いもので強くひっかいたり、当てたりしないでください。傷の原因となります。
- 本体内部の掃除については、お買い上げの販売店またはNECフィールディング(株)支店・営業所にお問い合わせください。

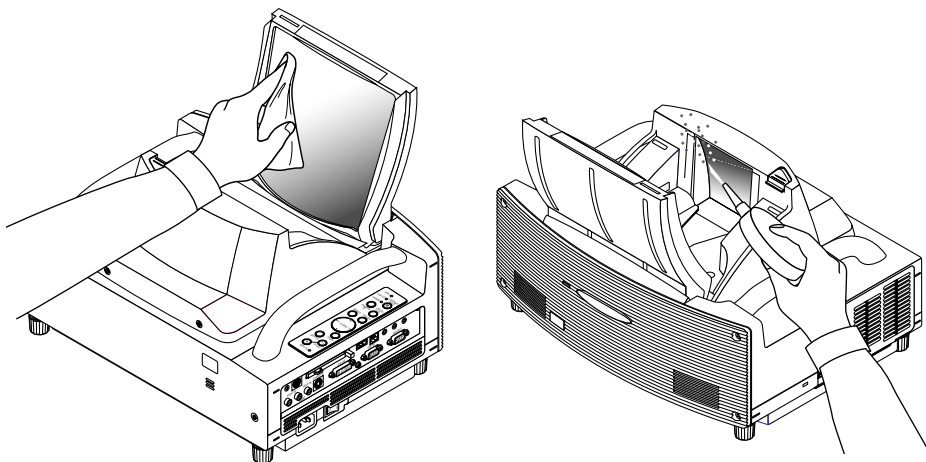


- キャビネットやミラーおよびスクリーンに殺虫剤など揮発性のものをかけたりしないでください。
また、ゴムやビニール製品などを長時間接触したままにしないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

7-3. ミラーの清掃

ミラーを清掃する場合は、添付のミラー用クリーニングクロス(布)を使用してください。その際、ミラーを傷つけないように十分注意してください。

また、ミラー部分(光線の通り道)の底やミラーの周辺に溜まっているほこりやゴミなどを取り除く場合は、市販のカメラ用ブローワーを使用してください。



- ミラーの清掃は、主電源スイッチを切った状態で行ってください。
- 掃除機は、ミラーを傷つけるので使用しないでください。
- ガラスクリーナーは、ミラー表面が腐食する原因になるため使用しないでください。
- 投写中、ミラー部分(光線の通り道)は高温になるため、ミラー部分に異物が入らないように注意してください。
- ミラー部分(光線の通り道)には異物を感知するセンサーがあり、センサーが異物を感知すると、本機の電源が入りません。また、投写中にセンサーが異物を感知すると、映像が消えます。これらのとき、STATUSインジケータが赤色で点灯します。
- ミラー部分(光線の通り道)の底には温度センサーがあり、センサーが高温を感知すると、本機の電源が入りません。また、投写中にセンサーが高温を感知すると、ランプが消灯し、アイドル状態になります。これらのとき、STATUSインジケータが赤色で点滅します。

第8章

付録

.....

HTTPを使用したブラウザによる操作	128
故障かな？と思ったら	130
インジケータ表示一覧	133
投写距離とスクリーンサイズ	135
対応解像度一覧	136
外観図	137
関連商品一覧	138
RGB INPUT端子のピン配列と信号名 ...	138
仕様	139
保証と修理サービス（必ずお読みください） ...	140
索引	141

HTTPを使用したブラウザによる操作

概要

HTTPサーバ機能を使用することにより、Webブラウザから本機を操作することができます。なお、Webブラウザは「Microsoft Internet Explorer 4.x」以上を必ず使用してください。

本機は「JavaScript」および「Cookie」を利用していますので、これらの機能が利用可能な設定をブラウザに対して行ってください。設定方法はバージョンにより異なりますので、それぞれのソフトにあるヘルプなどの説明を参照してください。

HTTPサーバ機能へのアクセスは、本機とネットワークで接続されたパソコンでWebブラウザを起動し、アドレスまたはURLの入力欄へ

http://〈本機のIPアドレス〉/index.html と指定することで行えます。



注意

- ご使用のネットワーク環境によっては、表示速度やボタンの反応が遅くなったり、操作を受け付けなかったりすることがあります。その場合は、ネットワーク管理者にご相談ください。
また続けてボタン操作を行うとプロジェクトが応答しなくなることがあります。その場合はしばらく待ってから再度操作を行ってください。しばらく待っても応答がない場合は、一度本機のLANカードを取り出してセットしなおしてください。LANカードのセット／取り出し方法については「LANモード」(107ページ)をご覧ください。
- HTTPサーバ機能と添付CD-ROMのDynamic Image Utilityを同時に使用しないでください。接続できなかったり、通信に時間がかかることがあります。
- HTTPサーバ機能を使って本機の電源の入／切を行う場合は、アドバンスメニューの「機器設定」→「セットアップ」→「ページ4」の「アイドルモード」にチェックマークを付けてください。工場出荷状態は「アイドルモード」にチェックマークが付いています。

使用前の準備

ブラウザによる操作を行う前にあらかじめ本機に対して、ネットワークとの接続と設定を行ってください(107ページ)。

プロキシサーバの種類や設定方法によっては、プロキシサーバを経由したブラウザ操作ができないことがあります。プロキシサーバの種類にもよりますがキャッシュの効果により実際に設定されているものが表示されない、ブラウザから設定した内容が反映しないなどの現象が発生することがあります。極力プロキシサーバは使用しないことを推奨します。

ブラウザによる操作のアドレスの扱い

ブラウザによる操作に際しアドレスまたはURL欄に入力する実際のアドレスについてネットワーク管理者によってドメインネームサーバへ本機のIPアドレスに対するホスト名が登録されている場合、もしくは使用しているコンピュータの「HOSTS」ファイルに本機のIPアドレスに対するホスト名が設定されている場合には、ホスト名がそのまま利用できます。

- (例1) 本機のホスト名が「pj.nec.co.jp」と設定されている場合
HTTPサーバ機能へのアクセスはアドレスまたはURLの入力欄へ
http://pj.nec.co.jp/index.html と指定します。
- (例2) 本機のIPアドレスが「192.168.73.1」の場合
HTTPサーバ機能へのアクセスはアドレスまたはURLの入力欄へ
http://192.168.73.1/index.html と指定します。

HTTPサーバの構成



Power	本機の電源をオン／オフします。 On 電源をオンにします。 Off 電源をオフにします。
Volume	本機の音量をコントロールします。 ▲ 音量調整値をアップします。 ▼ 音量調整値をダウンします。
Mute	本機のMUTEをコントロールします。 ALL On 映像、音声、メニュー表示をすべてミュート（一時的に消去）します。 ALL Off 映像、音声、メニュー表示のミュートをすべて解除します。 Picture On 映像をミュート（一時的に消去）します。 Picture Off 映像ミュートを解除します。 Sound On 音声をミュート（一時的に消去）します。 Sound Off 音声ミュートを解除します。 OSD On メニュー表示をミュート（一時的に消去）します。 OSD Off メニュー表示のミュートを解除します。
Picture	本機の映像調整をコントロールします。 Brightness ▲ 明るさの調整値をアップします。 Brightness ▼ 明るさの調整値をダウンします。 Contrast ▲ コントラストの調整値をアップします。 Contrast ▼ コントラストの調整値をダウンします。 Color ▲ カラーの調整値をアップします。 Color ▼ カラーの調整値をダウンします。 Hue ▲ 色相の調整値をアップします。 Hue ▼ 色相の調整値をダウンします。 Sharpness ▲ シャープネスの調整値をアップします。 Sharpness ▼ シャープネスの調整値をダウンします。

※ 本機に入力されている信号によって、コントロールできる機能が変わります。詳しくは「6-4映像調整」(86ページ) をご覧ください。

Source Select	本機の入力端子を切り替えます。	
RGB	RGB	RGB入力に切り替えます。
DVI（デジタル）	DVI-I入力端子（DVI-I IN）	のデジタルRGB入力に切り替えます。
DVI（アナログ）	DVI-I入力端子（DVI-I IN）	のアナログRGB入力に切り替えます。
Video	ビデオ映像入力	に切り替えます。
S-Video	S-ビデオ映像入力	に切り替えます。
Viewer	セットしたフラッシュメモ리카ードのデータ表示	に切り替えます。
LAN	LANから送られてくるデータ表示	に切り替えます。
Projector Status	本機の状態を表示します。	
Remaining Lamp Time	ランプの残り使用時間	を%表示します。
Lamp Hour Meter	ランプの使用時間	を表示します。
Projector Usage	本機の使用時間	を表示します。
Error Status	本機内部のエラー発生状況	を表示します。
Refresh	状態表示	を更新します。

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、もう一度接続や設定および操作に間違いがないかご確認ください。それでもなお異常なときはお買い上げの販売店またはNECフィールディング（株）支店・営業所にお問い合わせください。

現象と確認事項

このようなとき	確認してください	参照ページ
電源が入らない	電源プラグがコンセントから抜けていませんか。	32ページ
	主電源スイッチは「I（入）」になっていますか。	35ページ
	本体キーロック中ではありませんか。 本体キーロック中は、本体の操作ボタンはロックされて効きませんが、リモコンを使えば操作できます。	106ページ
	ランプカバーが正しく取り付けられていますか。	122ページ
	ランプ寿命を超えて使用していませんか。	119ページ
	内部温度が高くなっていますか。内部の温度が異常に高いと保護のため電源は入りません。しばらく待ってから電源を入れてください。	134ページ
映像が出ない	接続している入力を選んでいますか。	37ページ
	入力端子のケーブルが正しく接続されていますか。	26～31ページ
	画像調整の明るさ、コントラストが最小になっていませんか。	86ページ
	投写しようとしている信号に対し「信号選択」の設定が適切ですか。	103ページ
	DVDプレーヤをRGB端子と接続しているとき、映像が出ない場合、RGB/コンポーネントの選択を行っていますか。	103ページ
	RGB入力の場合、標準信号以外の信号が入力されていませんか。	136ページ

	RGB入力の場合、画面調整を正しく行っていますか。	42ページ
	パソコンの画面がうまく投写できない場合は、132ページをご覧ください。	—
	各設定が正しく調整・設定されていますか。	81ページ
	それでも解決しない場合は、[データリセット]を行ってみてください。	120ページ
	セキュリティが有効になっている場合は、本機の電源を入れたときに、あらかじめ登録しておいたキーワードを入力したり、プロテクトキーとして登録したフラッシュメモ리카ードをセットしないと、映像は投写されません。	114ページ
映像が歪む	正しく設置されていますか。	38ページ
	台形状に歪む場合はフォーカス調整または3Dリフォームを行ってください。	40,94ページ
映像がぼやける	フォーカスは合っていますか。	40ページ
	投写画面と本機が正しい角度で設置されていますか。	39ページ
	投写距離がフォーカスの範囲を超えていませんか。	25ページ
	ミラーなどが結露していませんか。 気温が低い所に保管しておいて温かい所で電源を入れるとミラーや内部の光学部が結露することがあります。このような場合は結露がなくなるまで数分お待ちください。	—
水平または垂直方向に映像がずれて正常に表示されない	RGB入力の場合、水平位置、垂直位置を正しく調整しましたか。	89ページ
	RGB入力の場合、入力信号が対応している解像度、周波数になっていますか。 パソコンの解像度を確認してください。	136ページ
RGB入力で文字がちらついたり色がずれている	メニューの [自動調整] にチェックを入れてください。 [自動調整] にチェックを入れていない場合は、[位置・周波数] でクロック周波数と位相を調整してください。	103,89ページ
リモコンで操作できない	リモコンのリモコン発信部を本体のリモコン受光部に向けていますか。	21ページ
	リモコンの電池が消耗していませんか。新しい電池と交換してください。	21ページ
	リモコンと本体のリモコン受光部との間に障害物がありますか。	22ページ
	リモコンの有効範囲 (7m) を超えていませんか。	21ページ
	(SELECT▼▲▶) ボタン、(CANCEL) ボタン、(ENTER) ボタンで本機を操作するとき、リモコンがプロジェクタモード (PJ) ボタンが赤く点灯) になっていますか。	48ページ
	本機のリモコンを使って、パソコンのマウス操作を行う場合は、添付のUSBケーブルで、本機とパソコンを接続してください。	54ページ
インジケータが点滅／点灯する	インジケータ表示一覧をご覧ください。	133ページ
USBマウスが動作しない	USBマウスが正しく取り付けられていますか。マウスによっては使用できないものがあります。	53ページ

●パソコンの画面がうまく投写できない場合

パソコンを接続して投写する際、うまく投写できない場合は、次のことをご確認ください。

●パソコンの起動のタイミング

パソコンと本機を接続したあとにパソコンを起動してください

特にノートパソコンの場合、接続してからパソコンを起動しないと外部出力信号が出力されないことがあります。



- 本機のメニューを表示して、[ヘルプ] → [入力信号情報] の [水平同期周波数] を確認してください。
水平同期周波数が「0kHz」と表示されているときは、パソコンから外部出力信号が出力されていません(119ページ)。

●パソコンの起動後に操作が必要な場合

ノートパソコンの場合、起動したあとに外部出力信号を出力させるため、さらに操作が必要な場合があります(ノートパソコン自身の液晶画面に表示されていても、外部出力信号が出力されているとは限りません)。



- PC98-NXシリーズ、DOS/V対応機(IBM PC/AT 100%互換機)の場合は、[Fn] キー + [F1] ~ [F12] キーのいずれか(機種によって異なります)を押します。

●ノートパソコンの同時表示時の外部出力信号が正確ではない場合

ノートパソコンの場合、自身の液晶画面は正常に表示されていても投写された画面が正常ではない場合があります。

多くの場合、ノートパソコンの制限(パソコン自身の液晶画面と外部出力を同時に出力する場合は、標準規格に合った信号を出力できない)によることが考えられます。このときの外部出力信号が、本機で対応可能な信号の範囲から大きく外れている場合、調整を行っても正常に表示されないことがあります。

上記の場合は、ノートパソコンの同時表示をやめ、外部出力のみのモードにする(液晶画面を閉じると、このモードになる場合が多い)操作を行うと、外部出力信号が標準規格に合った信号になることがあります。

●Macintoshを起動させたとき、画面が乱れたり何も表示しない場合

マック用信号アダプタ(市販品)を使って接続したとき、ディップスイッチの設定を、Macintosh および本機の対応外の表示モードにした場合、表示が乱れたり、何も表示できなくなることがあります。万一表示できない場合は、ディップスイッチを13インチ固定モードに設定し、Macintoshを再起動してください。そのあと表示可能なモードに変更して、もう一度再起動してください。

●PowerBookと本機を同時に表示させる場合

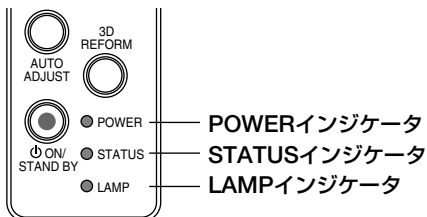
PowerBookディスプレイの「ビデオミラーリング」を「切」にしないと外部出力を1024×768ドットに設定できないことがあります。

●Macintoshの投写画面からフォルダなどが切れている場合

Macintoshに接続していたディスプレイを本機より高い解像度で使用していた場合、本機で投写した画面では、画面の隅にあったアイコンなどが画面からはみ出したり消えたりすることがあります。このような場合は、MacintoshのFinder画面で「option」キーを押した状態で「表示」→「整頓する」を選択してください。はみ出したり消えたりしたアイコンが画面内に移動します。

インジケータ表示一覧

本体操作部の3つのインジケータが点灯、点滅しているときは、以下の説明を確認してください。



●POWERインジケータ

インジケータ表示		本機の状態	行ってください
消灯		主電源OFF	—
点滅	緑色	電源ON準備中	しばらくお待ちください。
	オレンジ色	本体冷却中	しばらくお待ちください。
点灯	緑色	電源ON状態	—
	オレンジ色	スタンバイ状態、アイドル状態	—

●STATUSインジケータ

インジケータ表示		本機の状態	行ってください
消灯		異常なし	—
点滅	赤色 (1回周期)	カバー異常	ランプカバーが正しく取り付けられていません。正しく取り付けてください (●122ページ)。
		ミラーカバー異常	ミラーが閉じています。ミラーを開いてください (●15ページ)。
	赤色 (2回周期)	温度異常	温度プロテクタが動作しています。室温が高い場合は、本機を涼しい場所へ移動してください。
		ミラー部分の温度異常	ミラー部分が高温になっています。高温になる原因 (ほこりや異物) を取り除いてください (●126ページ)。
	赤色 (3回周期)	電源異常	電源が正常に動作していません。販売店へ修理を依頼してください。
	赤色 (4回周期)	ファン異常	冷却ファンの回転が停止しています。販売店へ修理を依頼してください。
	赤色 (6回周期)	ランプ不点灯	ランプが点灯しません。1分以上待って再度電源を入れてください。それでも点灯しない場合は販売店にご相談ください。
点灯	緑色	アイドル状態	—
	オレンジ色	本体キーロック中にボタンを押したとき	本体キーロック中です。操作する場合は、設定を解除する必要があります (●106ページ)。
	赤色	ミラー部分の異物感知	ミラー部分のセンサーが異物を感知しました。ミラー部分から異物を取り除いてください。

●LAMPインジケータ

インジケータ表示		本機の状態	行ってください
消灯		異常なし	—
点滅	赤色	ランプ交換猶予時間中	ランプ残量が0%になり、ランプ交換の猶予時間(100時間)中です。すみやかにランプを交換してください(●122ページ)。
点灯	赤色	ランプ使用時間超過	ランプ使用時間を超過しています。ランプを交換するまで本機の電源は入りません(●122ページ)。
	緑色	ランプエコモード	—

●温度プロテクタが作動したときは

本機内部の温度が異常に高くなると、ランプが消灯し、STATUSインジケータが赤で点滅します(2回点滅の繰り返し)。

同時に本機の「温度プロテクタ」機能が作動して、本機の電源が切れることがあります(この場合インジケータは点灯しません)。

このようなときは、以下のことを行ってください。

- ・主電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ・周囲の温度が高い場所に置いて使用しているときは、涼しい場所に設置しなおしてください。
- ・通風孔にほこりがたまっていたら、掃除してください(●125ページ)。
- ・本機内部の温度が下がるまで、約60分間そのままにしてください。

投写距離とスクリーンサイズ

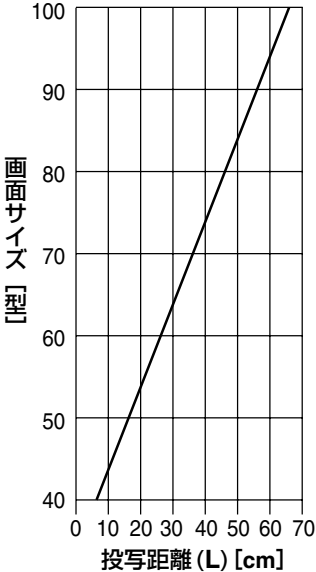
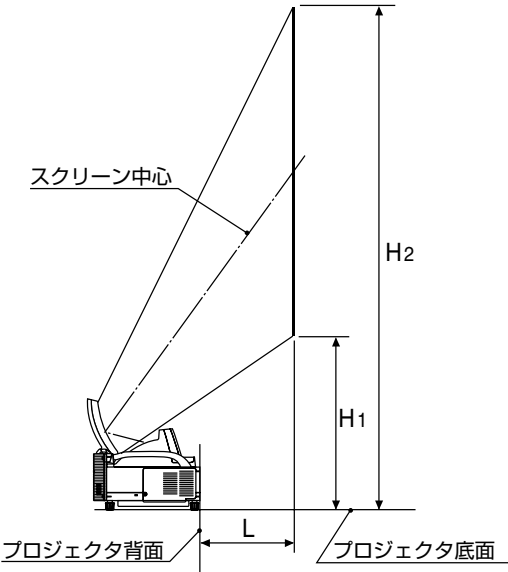
この場所に設置するとどのくらいの画面サイズになるか、どのくらいのスクリーンを用意すればいいのか、また、目的の大きさで映すにはどのくらいの距離が必要かを知らりたいときの目安にしてください。

投写距離

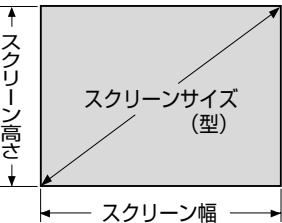
スクリーンサイズ (型)	投写距離 (L) cm	スクリーン下端の高さ (H1) cm	スクリーン上端の高さ (H2) cm
40	6.4	35.4	96.4
50	16.4	41.8	118.0
60	26.3	48.2	139.6
80	46.1	60.9	182.8
100	65.9	73.7	226.1



- 設計値のため、±5%の誤差があります。
- 投写距離およびスクリーン上端／下端の高さは画面比4：3で計算しています。



スクリーンサイズと寸法表



サイズ (型)	スクリーン幅 (cm)	スクリーンの高さ (cm)
40	81.3	61.0
50	101.6	76.2
60	121.9	91.4
80	162.6	121.9
100	203.2	152.4

対応解像度一覧

機種		解像度	走査周波数		対応状況		
			水平 (kHz)	垂直 (Hz)			
ビデオ	NTSC	—	15.734	60.0	◎		
	PAL/SECAM	—	15.625	50.0	◎		
PC-9800シリーズ		640 × 400	24.8	56.4	◎		
		640 × 400	31.5	70.0	◎		
		640 × 480	31.5	60.0	◎		
		640 × 480	37.5	75.0	◎		
		800 × 600	37.9	60.3	◎		
		800 × 600	46.9	75.0	◎		
		1024 × 768	56.5	70.1	◎		
		1024 × 768	60.0	75.0	◎		
NEC PC98NXシリーズ		640 × 350	37.9	85.1	◎		
		640 × 400	31.5	70.0	◎		
IBM PC/AT互換機 DOS/V対応機		640 × 400	37.9	85.1	◎		
		640 × 480	31.5	60.0	◎		
		640 × 480	37.9	72.8	◎		
		640 × 480	37.5	75.0	◎		
		640 × 480	43.3	85.0	◎		
		720 × 350	31.5	70.1	◎		
		720 × 400	37.9	85.0	◎		
		800 × 600	35.2	56.3	◎		
		800 × 600	37.9	60.3	◎		
		800 × 600	46.9	75.0	◎		
		800 × 600	48.1	72.2	◎		
		800 × 600	53.7	85.1	◎		
		1024 × 768	48.4	60.0	◎		
		1024 × 768	56.5	70.1	◎		
		1024 × 768	60.0	75.0	◎		
		1024 × 768	68.7	85.0	◎		
		1152 × 864	67.5	75.0	○		
		1280 × 960	60.0	60.0	○		
		1280 × 960	85.9	85.0	○		
		1280 × 1024	64.0	60.0	○		
		1280 × 1024	80.0	75.0	○		
		1280 × 1024	91.1	85.0	○		
		1600 × 1200*	75.0	60.0	○		
		1600 × 1200*	81.3	65.0	○		
		1600 × 1200*	87.5	70.0	○		
		1600 × 1200*	93.8	75.0	○		
		Apple Macintosh		640 × 480	35.0	66.7	◎
				832 × 624	49.7	74.6	◎
1024 × 768	60.2			74.9	◎		
1152 × 870	68.7			75.1	○		
1280 × 1024	69.9			65.2	○		
Apple iMac™		640 × 480	—	117.0	◎		
		800 × 600	—	95.0	◎		
		1024 × 768	—	75.0	◎		
EWSシリーズ		1280 × 1024	75.1	71.2	○		
HP		1280 × 1024	78.1	72.0	○		
SUN		1152 × 900	61.8	66.0	○		
		1280 × 1024	81.1	76.1	○		
SGI		1024 × 768	49.7	60.4	◎		
		1152 × 900	71.7	76.1	○		
HDTV 750p (720p) 1125p (1080p)		1280 × 720	45.0	60.0	○		
		1920 × 1080	33.75	60.0	○		
SDTV 525p (480p) 525i (480i)		—	31.5	59.0	◎		
		—	15.7	59.9	◎		
DVD		—	15.7	59.9	◎		

・出荷時はその表示解像度／周波数の標準的な信号に合わせていますが、パソコンの種類によっては調整が必要な場合があります。

・ワークステーションとの接続に関する詳細は、当社にお問い合わせください。

・コンボジット同期信号などの場合は、正常に表示できない場合があります。

・アドバンスド・アキュブレンド表示の場合、文字や罫線の太さなどが不均一になる場合があります。

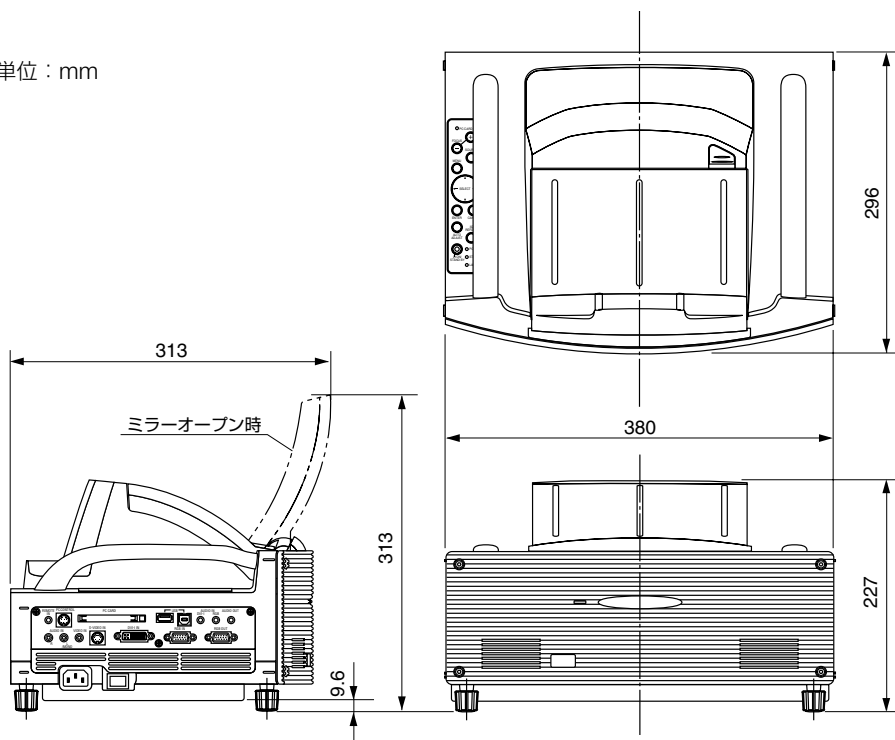
* U-XGAはセパレート信号のみ対応です。

◎：リアル表示

○：アドバンスド・アキュブレンド対応

外観図

単位：mm



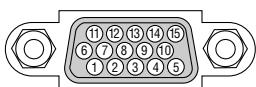
関連商品一覧

商 品 名		形 名
ランプ	交換用ランプ	LT60LPK
天吊り金具	天井用取付けユニット	WT60CM
スクリーン	40型パネルスクリーン	WT40SN
置き台	専用置き台	WT60ST
スイッチャ	RGB信号入力切替ユニット	VL-SW401
分配器	RGB信号分配ユニット	VL-DA102
資料提示装置	XGAデジタル資料提示装置	DV11J
ケーブル	マルチシンク10mケーブル	VL-CA10MD
	アナログRGB信号ケーブル (2m)	VL-CA02MD
	シリアルケーブル	CA03D
	コンポーネントビデオ接続ケーブル (3m)	VL-CA03V
アダプタ	コンポーネントビデオ変換アダプタ	ADP-CV1
	D端子変換アダプタ	ADP-DT1
カード	無線LANカード	SWL-2100N-NJ

RGB INPUT端子のピン配列と信号名

ミニD-Sub 15ピン (アナログ) 入力端子

各ピンの接続と信号レベル



信号レベル

ビデオ信号 : 0.7Vp-p (アナログ)

同期信号 : TTLレベル

ピン番号	RGB信号 (アナログ)	YCbCr 信号
1	赤	Cr
2	緑またはシンクオングリーン	Y
3	青	Cb
4	接 地	
5	接 地	
6	赤 接 地	Cr 接 地
7	緑 接 地	Y 接 地
8	青 接 地	Cb 接 地
9	非接続	
10	同期信号 接 地	
11	接地	
12	Bi-directional DATA (SDA)*	
13	水平またはコンボジット同期	
14	垂直同期	
15	Data Clock*	

* RGB入力端子 (RGB IN) のみ対応

仕様

形名	WT600J	
方式	単板DMD反射方式	
主要部品仕様	DMD/パネル	サイズ 0.7型 (アスペクト比 4:3)
	画素数*1	786,432画素 (1024ドット×768ライン)
	光源	220W DCランプ (ランプエコモード時 176W)
	光学装置	カラーフィルタ回転による色分離
	画面サイズ (投写距離)	40～100型 (6.4～65.9cm)
色再現性	フルカラー1,677万色	
音声出力	1W+1W スピーカ内蔵	
走査周波数	水平	15～100kHz (RGB入力は24kHz以上)
	垂直	50～120Hz
調整機能	デジタルズーム、電動フォーカス、入力信号切替 (RGB/DVI(デジタル)/DVI(アナログ)/ビデオ/S-ビデオ/ビューワ/LAN)、画像自動調整、画面拡大、3Dリフォーム、画面位置調整、ミュート (映像/音声とも)、電源オン/オフ、オンスクリーン表示/選択 (明るさ、コントラスト、カラー*2、色相*2、シャープネス*2、音量) など	
最大表示解像度 (横×縦)	1600×1200 (アドバンスド・アキュブレンドによる表示)	
入力信号	R,G,B,H,V	RGB : 0.7Vp-p/75Ω
		Y : 1.0Vp-p/75Ω (With Sync)
		Cb,Cr (Pb, Pr) : 0.7Vp-p/75Ω
		H/V Sync : 4.0Vp-p/TTL 正極性/負極性
		Composite Sync : 4.0Vp-p/TTL 正極性/負極性
	コンボジットビデオ	Sync on G : 0.3Vp-p/75Ω 負極性
	S-ビデオ	75Ω 1.0Vp-p
入出力端子	コンポーネント	Y : 75Ω 1.0Vp-p
		C : 75Ω 0.286Vp-p
		DTV : 525i (480i)、1125i (1080i)、525p (480p)、750p (720p)
	DVDコンポーネントビデオ信号 (15kHz)	
	音声	22kΩ以上 0.5Vrms
	アナログRGB	映像入力 ミニD-Sub 15ピン×1
		映像出力 ミニD-Sub 15ピン×1
		音声入力 ステレオミニジャック×1
		音声出力 ステレオミニジャック×1
	デジタルRGB/アナログRGB	映像入力 DVI-I 29ピン×1
		音声入力 ステレオミニジャック×1
	ビデオ	映像入力 RCA×1
		音声入力 RCA(L/MONO、R)×1
	Sビデオ	映像入力 ミニDIN 4ピン×1
		音声入力 (ビデオの音声入力と共通)
	リモコン端子	ステレオミニジャック×1
	PCコントロール端子	ミニDIN 8ピン×1
	USBポート	タイプA×1、タイプB×1
PCカードスロット		TYPE II × 1
使用環境	動作温度 : 5～35℃ 動作湿度 : 20～80% (ただし結露しないこと)	
	保存温度 : -10～50℃ 保存湿度 : 20～80% (ただし結露しないこと)	
電源	AC 100V 50/60Hz*3	
消費電力	290W	
スタンバイ時消費電力	0.6W	
定格入力電流	3.2A	
外形寸法	投写時 : 380(幅)×313(高)×313(奥行)mm (突起部含まず)	
	ミラー収納時 : 380(幅)×227(高)×296(奥行)mm (突起部含まず)	
質量	約5.9kg	

*1 : 有効画素数は99.99%です。

*2 : NTSC/PAL/SECAM/ビデオ/コンポーネント入力時のみ調整可能です。

*3 : 本製品は経済産業省の「家電汎用品高調波抑制対策ガイドライン」に基づいた適合品です。

・USBポートはUSB規格Ver1.1に準拠。

・この仕様・意匠はお断りなく変更することがあります。

保証と修理サービス(必ずお読みください)

保証書

この商品には、保証書を別途添付しております。

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店ら受け取っていただき内容をよくお読みのと大切に保存してください。

●保証期間

本体：お買い上げ日から1年間です。

ただし、本体に付属のランプは6か月です。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、このプロジェクトの補修用性能部品を製造打切後、最低8年保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご質問は

製品の故障、修理に関するご質問はお買い上げの販売店またはNECフィールディング株式会社の支店・営業所をお願いいたします。

各地の支店・営業所については、別紙一覧表をご覧ください。

修理を依頼されるときは

「故障かな？と思ったら」(●130ページ)に従って調べていただき、なお異常があるときは、電源を切り、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

●保証期間は

修理に際しましては保証書をご提示ください。

保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

●保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品名	ミラー投写型プロジェクト
形名	WT600J
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印なども合わせてお知らせください
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	

べんり メモ	お買い上げ 店名	☎() -
-----------	-------------	--------

修理料金の仕組み

- ・技術料
故障した製品を正常に修復するための料金です。
技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。
- +
- ・部品代
修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
- +
- ・出張料
製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。
別途、駐車料金をいただく場合があります。

索引

数字／アルファベット

3Dリフォーム	94
3Dリフォーム保存	104
4点補正	95
AC IN 端子	15,32
CD-ROM	13
DHCP	107,112
DVI-D信号ケーブル	13,26
DVI-I→アナログRGB変換ケーブル	13,27
Dynamic Image Utility	60
HTTPサーバ	128
IPアドレス	107
LAMPインジケータ	17,134
LANカード	107
LANモード	107
PCカードアクセスインジケータ	17,62
PCカードスロット	18,61
PCカード取り出しボタン	18,62
POWERインジケータ	17,133
RGB OUT端子設定	101
RGB信号ケーブル	13,26
SMTPサーバ名	110
sRGB	92
SSID	108
STATUSインジケータ	17,133
TVディストーション	95
USBケーブル	13,54
USBマウス	53
USBメモリ	58
USBメモリカードリーダー	58
WEP	109

五十音

【ア行】

アイドルモード	105
アスペクト	87
宛先アドレス	111
アドバンスメニュー	76
位置・周波数	89
色温度	93
色補正	93
英数字の入力方法	80
映像調整	86
エコモード	99,119

オートスタート	103
オーバースキャン	91
オンスクリーンメニュー	76
オンスクリーンメニュー一覧	81
温度プロテクタ	134
音量調整	42,87

【力行】

解像度	90,136
拡大	51
カスタムメニュー	76
カスタムメニュー編集	98
画像設定	87
ガンマ補正	93
キー選択	109
キーワード	114
機器設定	94
キャプチャ	66,117
キャプチャオプション	102
キャリングハンドル	15
吸気口	15
クローズドキャプション	101
ゲートウェイ	108

【サ行】

再接続	111
差出人アドレス	110
自動調整	42,103
主電源スイッチ	15,35,44
状態	111
情報	119
初期入力選択	105
信号選択	83,103
信号リスト	84
スクリーンサイズ	25,135
スクリーン設定	106
スクリーンタイプ	106
スタンバイ	105
スピーカ	14,42
スライド	63
スリープタイマー	117
静止画	49
セキュリティ	114
接続端子部	15
セットアップ	99

説明（ヘルプ）	52	ポインタ	50,98
送信テスト	111	ホワイトピーキング	93
【タ行】		本体カバー	13
対応解像度一覧	136	本体キーロック	106
台形補正	96	本体操作部	15
単3乾電池	13,21	【マ行】	
チャンネル	109	マウス	53,54
チョークボード	55,117	マウス設定	102
通信速度	105,109	マウスポインタ	98
通信モード	108	ミラー	14
ツール	117	ミラー用クリーニングクロス	13,126
データリセット	120	ミラー用ロック	14
デジタルズーム	40,97	無線LANカード	107
電源オフ確認メッセージ	104	メール通知	110
電源コード	13,32	メッセージ	99
投写距離	25,135	メニュー設定	97
投写方法	100	メニュー表示色選択	99
盗難防止用ロック	14	メニューモード	77,97
【ナ行】		【ラ行】	
入力表示	99	ランプカバー	14,122
ノイズリダクション	91	ランプカバーネジ	14,122
【ハ行】		ランプ時間クリア	105
排気口	14	ランプ使用時間	119
パスワード	112	ランプモード	99
パソコンモード	48	リモコン	13,19
バックグラウンド	101	リモコンケーブル	13,22
バックグラウンドロゴ	72	リモコン受光部	14,15
パワーマネージメント	104	レーザーの発光を禁止する	43
ピクチャーマネージメント	92	レーザーポインタ	43
ビデオ帯域フィルタ	91	ロゴ	72,101
ビューワ	60,62		
ビューワオプション	102		
表示位置	106		
表示言語	97		
表示時間	98		
ピンクッション補正	94		
ファイル選択	70,117		
ファン高速モード	104		
フォーカス	40		
フォルダ	63		
フット	14,40		
フラッシュメモ리카ード	61,62		
ブランキング	88		
プロジェクタモード	48		
ベーシックメニュー	76		
ヘルプ	118		

**ミラー投写型プロジェクタ
WT600J
取扱説明書**

2003年7月 2版

NECビューテクノロジー株式会社

© NEC Viewtechnology, Ltd. 2003 Printed in Japan
NECビューテクノロジー株式会社の許可なく複製・改変など
を行うことはできません。

お問い合わせは	NECプロジェクタ・カスタマサポートセンター 0120-610161 受付 9:00～12:00 13:00～17:00 (土・日・祝祭日、および当社指定日は除く)
---------	---

NECビューテクノロジー株式会社

第二販売推進本部

〒108-0014 東京都港区芝五丁目37番8号 住友三田ビル
TEL (03) 5232-6148 (ダイヤルイン)